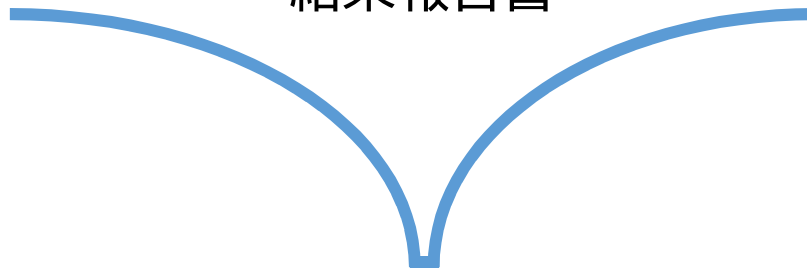


「第3次東大阪市子ども読書活動推進計画」 策定に向けたアンケート調査

結果報告書



令和5年3月

東 大 阪 市



目次

I 調査の概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
3. 報告書の見方	1
II 調査の結果	
(1)未就学児保護者	3
(2)小中学生	12
(3)図書館利用者	25
(4)ブックスタート事業対象者	46
(5)市政世論調査	66
III 結果のまとめ	
調査結果の概要と課題	86
IV 調査票	
(1)未就学児保護者	91
(2)小中学生	93
(3)図書館利用者	96
(4)ブックスタート事業対象者	98
(5)市政世論調査	107

I 調査の概要

1. 調査の目的

第3次東大阪市子ども読書活動推進計画の策定にあたり、本市の未就学児保護者及び小中学生、図書館利用者等の読書に関する状況を把握し、推進計画の基礎資料とする。

2. 調査の概要

調査期間：令和4年9月(1か月間)

※調査期間終了後に回収された調査票についても10月上旬までのものについては有効回収とした。

調査対象、調査方法、回収状況：下表のとおり

※施設については、公立施設を対象とした。

区分	対象等	対象者数	回収数	調査方法
(1) 未就学児保護者	保育所(7園)	在籍児童の保護者 1,718	358	ウェブアンケート
	幼保連携型こども園(4園)			
	幼稚園(4園)			
	幼稚園型こども園(2園)			
(2) 小中学生	小学3年生(51校)	在籍児童 3,345	2,963	ウェブアンケート
	小学5年生(51校)	在籍児童 3,565	3,019	
	中学2年生(25校)	在籍生徒 3,410	2,375	
(3) 図書館利用者	図書館(3)	3,681	1,133	ウェブアンケート 紙配付
	分室(2)		ウェブ 100	
	移動図書館		紙 1,033	
(4) ブックスタート 事業対象者	3歳6か月児健診受診対象の保護者	1,302	97	ウェブアンケート
合計		17,021	9,945	
		回収率 58.4%		

区分	対象等	対象者数	回収数	調査方法
(5) 市政世論調査	市内全域在住の満18歳以上の市民	2,700	1,309	郵送
		回収率 48.5%		

※市政世論調査については、市政に関する市民の考え方を把握し、今後の市政運営の基礎資料を得ることを目的に市長事務部局が実施(令和4年8月1日～8月22日)。

3. 報告書の見方

●回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの選択肢の回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式の質問であっても、表記のパーセント値の合計が100.0ちょうどにならない場

合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表のいずれにおいても同様です。

- 複数回答(複数の選択肢からあてはまるすべての選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答者の総数に対する、選択肢ごとの回答者数の割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 「非該当」とあるものは、その設問の対象とならないものです。また、グラフ中において「未回答」とあるものは、回答が示されていないものです。

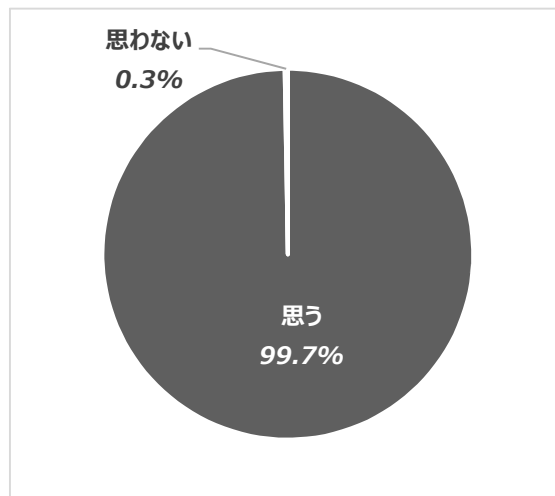
Ⅱ 調査の結果

(1)未就学児保護者

【問1】子どもにとって本を読むことは大切だと思いますか。

「思う」との回答が 99.7%とほとんどを占めますが、一方で「思わない」との回答も0.3%となっています。

有効回答数:358

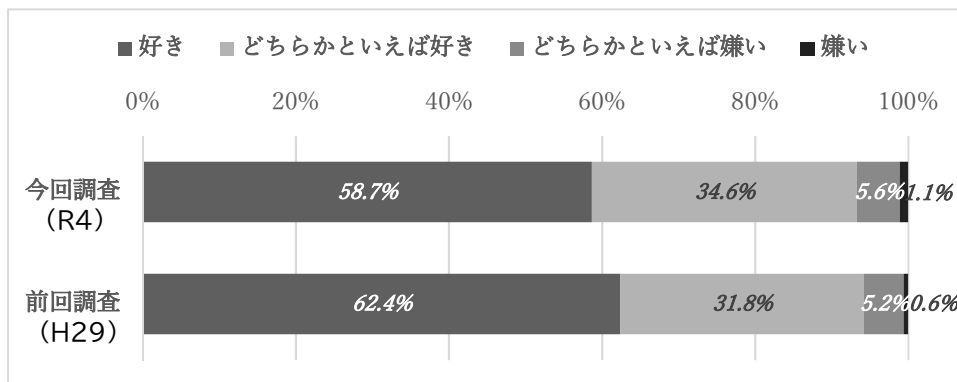


【問2】お子さんは本を読むことや読み聞かせは好きですか。

「好き」が 58.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば好き」が 34.6%、「どちらかといえば嫌い」が 5.6%となっています。「好き」と「どちらかといえば好き」を合せた『好き』は、93.3%、「嫌い」と「どちらかといえば嫌い」を合せた『嫌い』は、6.7%となっています。

前回調査と比べると「好き」と「どちらかといえば好き」を合せた『好き』は、0.9ポイント減少し、「嫌い」と「どちらかといえば嫌い」を合せた『嫌い』は 0.9ポイント増加しています。

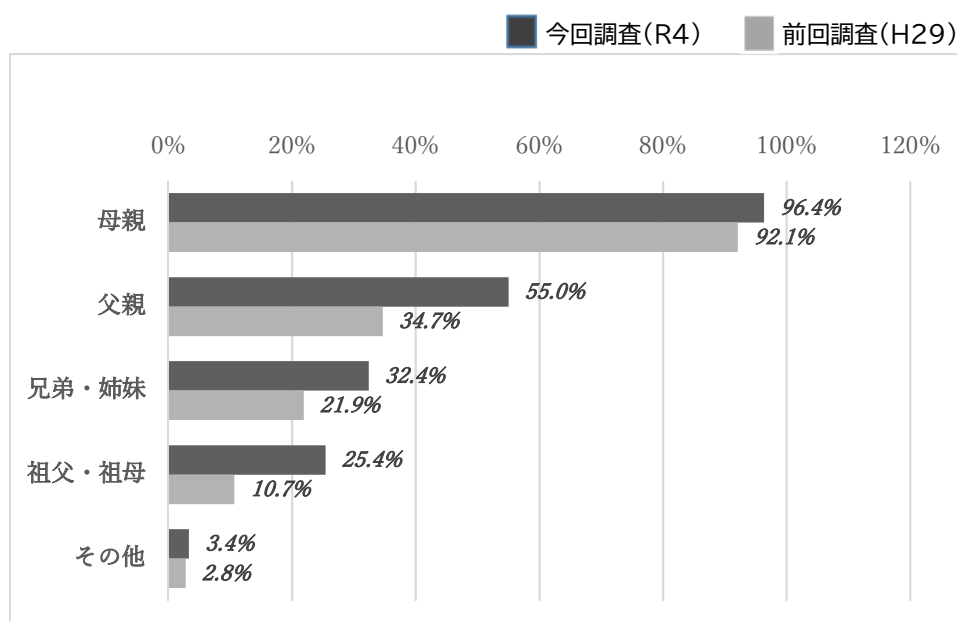
有効回答数:今回 358、前回997



【問3】誰と一緒に読みますか。(複数回答可)

「母親」が 96.4%と最も高く、次いで「父親」が 55.0%、「兄弟・姉妹」が 32.4%となっています。傾向に差はみられませんが、今回調査で「父親」は前回調査より 20.3 ポイント、「兄弟・姉妹」は 10.5 ポイント、「祖父・祖母」は 14.7 ポイント増加しています。

有効回答数:今回 358、前回 1000

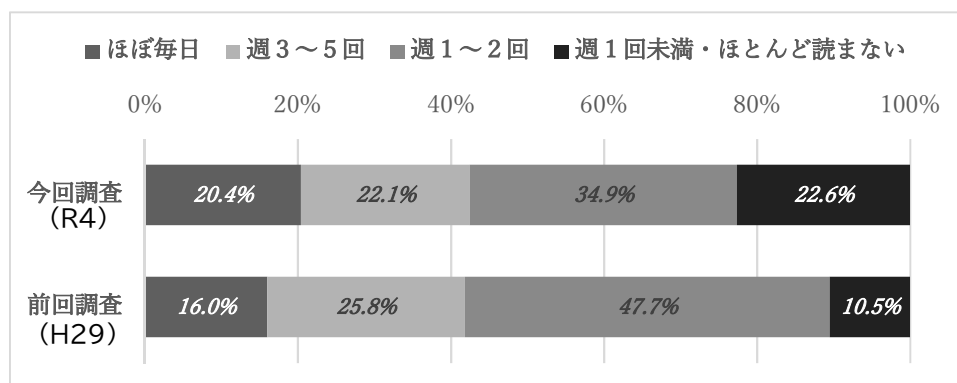
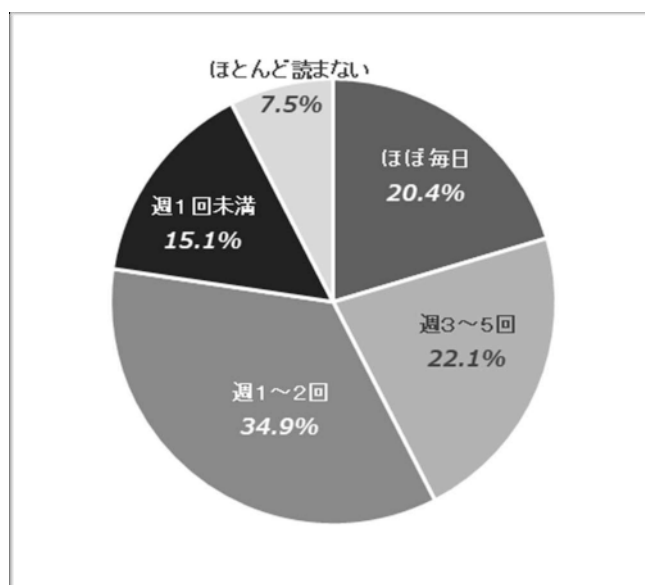


【問4】お子さんが本を読んだり、読み聞かせをする頻度はどの程度ですか。

「週1～2回」が 34.9%と最も高く、次いで「週3～5回」が 22.1%、「ほぼ毎日」が 20.4% となっています。

回答項目が異なるため単純な比較はできませんが、前回調査と比べると「ほぼ毎日」は 4.4 ポイント増加した一方で、今回調査の「週1回未満」と「ほとんど読まない」を合すると 22.6% となり、前回調査の「ほとんど読まない」より 12.1 ポイント増加しています。

有効回答数:今回 358、前回 994

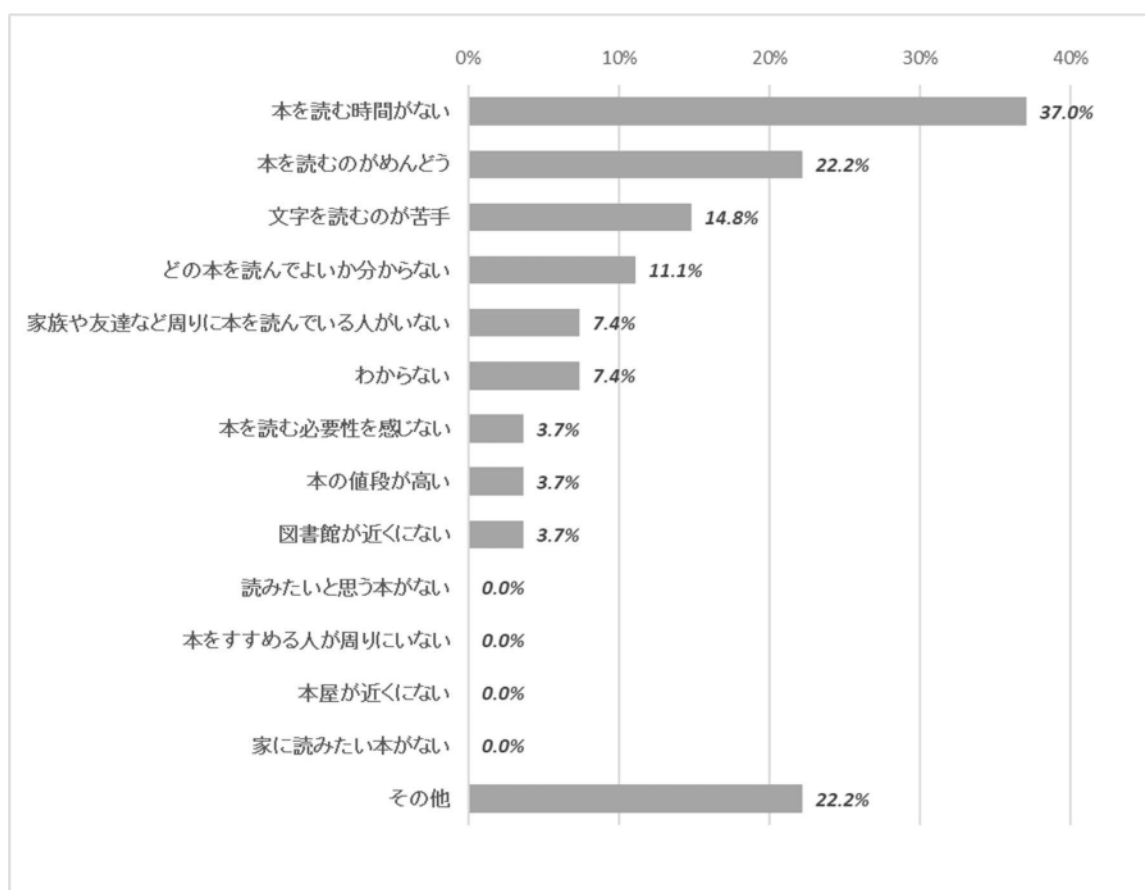


【問5】問4で「ほとんど読まない」と答えた方に伺います。(他の方は問6へ)その理由は何ですか。(複数回答可)

「本を読む時間がない」が37.0%と最も高く、次いで「本を読むのがめんどろ」と「その他」が22.2%と同じ値、「文字を読むのが苦手」が14.8%となっています。「その他」は、概ね『子どもが本に興味がない』など、子ども側に起因する理由(自由記述回答欄参照)となっていますが、他の上位回答は、読む側に起因する理由となっています。

また、「どの本を読んでよいか分からない」や「家族や友達など周りに本を読んでいる人がいない」が約1割となっており、本に関する情報不足が見られます。

有効回答数:27、非該当:331

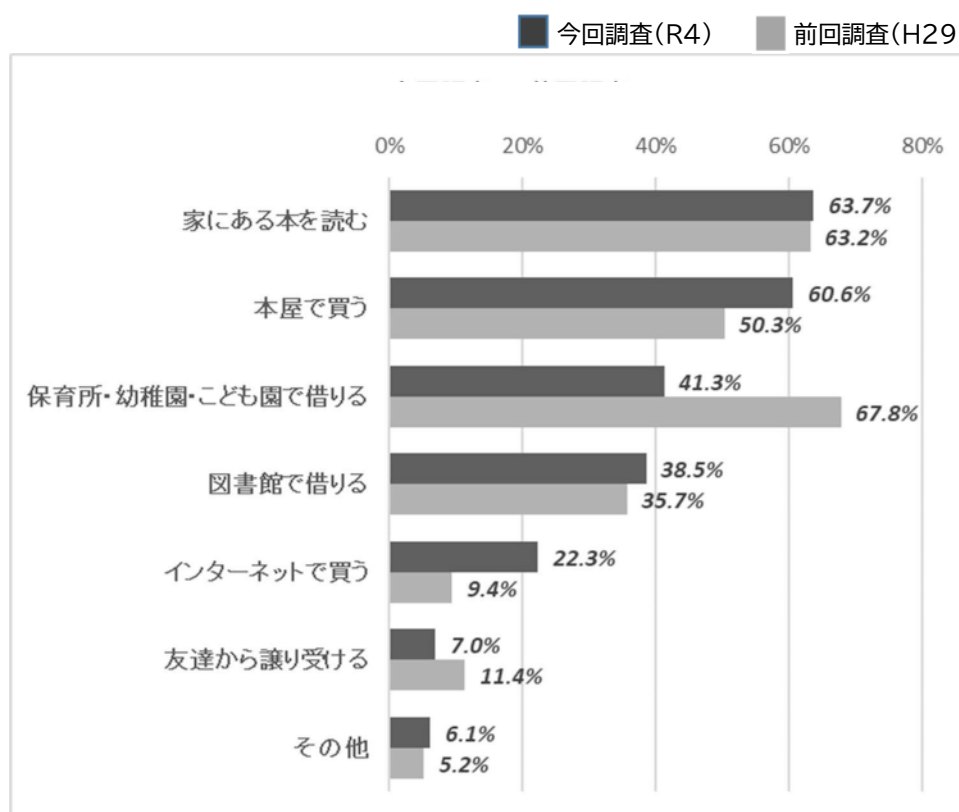


【問6】子どもの本は、どのようにして用意しますか。

「家にある本を読む」が 63.7%で最も高く、次いで「本屋で買う」が 60.6%、「保育所・幼稚園・こども園で借りる」が 41.3%となっています。

前回調査と比較すると「本屋で買う」が 10.3 ポイント、「インターネットで買う」が 12.9 ポイント増加し、「保育所・幼稚園・こども園で借りる」が 26.5 ポイント減少しています。

有効回答数:今回358、前回1000

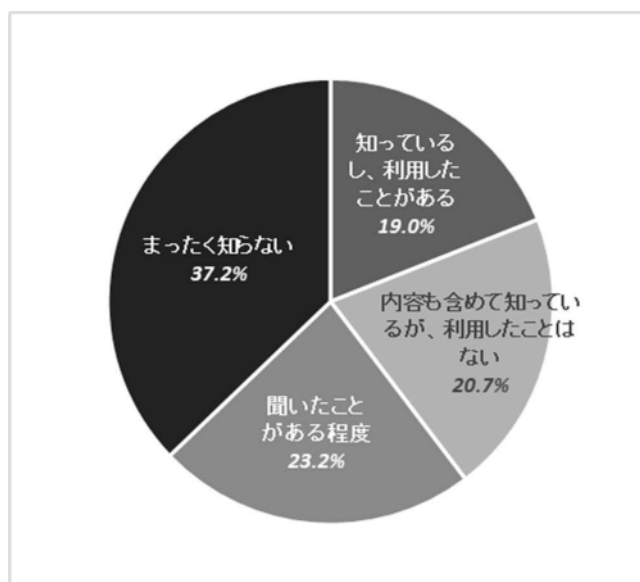


【問7】スマートフォンやパソコンなどの端末でいつでもどこでも 24 時間本を借りたり読んだりできる「ひがしおおさか電子図書館」を知っていますか。

今回調査で、新たに設けた設問です。

「知っているし、利用したことがある」と「内容も含めて知っているが、利用したことはない」を合せて『知っている』は、39.7%で、「聞いたことがある程度」と「まったく知らない」を合せて『知らない』は、60.4%となっています。特に「まったく知らない」との回答は約4割となっています。

有効回答数:358



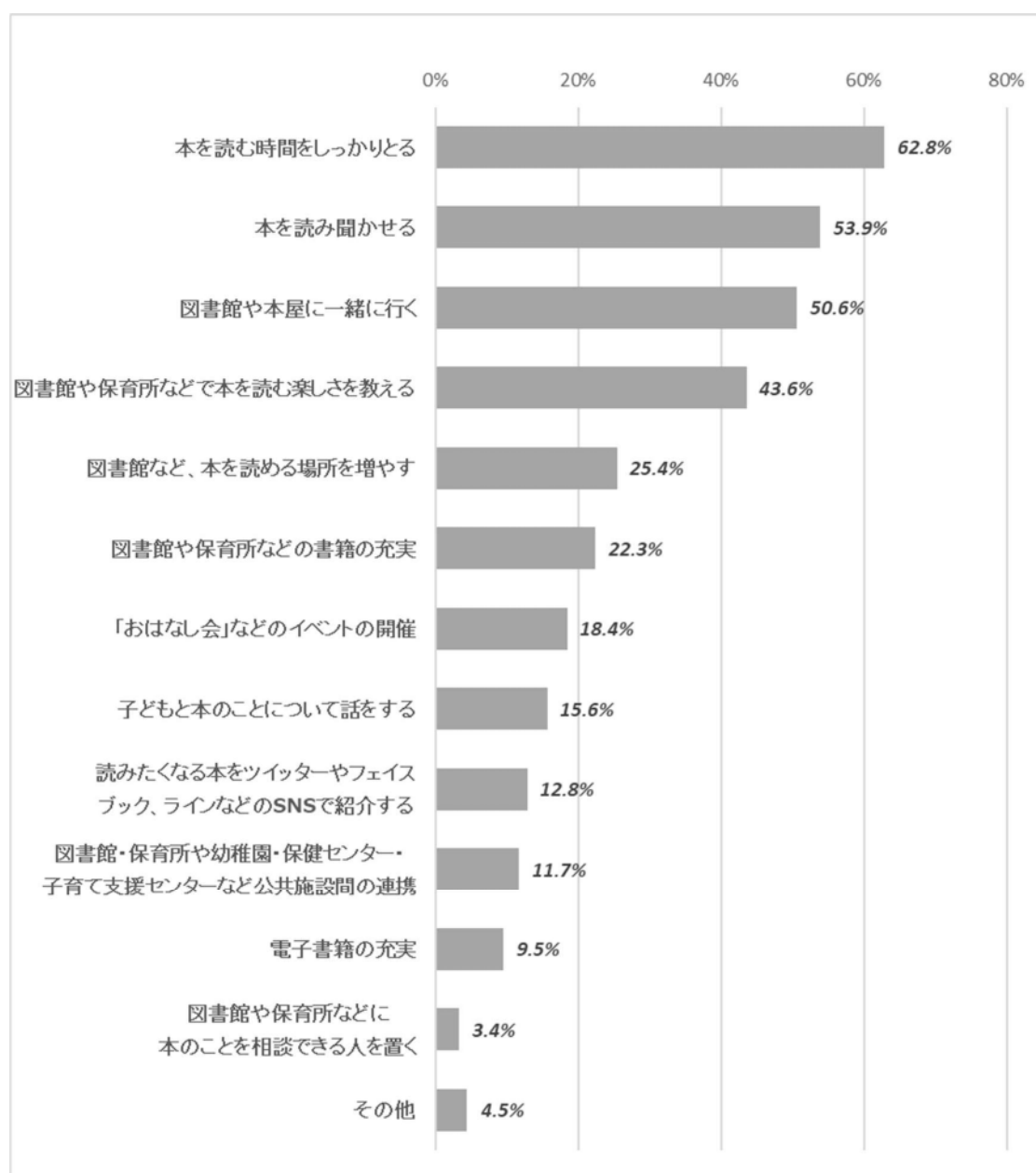
【問8】子ども(自分の子以外も含む)がもっと本を読むようになるには、どんな取組が必要だと思いますか。(複数回答可)

今回調査で、新たに設けた設問です。

「本を読む時間をしっかりとる」が 62.8%と最も高く、次いで「本を読み聞かせる」が 53.9%、「図書館や本屋と一緒にいく」が 50.6%となっています。

情報通信機器を利用する「読みたくなる本をツイッター、フェイスブック、ラインなどのSNSで紹介する」が 12.8%、「電子書籍の充実」が 9.5%となっています。

有効回答数:358



自由記述回答

《問3:誰と一緒に読みますか。》

おじ・おば	5人
保育園の先生	5人
自分で	2人

《問5:問4で「ほとんど読まない」と答えた方にうかがいます。その理由は何ですか。》

ちゃんと聞いてくれない。
下の子が本を破るから。
子供がすぐ飽きる。
読んでも聞いていない。
本を読むよりもユーチューブを見たがるから。
本人(子)が本に興味を示さない。

《問6:子どもの本は、どのようにして用意しますか。》

プレゼントでもらう。	4人
保育園で購入する。	3人
スマホのアプリ。	2人
イトコのお下がり。	1人
おてて絵本(自分で作る)。	1人
マクドのハッピーセット、子育て雑誌の付録。	1人
リサイクル古本を購入。	1人
今まで買った家にある本。	1人
支援センターで借りる。	1人
実家からおくってもらう。	1人
上の子供のときに買っていた絵本。	1人
祖母が送ってくれる。	1人
通信教材の絵本。	1人
毎月絵本が届くブッククラスに入っている。	1人
市やイベントでの無料配布絵本。	1人
本屋店頭にある、見本の絵本。	1人

《問8:子ども(自分の子以外も含む)がもっと本を読むようになるには、どんな取組が必要だと思いますか。》

SNSに限らず、図書館のHPや紙でおすすめ本の紹介など作ってくれと参考にしやすいです。
Youtube 動画や音声ある絵本にして欲しい。
まず親が読書を好きになること。子どもは親がしていることに一番興味を持つし、親が楽しそうにしていないことには興味を持たないから。
子どもが本に触れやすい場所や環境をつくる。
子どもは保育所で絵本に触れる時間があり家にある本も自分で取ってきてパラパラめくったりしています。親が絵本を子どもが手に取れるところに置いておくことが家でも読書の時間を増やすことに繋がると思うし、自分で読めるようになった子には、テレビやゲームを辞めて少くらしい退屈だと感じる時間を作ることで「じゃあ本でも読むか」となるタイミングを意識して作るようにしているテレビを消して。
子供が興味を持つ時に読めばいい。
手軽にいける距離に図書館が必要。
小学校にもっと絵本を置く。長い文章を読める子どもが減ってきているので、小学校だからといって急に長い文庫を揃えるよりも、より色々な分野の読みやすい絵本から小学校に揃えてほしい。図書の時間に子どもの興味によって読みやすい文字数や分野の本をおすすめしてあげられる大人が側についてあげてほしい。図書館分館でも利用日や時間の延長、図書の充実をもっと推進してほしい。全部読むことよりも興味がある部分だけでも読んでみようと思う気持ちを持たせる事が大切だと思います。
小学校の図書室に司書の人、もしくは本と一緒に選んでくれる人がいてくれると嬉しい。
親が本を読んで楽しそうな姿を見せる。
図書券を配る。
電子書籍が、貸し出し中が多く、順番待ち予約して待っている間に読む気がなくなりました。電子書籍が同じ本を複数人で同時に利用出来るようになれば、もっと利用者が増えると思いました。
文化創造館のような、本の再利用をする場所の宣伝等に力を入れる。
保護者向けに、子育て以外のジャンルでおすすめの雑誌書籍全般を紹介する。
本が高い。
本人に選ばせる。

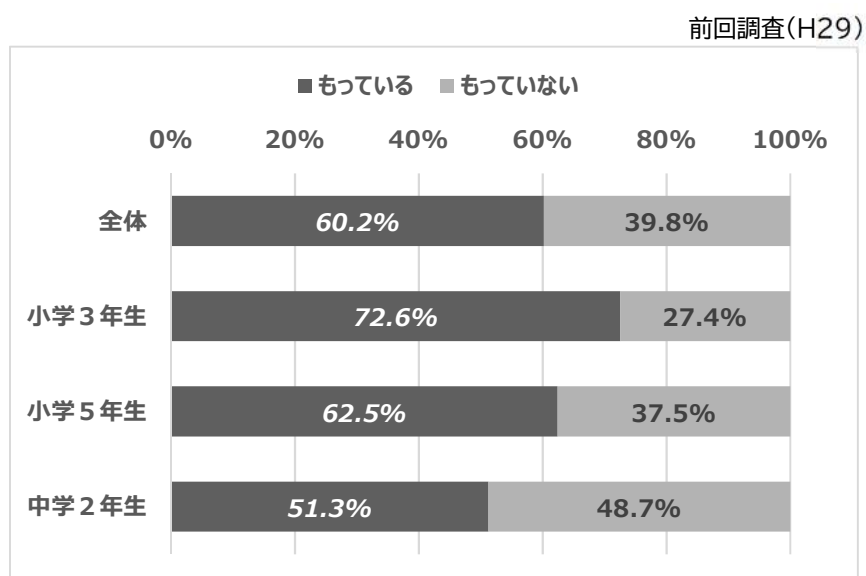
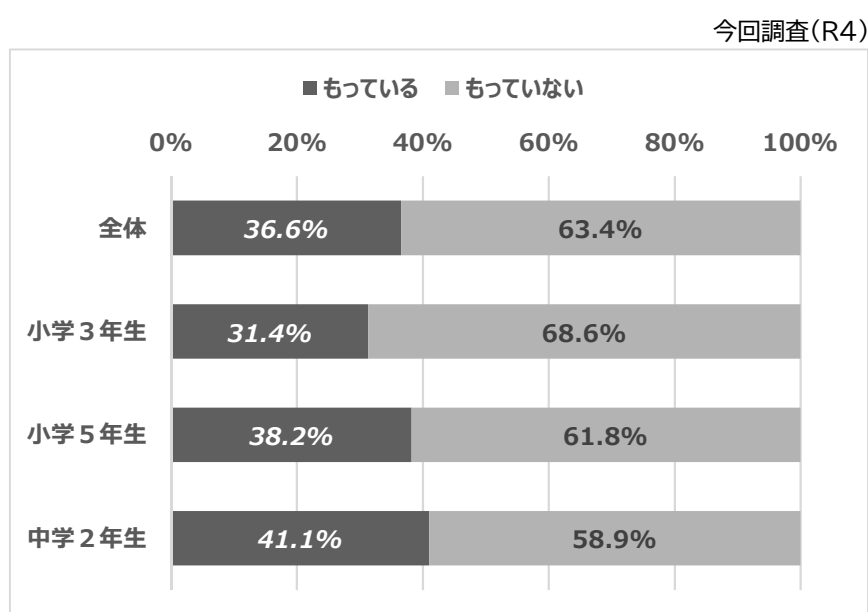
(2)小中学生

【問1】東大阪市立図書館の利用カードを持っていますか。

中学2年生が41.1%と最も高く、次いで小学5年生が38.2%、小学3年生が31.4%で、前回調査より中学2年生は10.2ポイント、小学5年生は24.3ポイント、小学3年生は41.2ポイント減少しています。

前回調査では、学年が上がるごとにカード所持者は減少していますが、今回調査では、学年が上がるごとに増加しています。

有効回答数:今回 8357、前回 2939

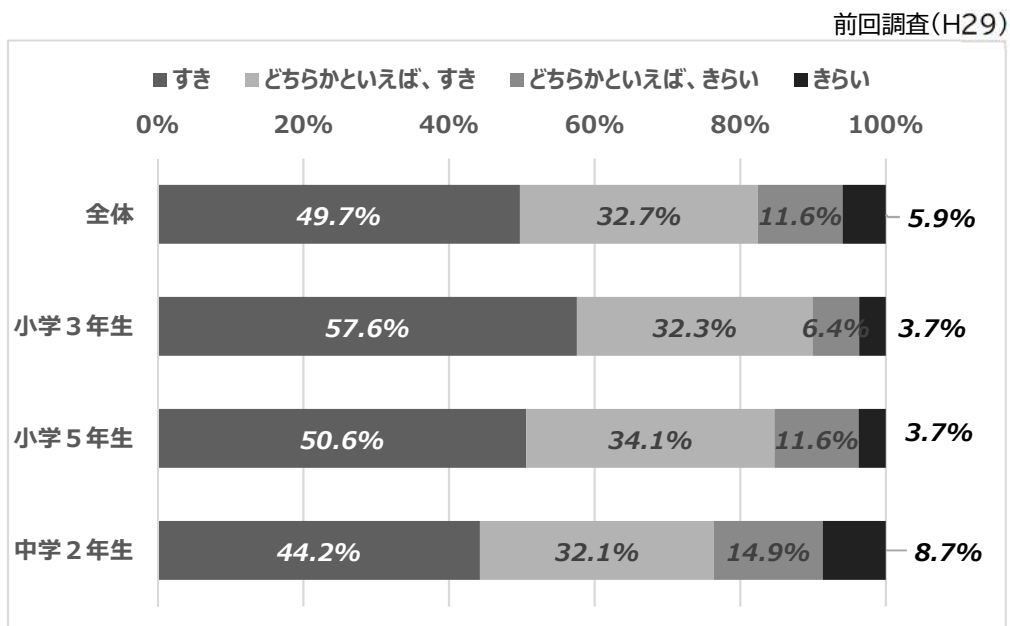
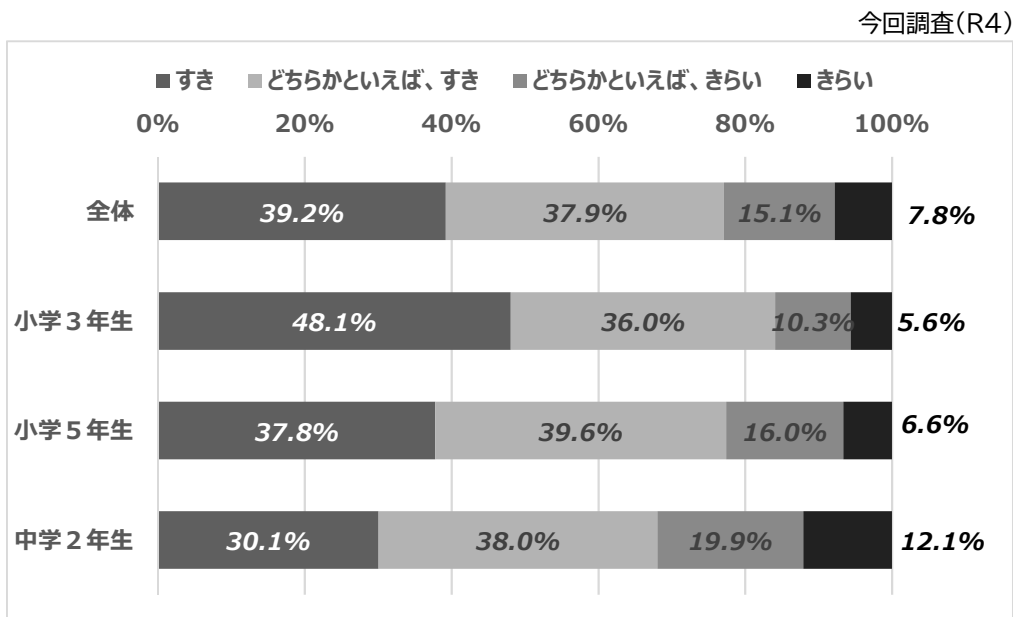


【問2】本を読むことは好きですか。

全体でみると「好き」が 39.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば、好き」が 37.9%、「どちらかといえば、嫌い」が 15.1%となっています。

学年別にみると「好き」と「どちらかといえば、好き」を合わせた『好き』は、小学3年生が 84.1%と最も高く、小学5年生が 77.4%、中学2年生が 68.1%で、全体としては 77.1%となっています。『好き』は、前回調査より、小学3年生が 5.8ポイント、小学5年生が 7.3ポイント、中学2年生が 8.2ポイント減少しています。

有効回答数:今回 8357、前回 2939

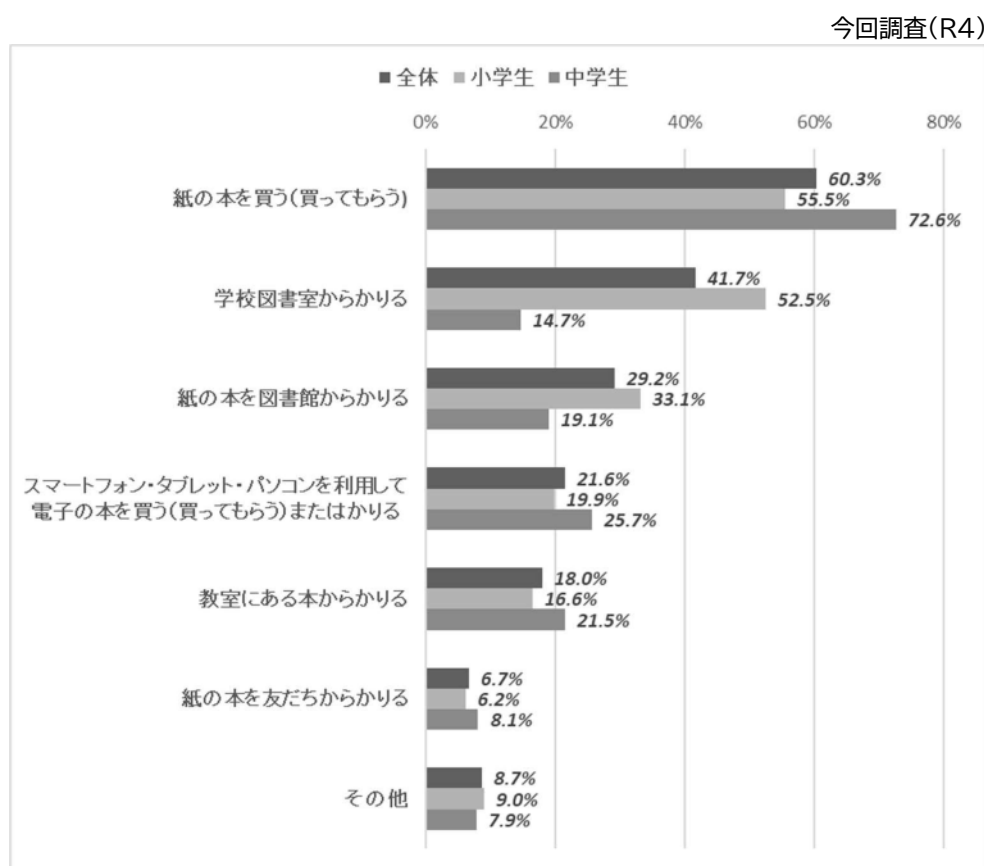


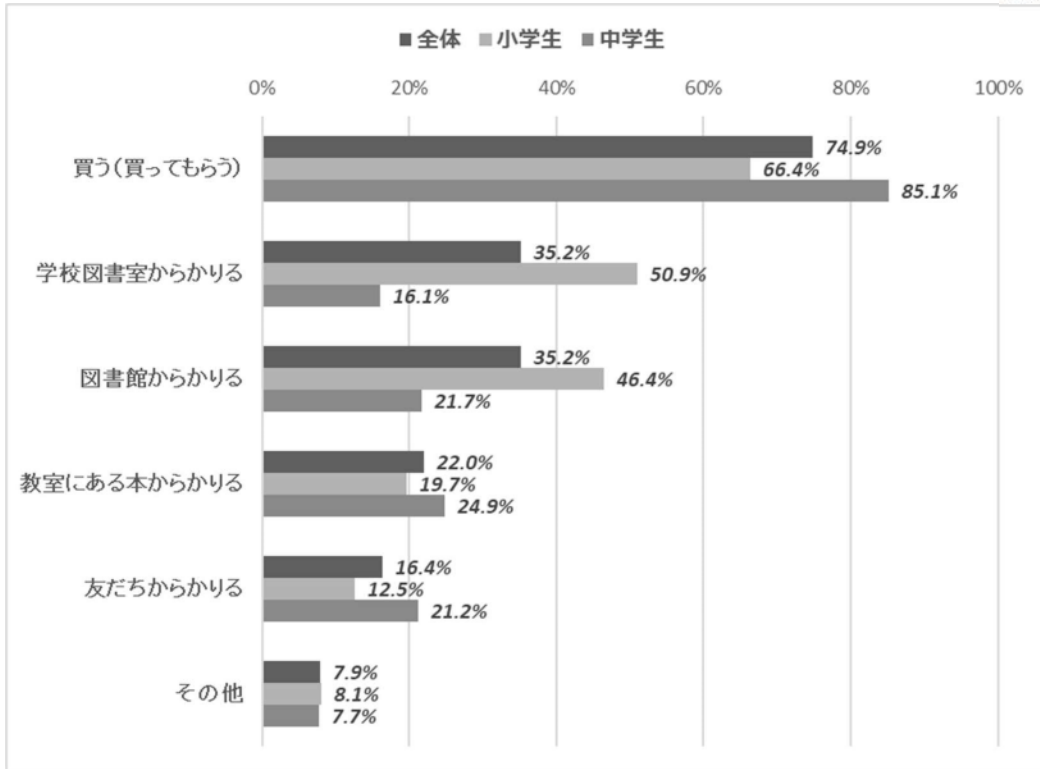
【問3】本は、どのようにして用意しますか。(複数回答可)

全体で見ると、「紙の本を買う(買ってもらう)」が 60.3%と最も高く、次いで「学校図書室からかりる」が 41.7%、「紙の本を図書館からかりる」が 29.2%となっています。学年により差異が見られ、「学校図書室からかりる」との回答は、小学生では多くなっていますが、中学生では少なくなっています。

「スマートフォン・タブレット・パソコンを利用して電子の本を買う(買ってもらう)またはかりる」は、小学生より中学生の方が若干多くなっています。今回新たに電子書籍に関する回答項目を増やし紙と明確にわけたため、前回調査との単純な比較はできませんが、電子の本を除いた回答の傾向に差異はなく、小学生は半数が学校図書室を利用しています。

有効回答数:今回 8357、前回 2939



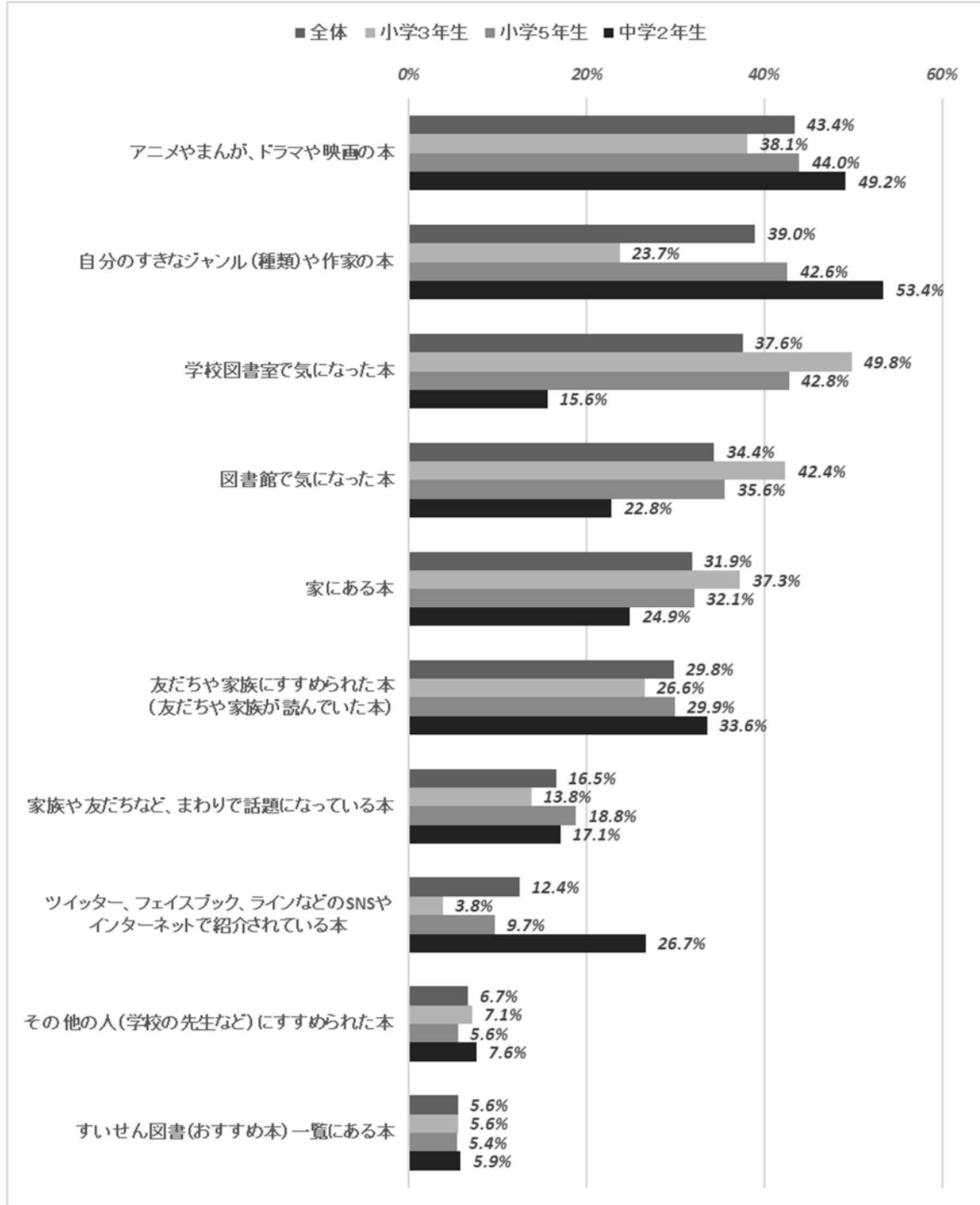


【問4】読む本を、どのようにえらびますか。(複数回答可)

どの学年も、他から勧められるより、自身の興味(趣味・嗜好)により本を選ぶ傾向が高くなっていますが、中でも小学生は、「学校図書室で気になった本」、「図書館で気になった本」が上位に入っています。

中学生では、「ツイッター、フェイスブック、ラインなどの SNS やインターネットで紹介されている本」が約3割となっています。

有効回答数:8357

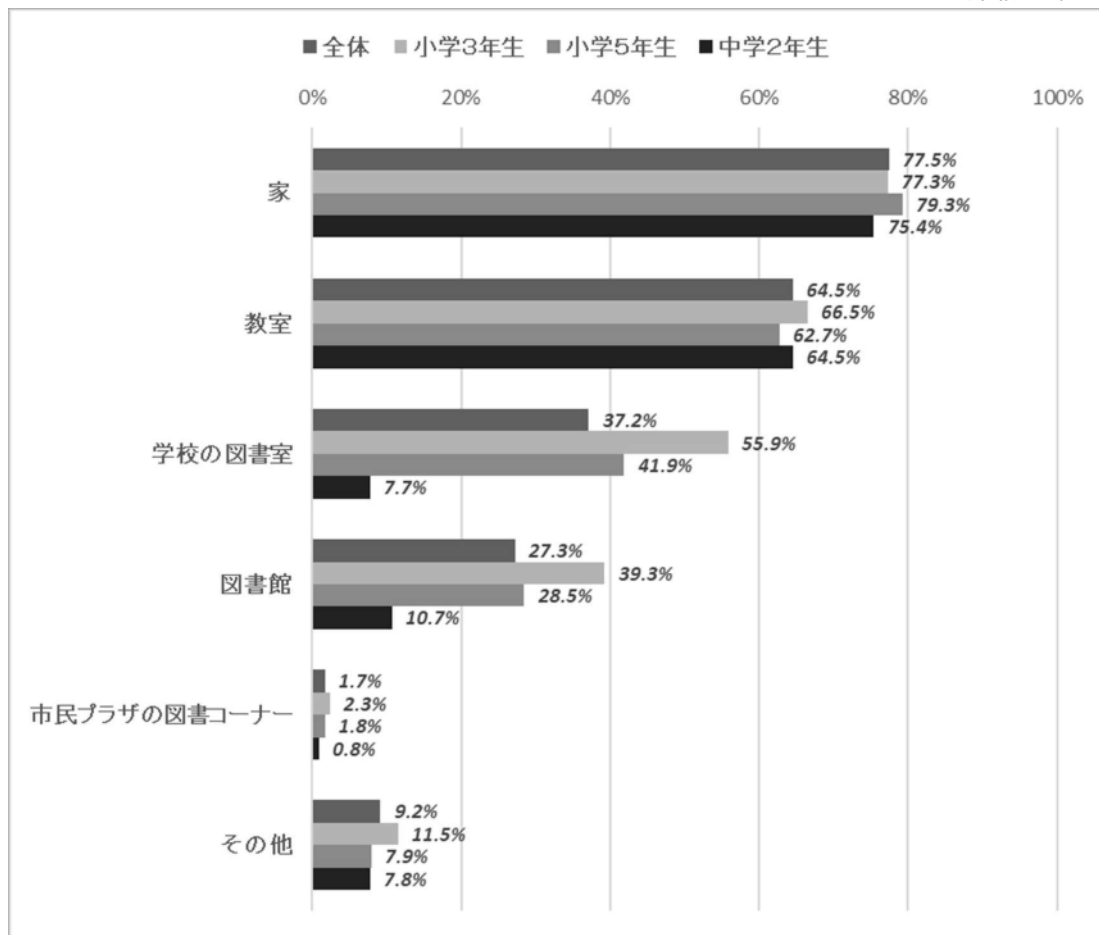


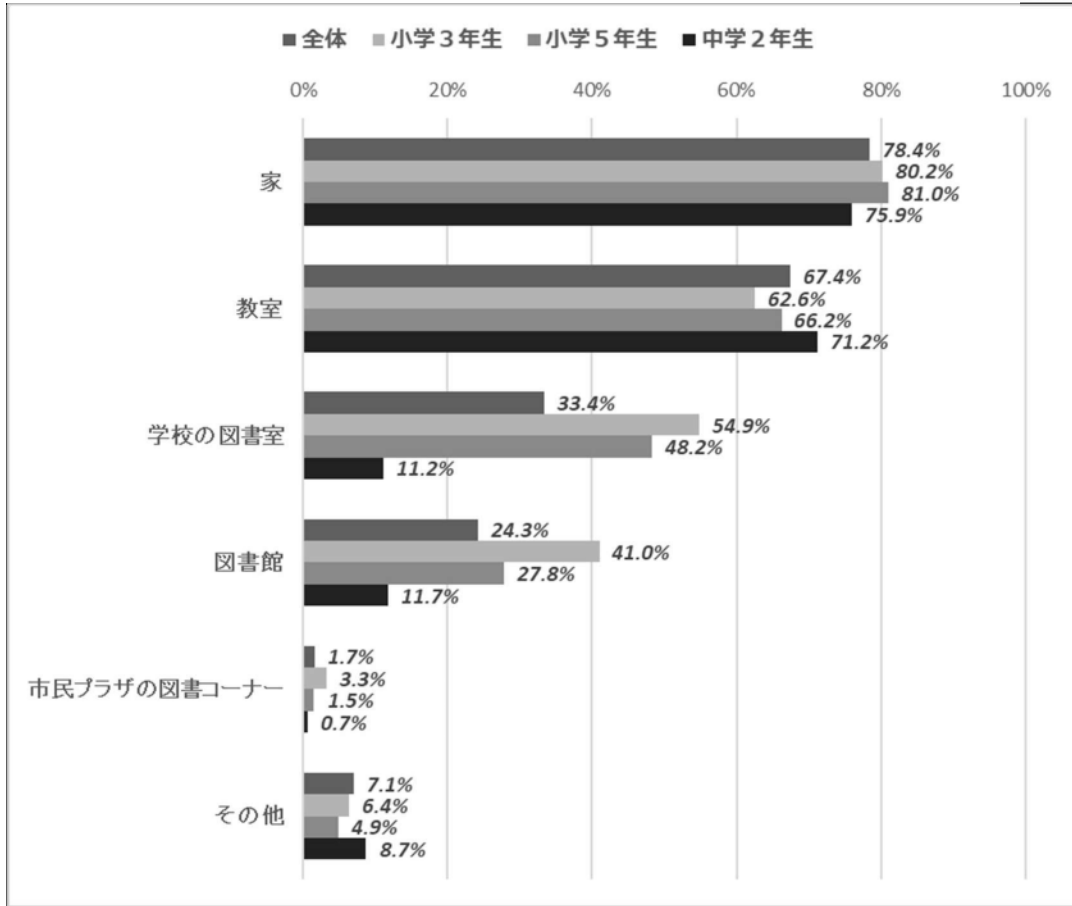
【問5】どこで本を読みますか。(複数回答可)

どの学年も「家」が最も高く約8割の回答、次いで「教室」が約7割で、前回調査と同じ傾向となっています。

有効回答数:今回 8357、前回 2939

今回調査(R4)





※問6の回答によって、以降の設問数や順が異なります。

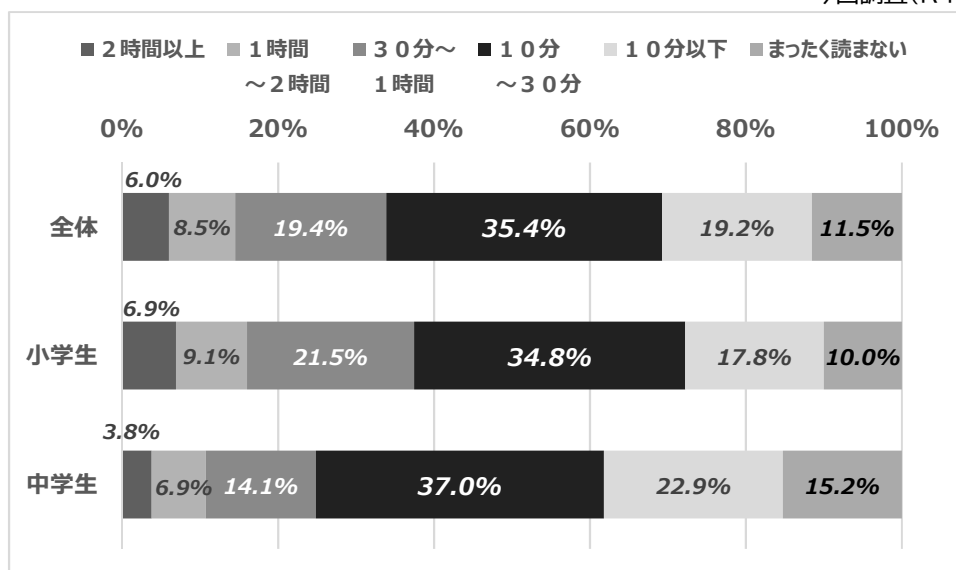
【問6】学校での読書活動(朝読)・家・図書館などで、平均すると1日あたりどれくらいの時間、本を読みますか。

小学生は、「10分～30分」が34.8%と最も高く、次いで「30分～1時間」が21.5%、「10分以下」が17.8%となっています。

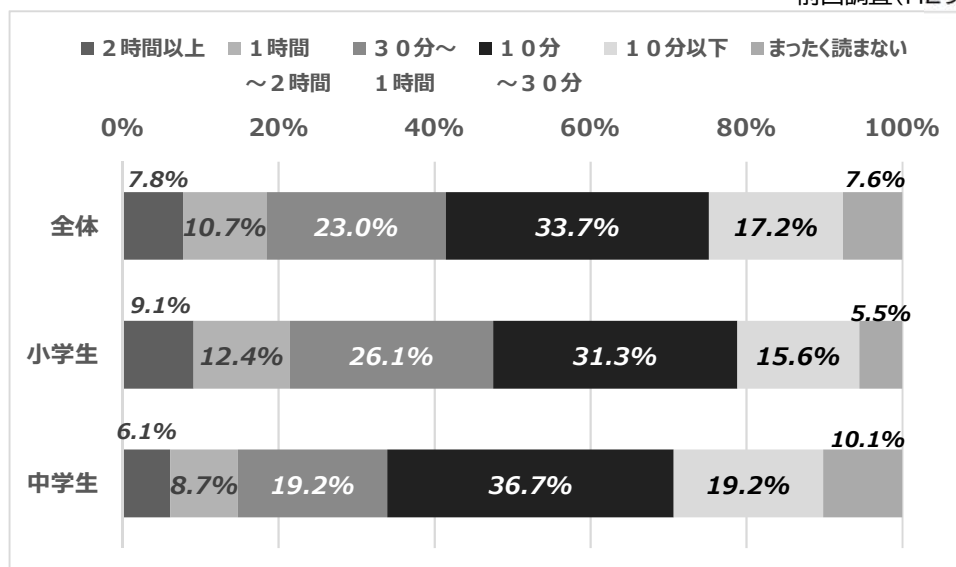
中学生は、「10分～30分」が37.0%と最も高く、次いで「10分以下」が22.9%、「まったく読まない」が15.2%となっています。「まったく読まない」は、前回調査より、小学生が4.5ポイント、中学生が5.1ポイント増加しています。

有効回答数:今回 8357、前回 2939

今回調査(R4)



前回調査(H29)



【問7】「ひがしおおさか電子図書館」をどこで(いつ)利用しますか。(複数回答可)

(問6で、「1～5」と答えた人への設問です。)

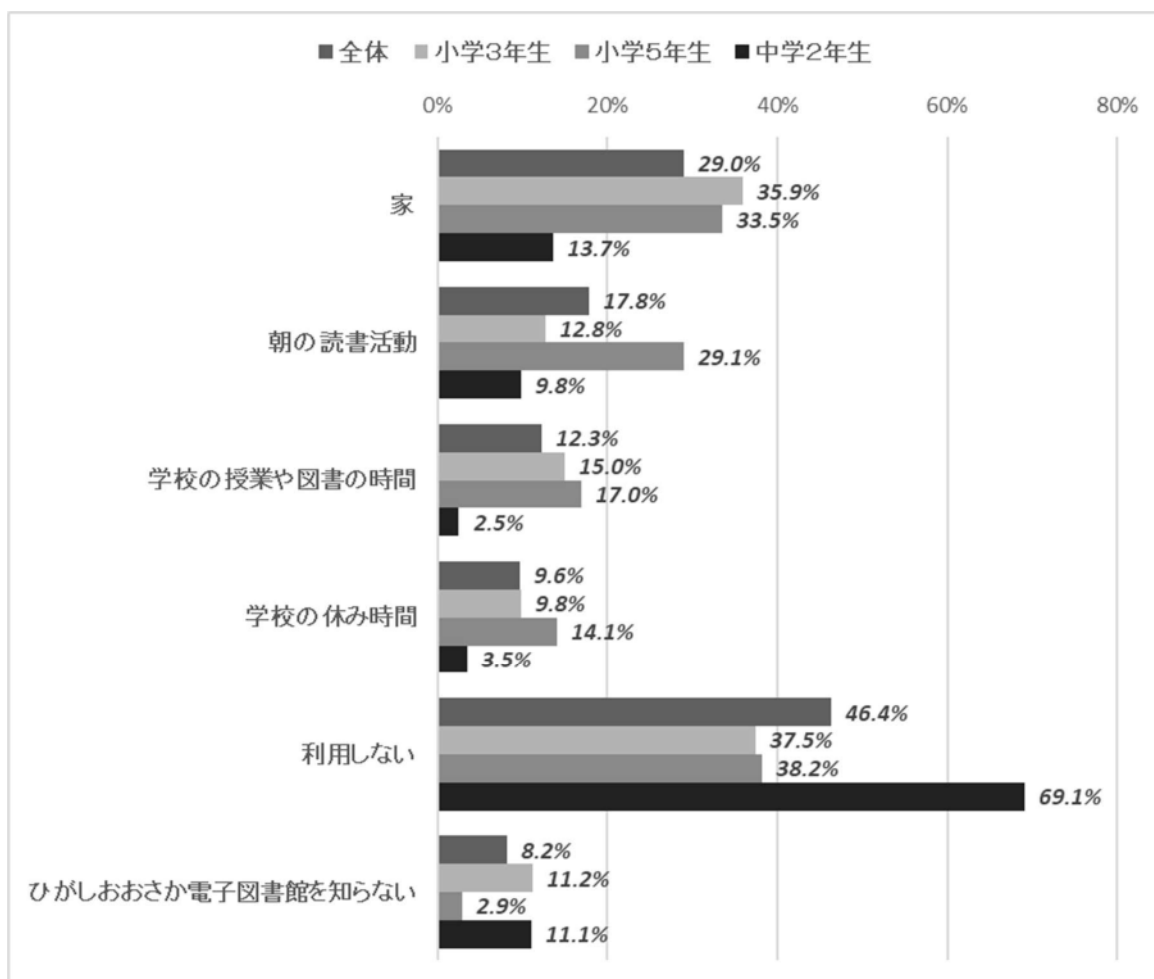
今回調査で、新たに設けた設問です。

どの学年でも最も高かったのは、「利用しない」で、学年別にみると小学3年生が37.5%、小学5年生が38.2%、中学2年生が69.1%となっています。

学校での活用は、「朝の読書活動」で小学5年生が3割程度あるものの、その他の学年では、1割前後となっています。また、「学校の授業や図書の時間」では、どの学年も2割に満たない状況です。

「ひがしおおさか電子図書館を知らない」と回答した小学生3年生は11.2%、小学5年生は2.9%、中学2年生は11.1%となっています。

有効回答数:7396、非該当:961



【問8】ふだん、紙の本と電子の本のどちらをよく読みますか。

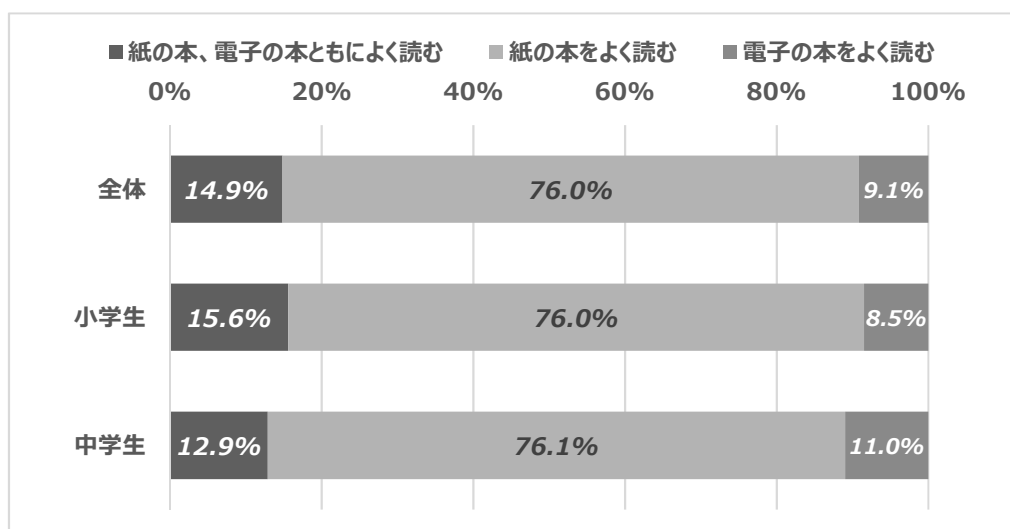
(問6で、「1～5」と答えた人への設問です。)

今回調査で、新たに設けた設問です。

どの学年でも最も高かったのは「紙の本をよく読む」で、小中とも7割以上となっています。

「紙の本、電子の本ともによく読む」と「電子の本をよく読む」を合わせた『電子の本をよく読む』は、小学生が24.1%で、中学生が23.9%で、どちらも2割強となっています。

有効回答数:7396、非該当:961

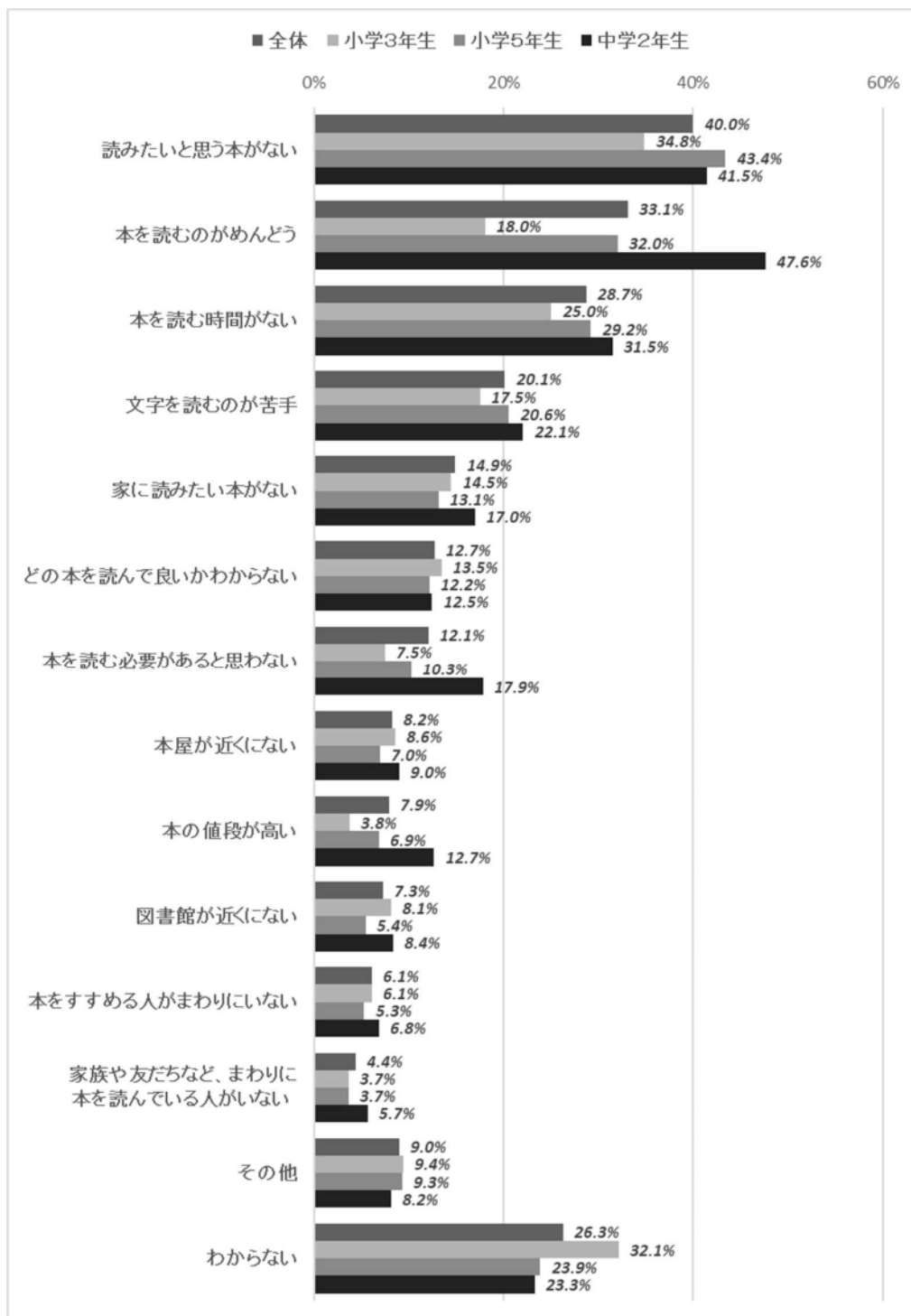


【問9】なぜあまり本を読まないのですか。理由を教えてください。(複数回答可)

(問6で、「5～6」と答えた人への設問です。)

どの学年も「読みたいと思う本がない」「本を読むのがめんどろ」「本を読む時間がない」が上位となっていて、これは令和元年度に行った「大阪府子ども読書活動調査」でも同様の傾向となっています。また、各学年の約2割が「文字を読むのが苦手」と回答しています。

有効回答数:2568、非該当:5789



【問10】わからないことがあった時、どのように調べますか。(複数回答可)

今回調査で、新たに設けた設問です。

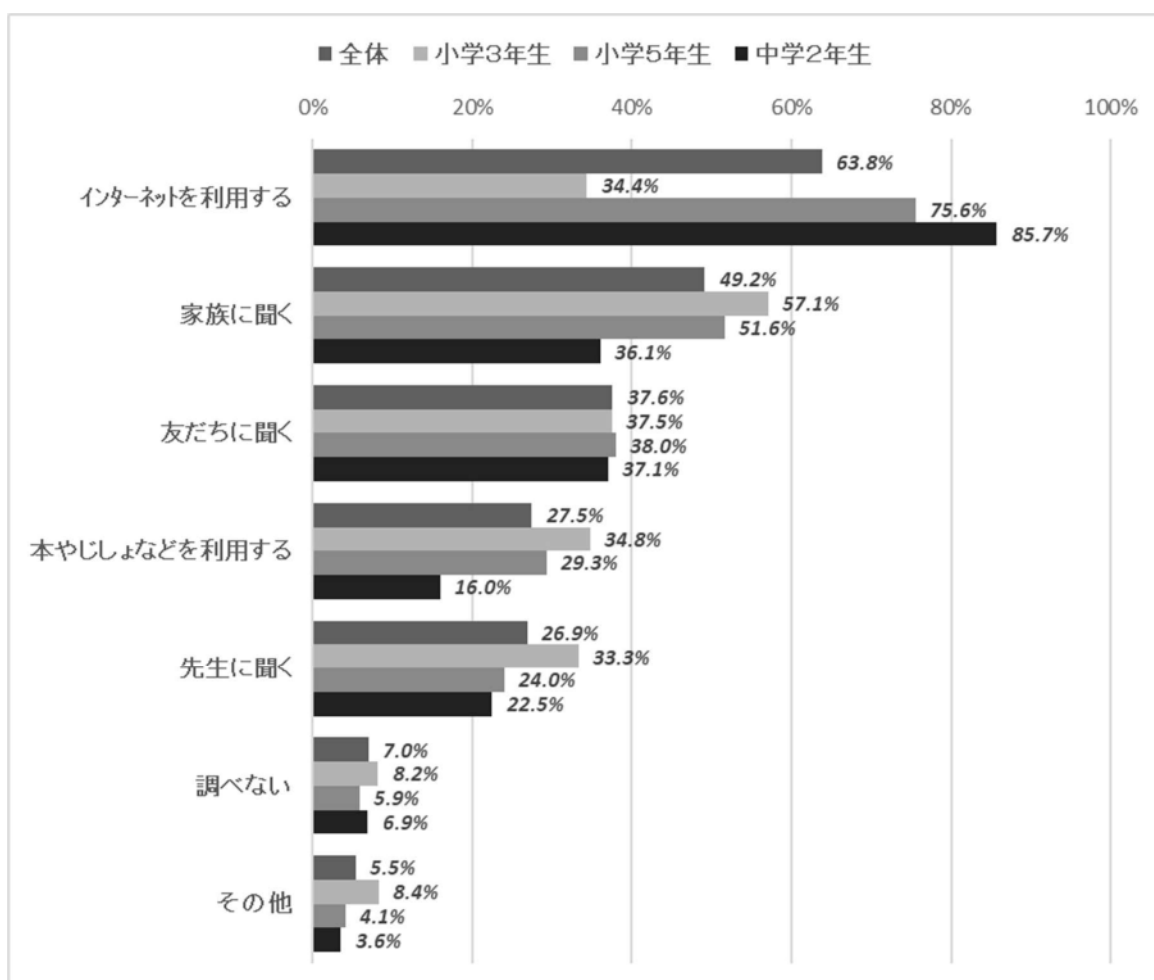
小学3年生では、「家族に聞く」が 57.1%と最も高く、次いで「友だちに聞く」37.5%、「本やじしょなどを利用する」34.8%、「インターネットを利用する」34.4%、「先生に聞く」33.3%で、あまり差のない状況となっています。

小学5年生は、「インターネットを利用する」が 75.6%と最も高く、次いで「家族に聞く」が 51.6%、「友だちに聞く」が 38.0%となっています。

中学2年生は、「インターネットを利用する」が 85.7%と最も高く、次いで「友だちに聞く」が 37.1%、「家族に聞く」が 36.1%となっています。

「インターネットを利用する」と回答した割合は、中学生が約8割超、小学5年生が約7割超、小学3年生が約3割超と、学年が上がるほど高くなっていますが、これは令和元年度に行った「大阪府子ども読書活動調査」でも同じ傾向となっています。

有効回答数:8357

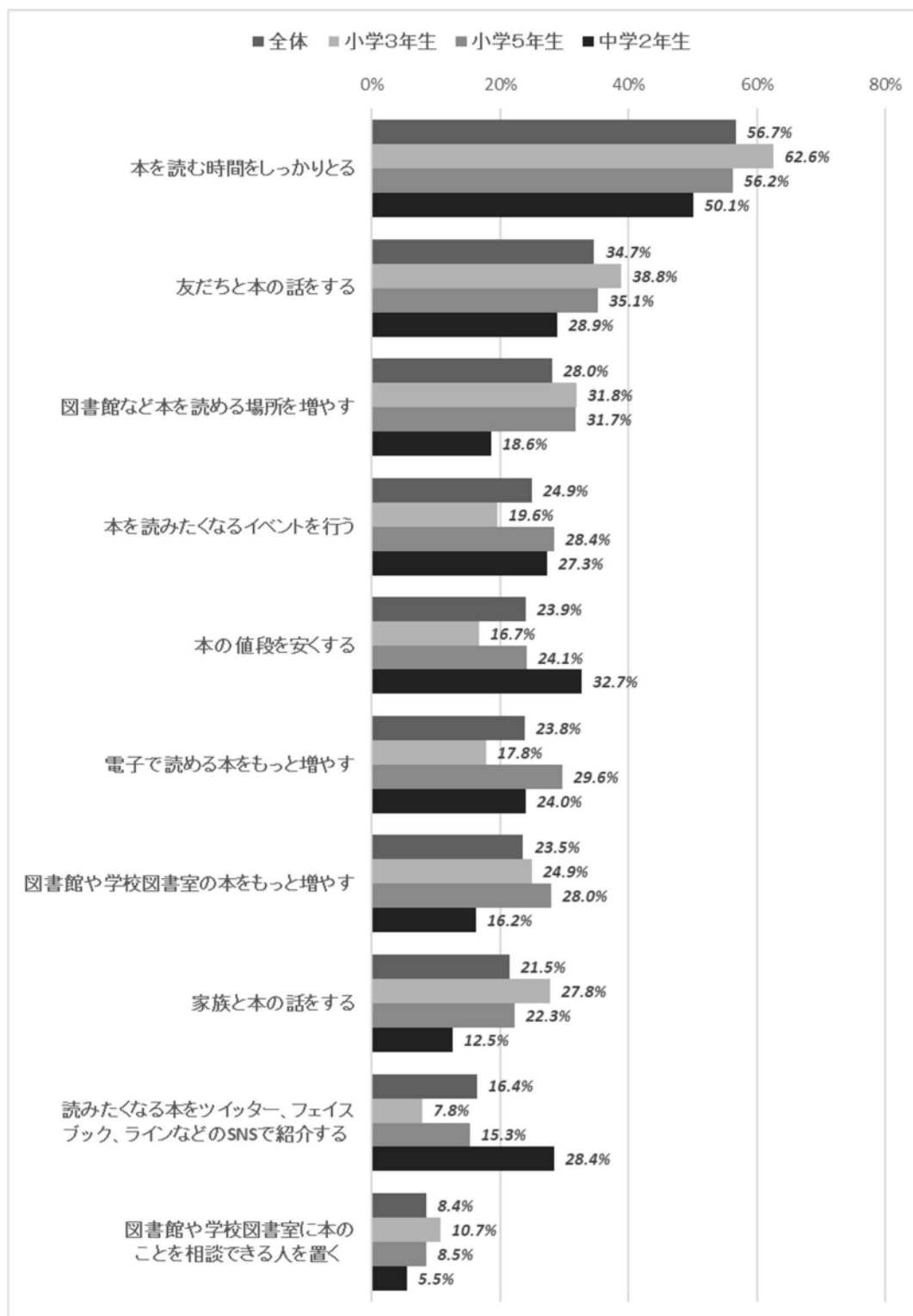


【問11】どうすれば、あなたやまわりの友だちが、もっと本を読むと思いますか。(複数回答可)

どの学年も「本を読む時間をしっかりとる」が最も高く、5割を超えています。

中学2年生では、「本の値段を安くする」32.7%、「読みたくなる本をツイッター、フェイスブック、ラインなどのSNSで紹介する」28.4%が、小学生に比べて高くなっています。

有効回答数:8357

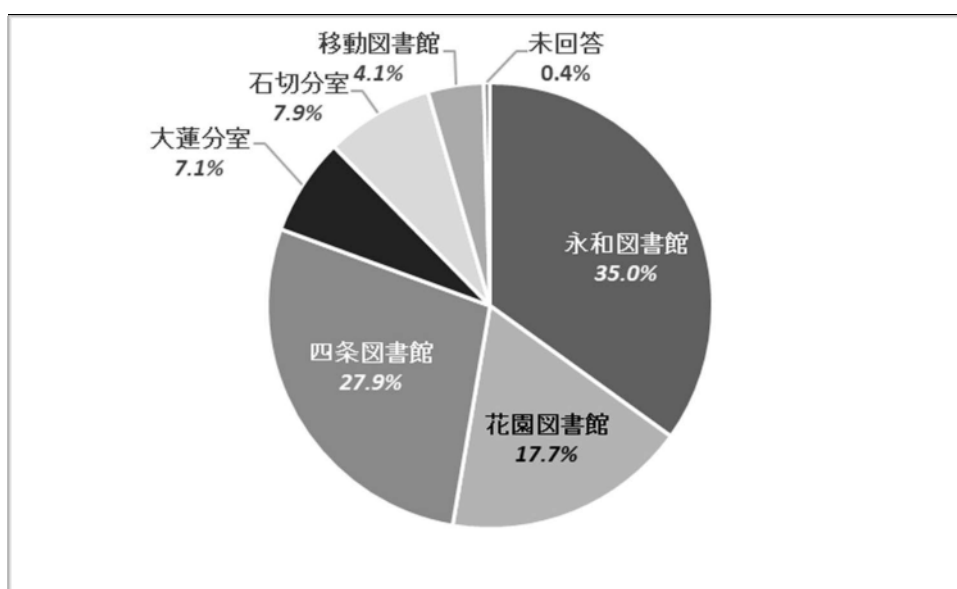


(3)図書館利用者

●もっともよく利用されている図書館はどこですか。

「永和図書館」が 35.0%と最も高く、次いで「四条図書館」が 27.9%、「花園図書館」が 17.7%となっていますが、各館での調査票配付数が一定ではないため、調査結果と利用実態は必ずしも合致しません。

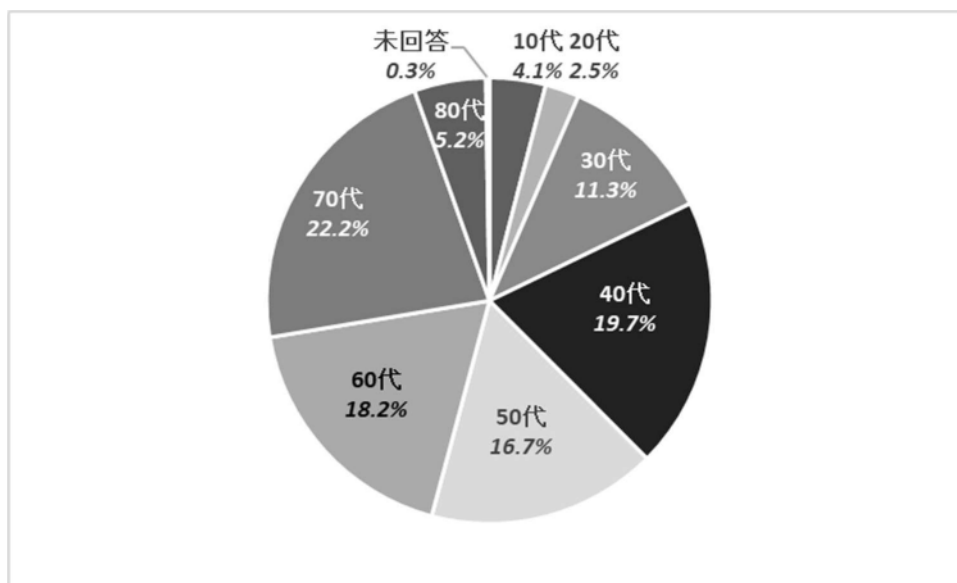
有効回答数:1133



【問1】あなたの年齢を教えてください。

「70代」が22.2%と最も高く、次いで「40代」が19.7%、「60代」が18.2%となっています。「60代」以上は、約4割で、「20代」以下は、1割弱となっています。

有効回答数:1133

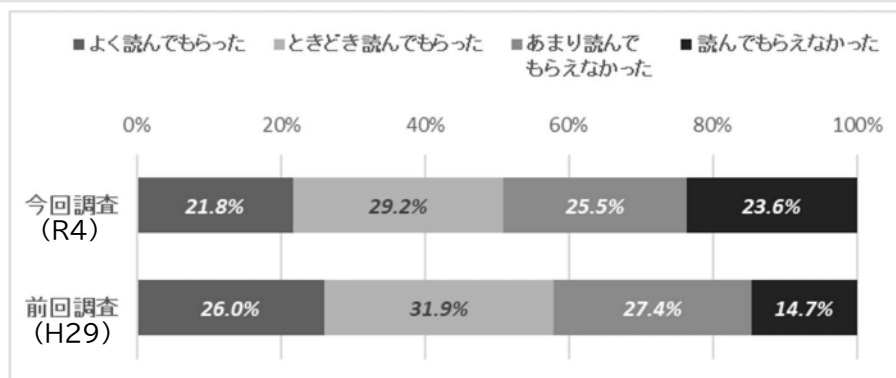
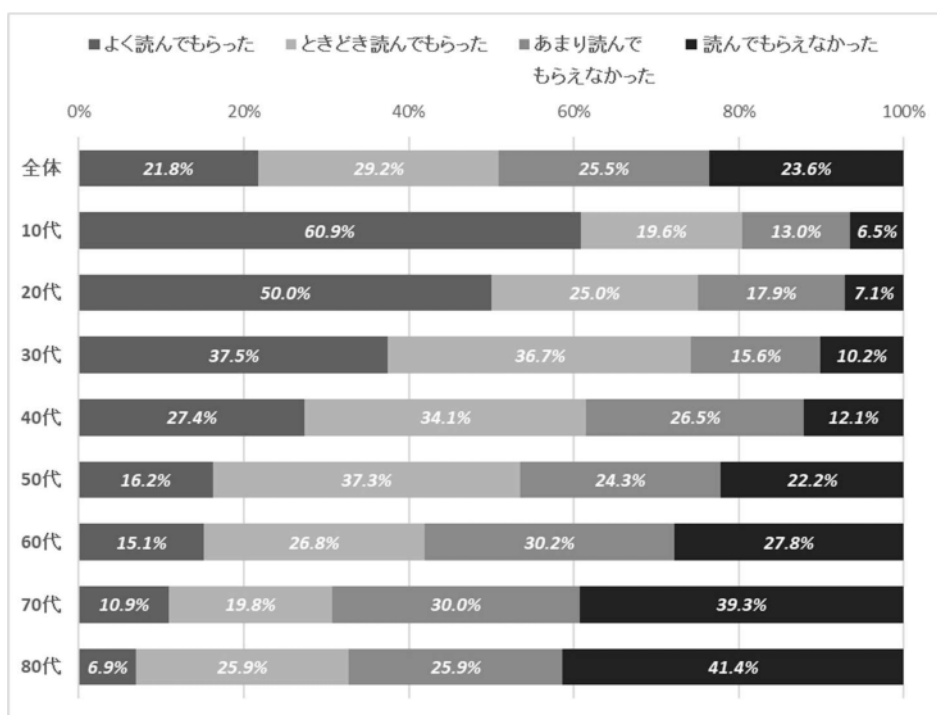


【問2】子どものころ、家の人や身近な人から本を読んでもらったことがありますか。

全体としては、「ときどき読んでもらった」が 29.2%と最も高く、次に「あまり読んでもらえなかった」が 25.5%となっています。「よく読んでもらった」と「ときどき読んでもらった」を合わせた『読んでもらった』は、51.0%、「読んでもらえなかった」と「あまり読んでもらえなかった」を合わせた『読んでもらえなかった』は 49.1%とほぼ同数ですが、年代別に見ると『読んでもらった』の割合は、年齢が下がるほど増加し、年齢が上がるほど減少しています。

前回調査と比べると「よく読んでもらった」と「ときどき読んでもらった」を合わせた『読んでもらった』は、6.9 ポイント減少し、「読んでもらえなかった」と「あまり読んでもらえなかった」を合わせた『読んでもらえなかった』は、7ポイント増加しています。ただし、前回調査に比べて、今回調査では、全体に占める 30 代、40 代の割合が大きく減少し、逆に 50 代以降、特に 70 代の占める割合が増えているため、世代の特徴が出ている可能性があります。

有効回答数:今回 1121、前回 742

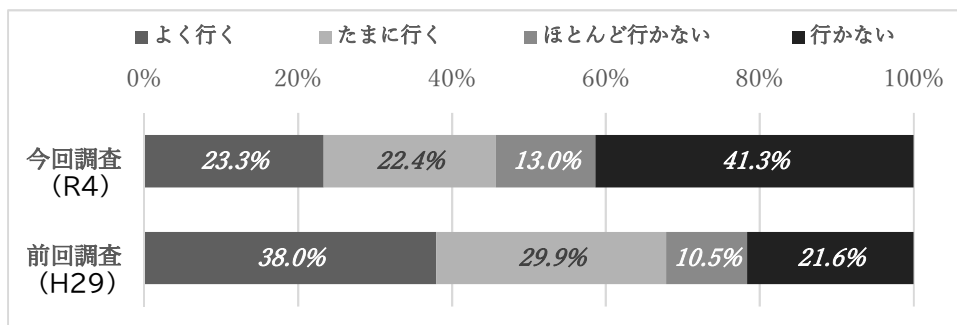
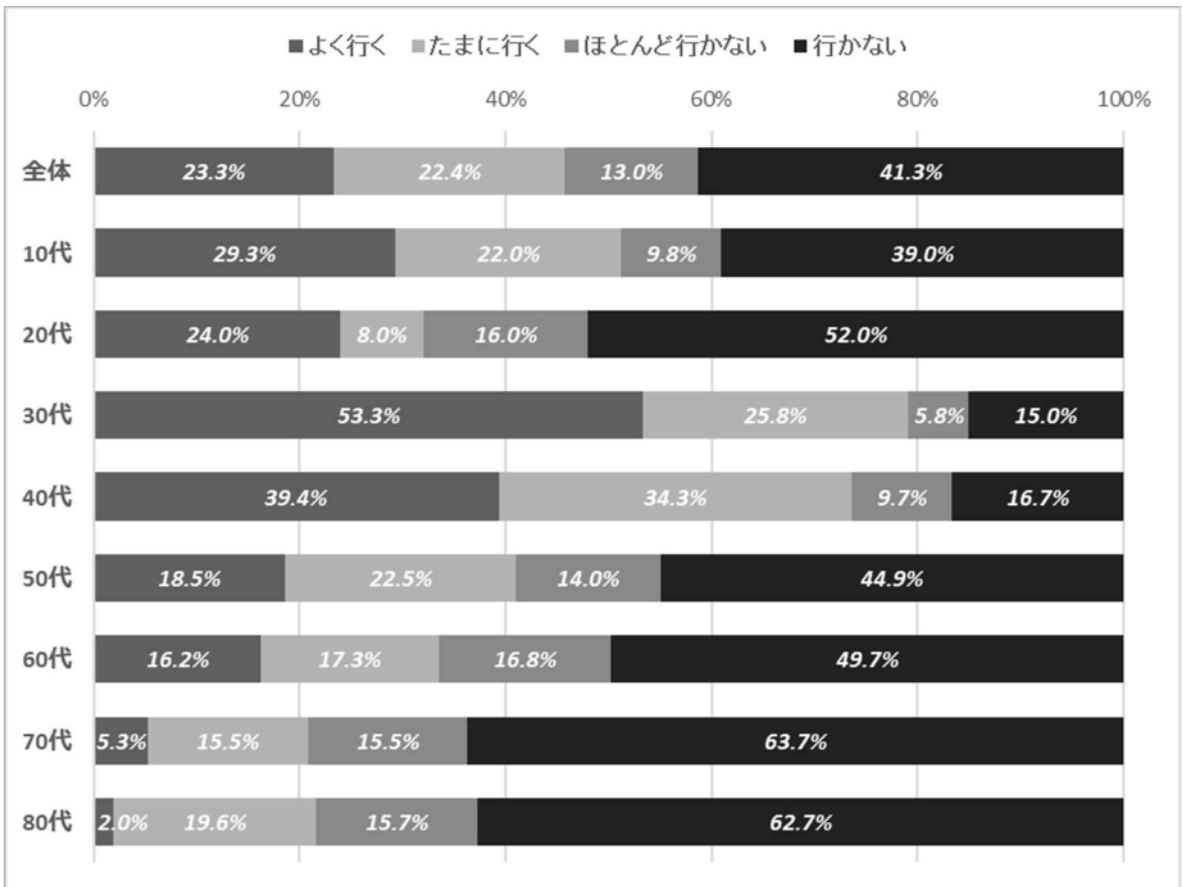


【問3】子どもを連れて図書館へ行きますか。

「よく行く」と「たまに行く」を合せた『行く』を年代別で見ると「30代」、「40代」が約7割強となっており、子育て世代に多いことが伺えます。また、「50代」、「60代」では3割以上となっており、孫と一緒に図書館を利用する方も一定数おられることが推測できます。

また、前回調査と比べると「よく行く」は 14.7 ポイント減少し、「行かない」は 19.7 ポイント増加しています。問 2 と同様、回答者全体に占める 30 代、40 代の子育て層の割合が前回に比べて減っているため、その影響を受けている可能性があります。

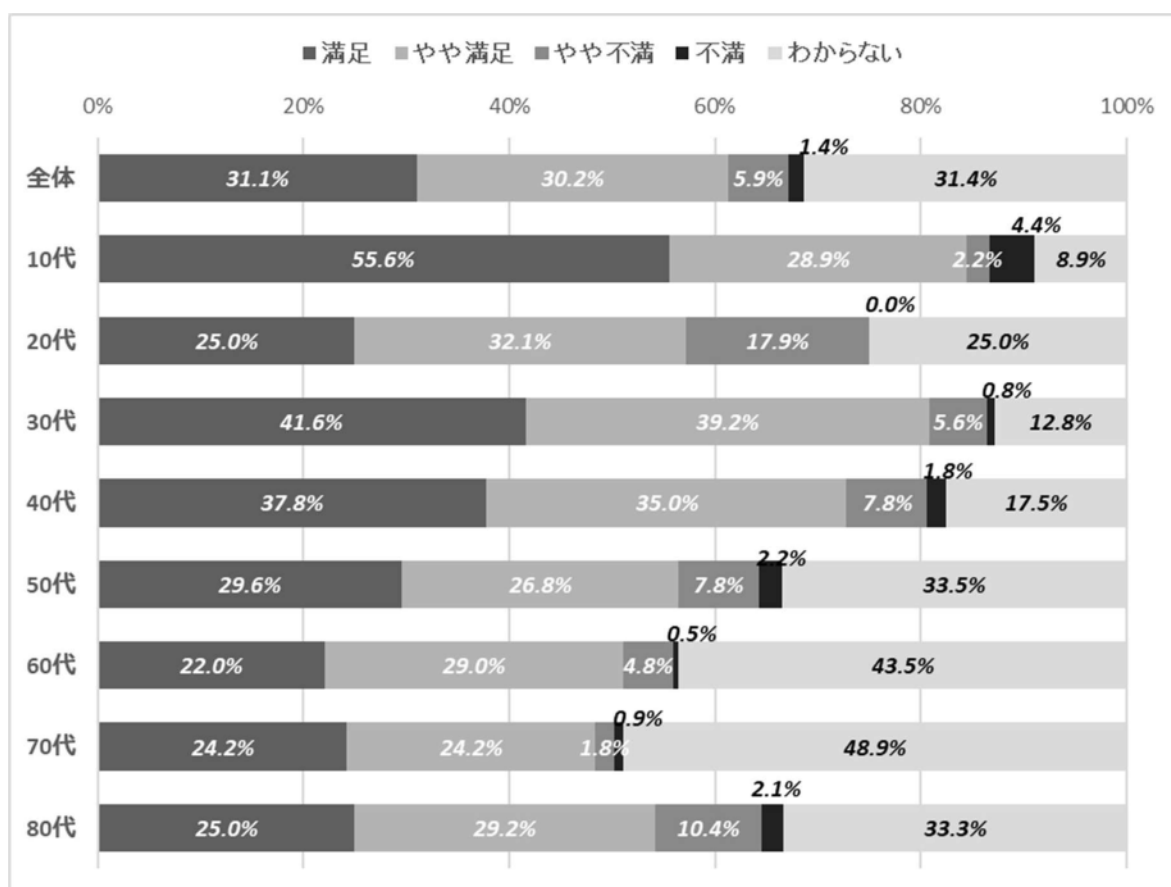
有効回答数:今回 1050、前回 703



【問4】図書館の児童コーナーの雰囲気はどうか。

「満足」と「やや満足」を合せた『満足』の回答を見てみると、児童コーナーの利用者も含まれると思われる「10代」で84.5%、子育て世代として利用していると思われる「30代」で80.8%、「40代」で72.8%となっています。

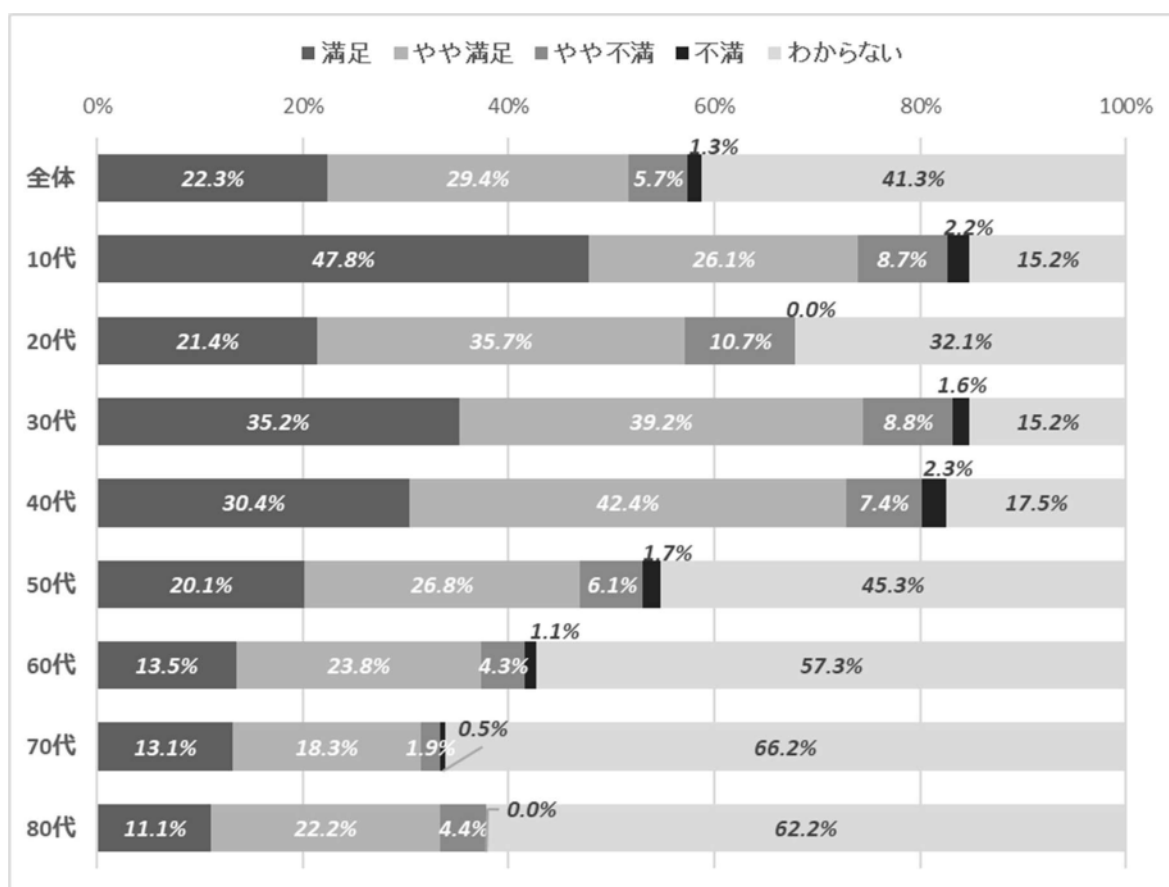
有効回答数:1049



【問5】図書館の児童書の種類はどうか。

「満足」と「やや満足」を合せた『満足』の回答を見てみると、児童書の利用者も含まれると思われる「10代」で73.9%、子育て世代として利用していると思われる「30代」で74.4%、「40代」で72.8%となっています。

有効回答数:1039



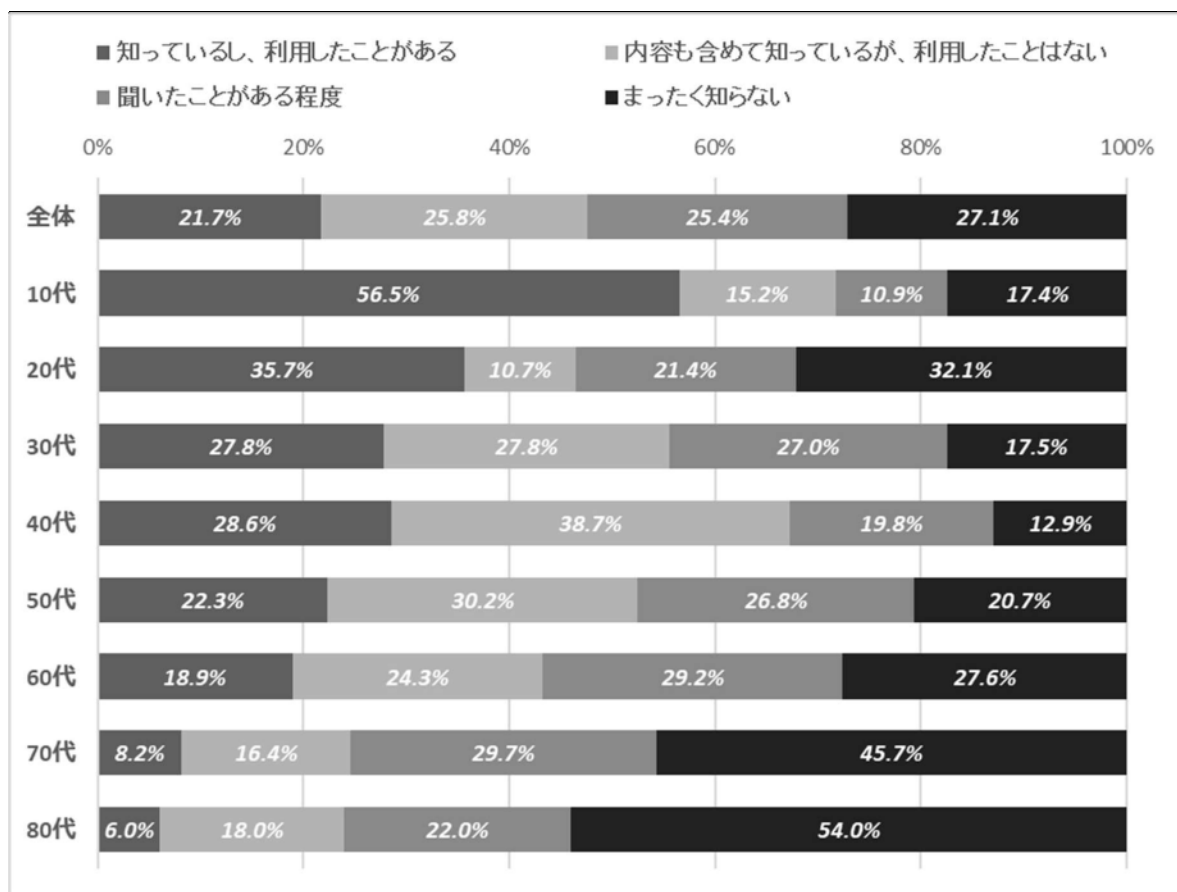
【問6】スマートフォンやパソコンなどの端末でいつでもどこでも24時間本を借りたり読んだりできる「ひがしおおさか電子図書館」を知っていますか。

今回調査で、新たに設けた設問です。

全体で見ると、「知っているし、利用したことがある」と「内容も含めて知っているが、利用したことはない」を合せた『知っている』は、47.5%で、「聞いたことがある程度」と「まったく知らない」を合せた『知らない』は、52.5%となっています。

年代別に見ると、「聞いたことがある程度」と「まったく知らない」を合せた『知らない』の割合は、年齢が上がるほどが増加し年齢が下がるほど減少していますが、特に「20代」は情報端末機器の扱いにたけている年代と推測できるにもかかわらず『知らない』が約5割となっています。

有効回答数:1064



【問7】子ども(自分の子以外も含む)がもっと本を読むようになるには、どんな取組が必要だと思いますか。(複数回答可)

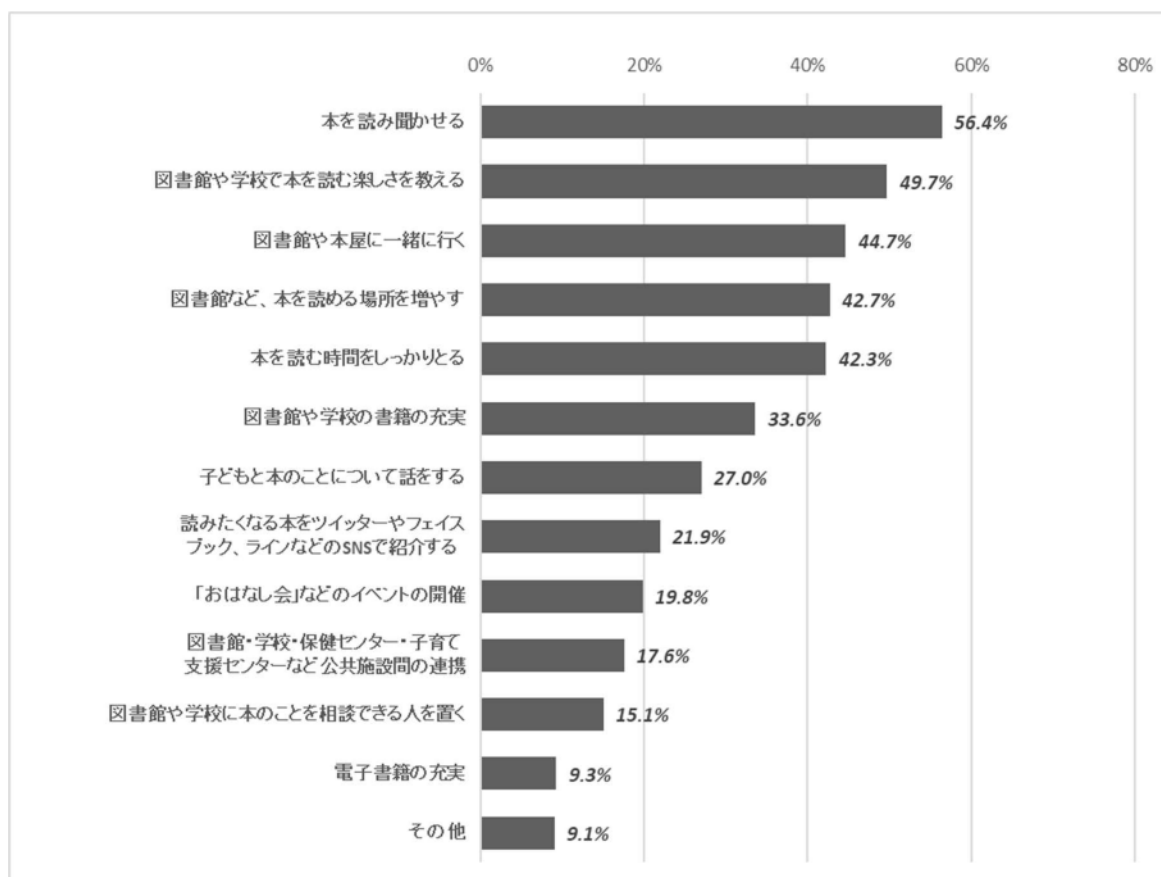
今回調査で、新たに設けた設問です。

全体で見ると、「本を読み聞かせる」が56.4%と最も高くなっています。

各年代において約4割から5割が「図書館や学校で本を読む楽しさを教える」取組がもっと本を読むことにつながると考えています。また、「10代」では、約2割が「電子書籍の充実」を挙げており、他の年代と比べて多くなっています。

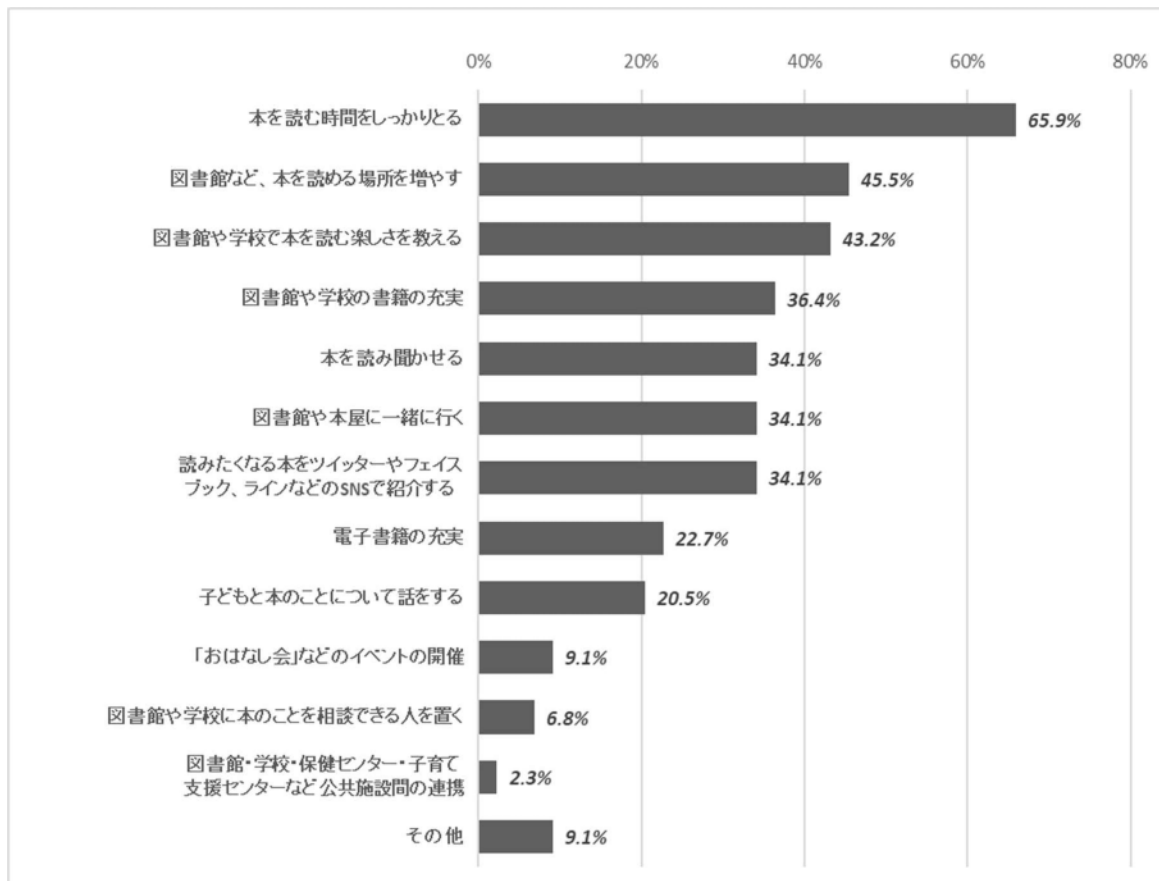
有効回答数:1048

【全体】



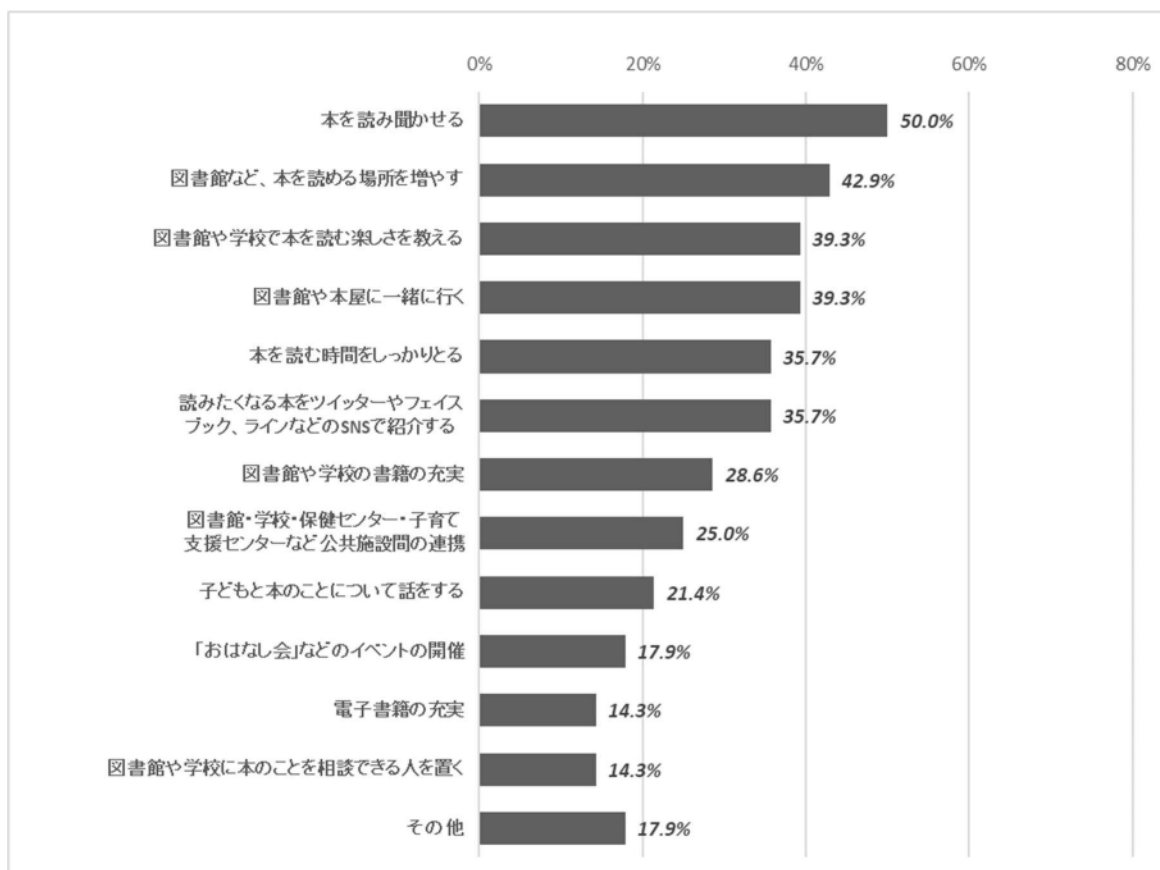
有効回答数:44

【10代】



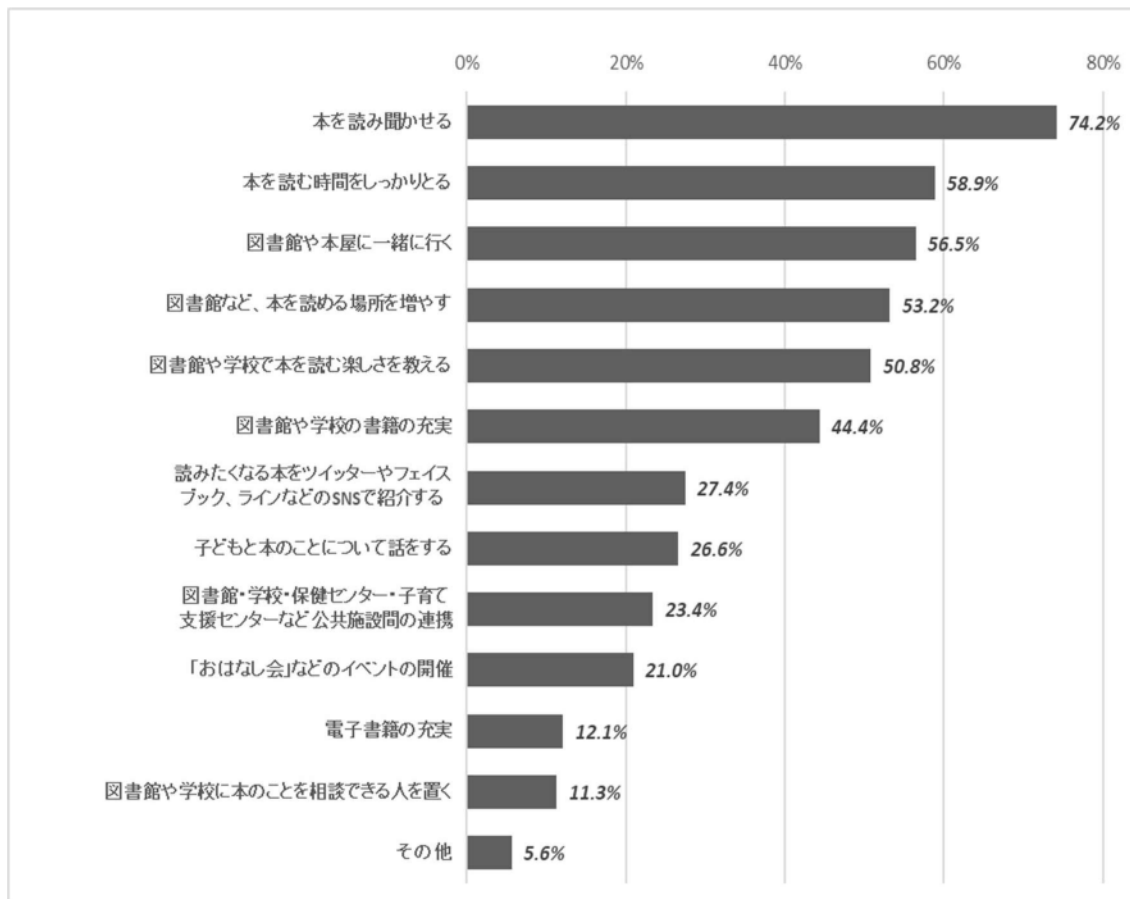
有効回答数:28

【20代】



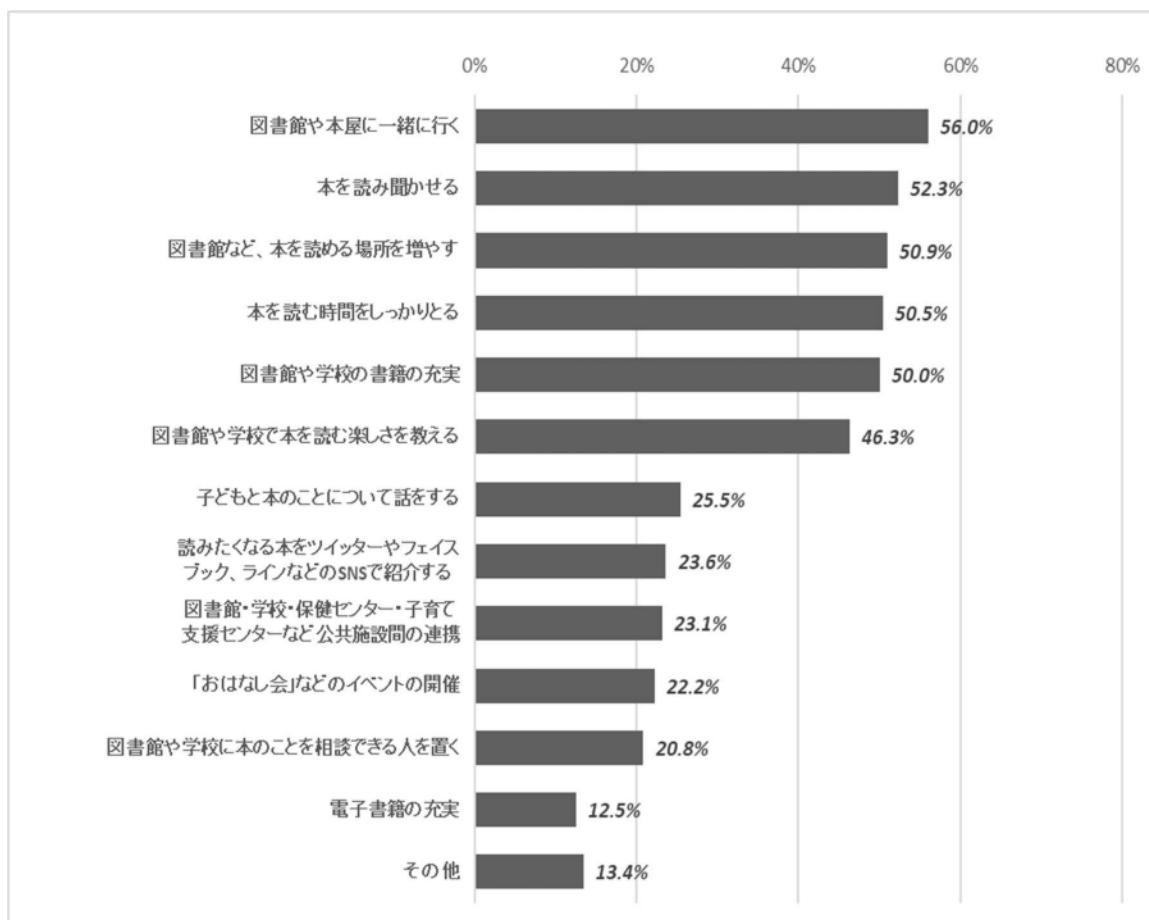
有効回答数:124

【30代】



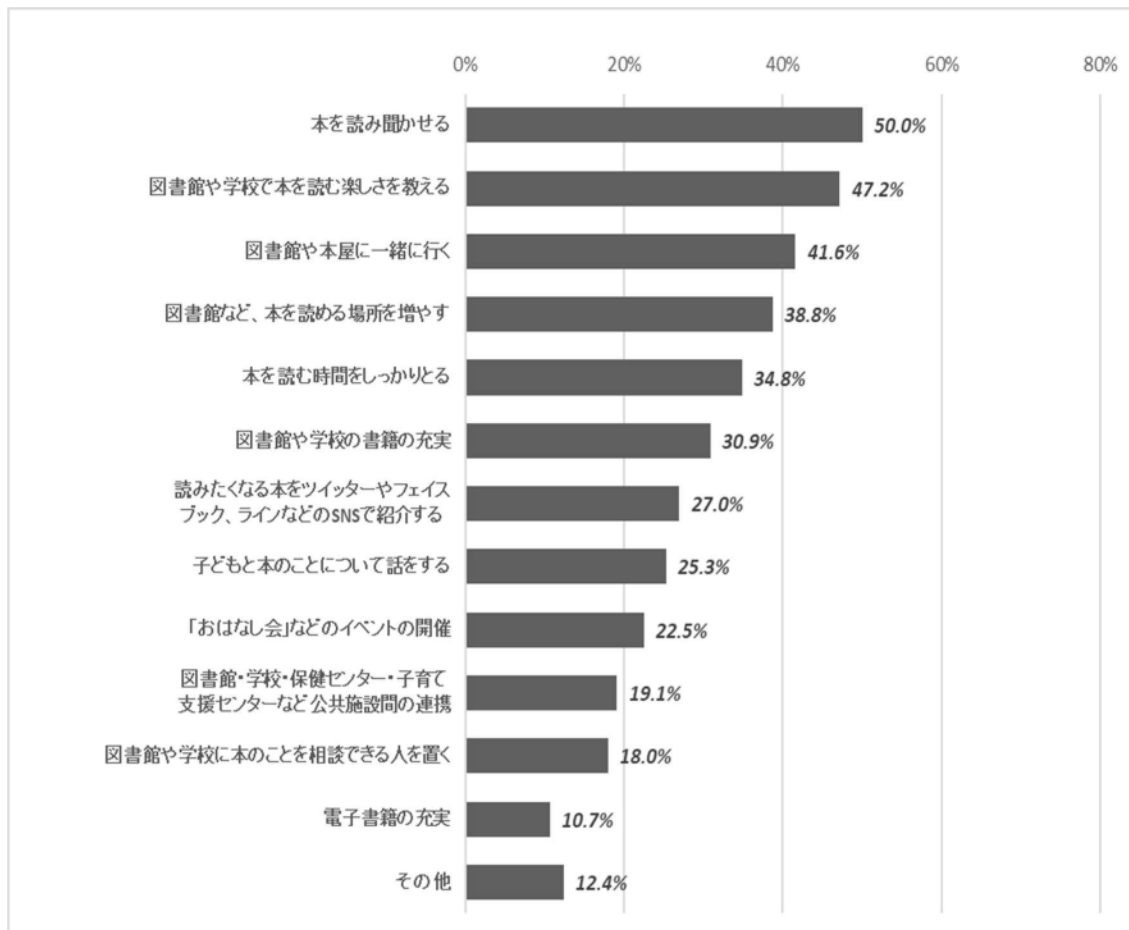
有効回答数:216

【40代】



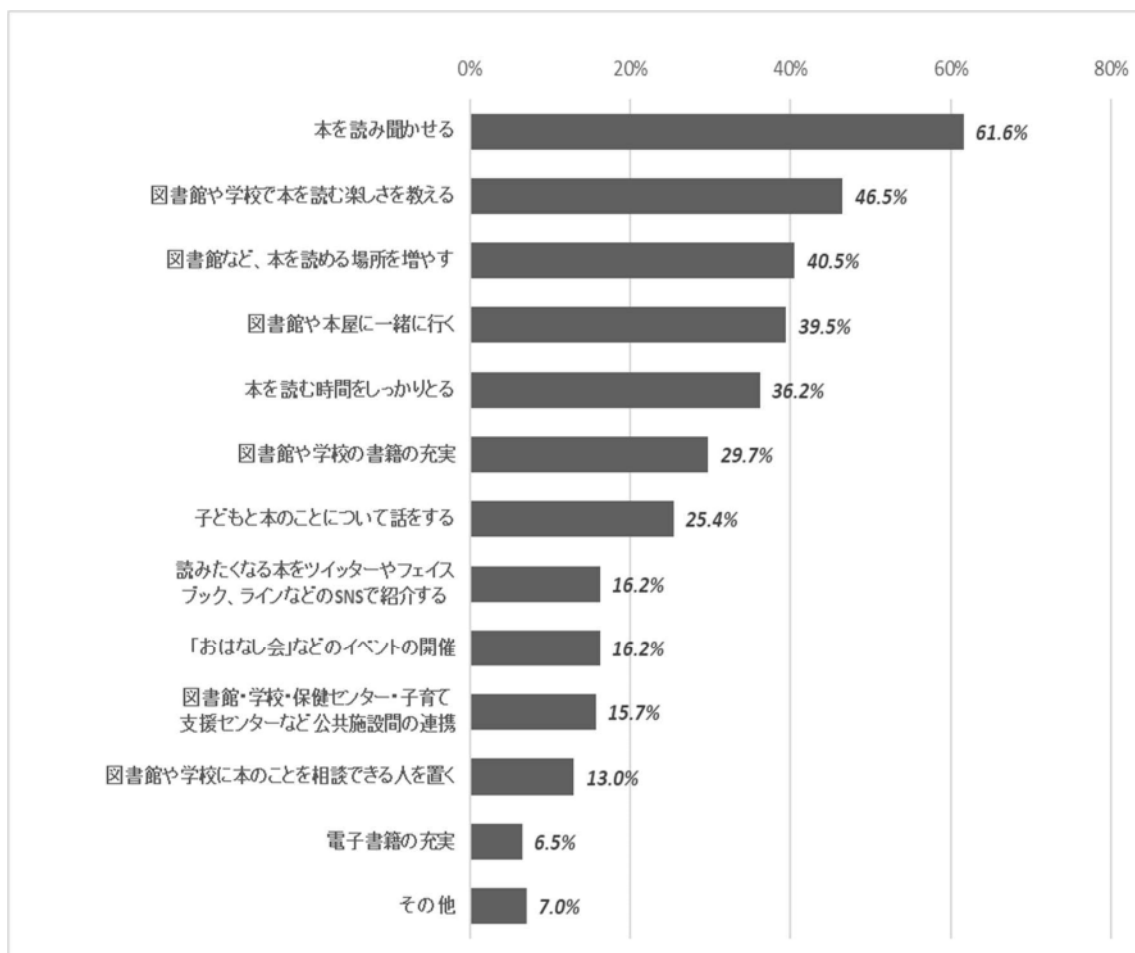
有効回答数:178

【50代】



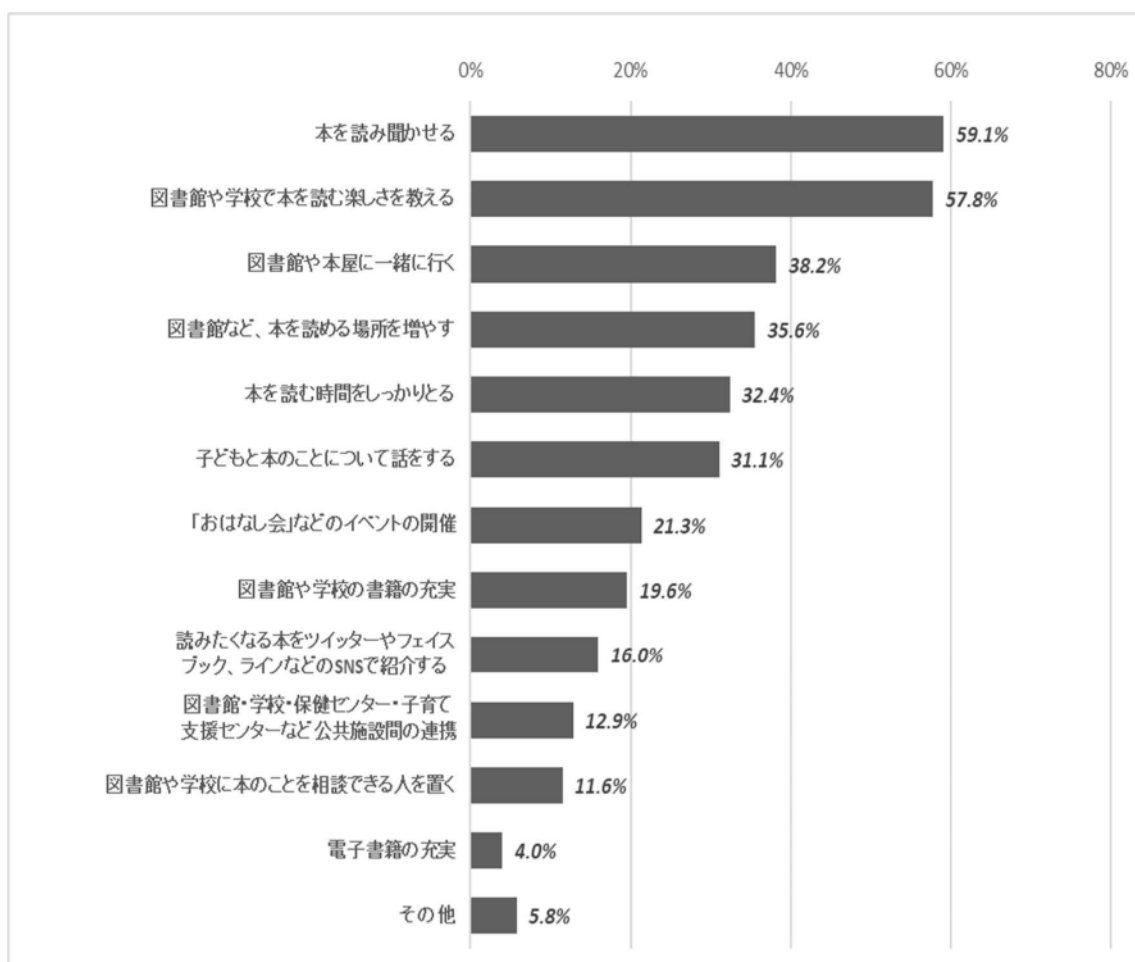
有効回答数:185

【60代】



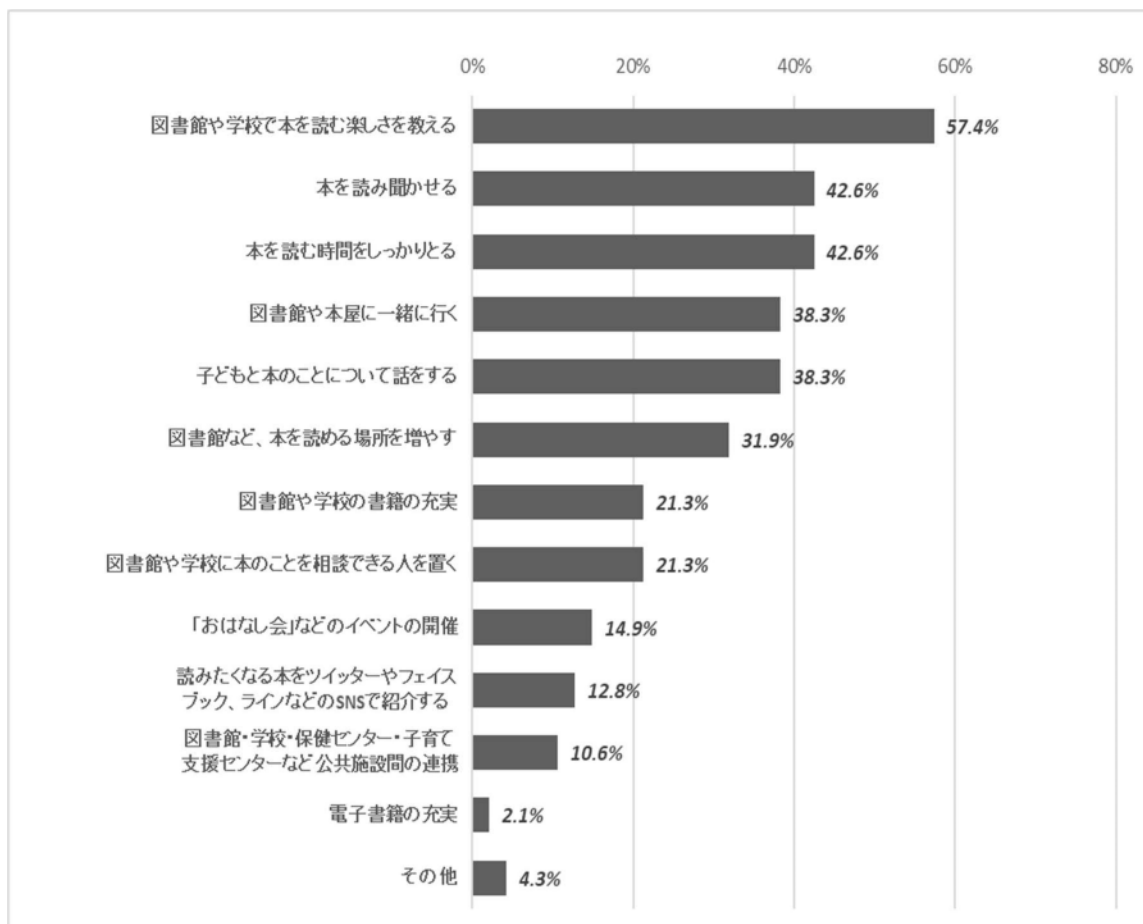
有効回答数:225

【70代】



有効回答数:47

【80代】



自由記述回答

《問7:子ども(自分の子以外も含む)がもっと本を読むようになるには、どんな取組が必要だと思いますか。》

10代	おもしろい本を見つけられるように、ていきてきに図書館にくる。
10代	「お勧めの本」(その本の紹介を載せたもの)を配布する
10代	本の種類を増やす。
10代	こちらから本を読ませようとするのではなく、子供の方から本に興味を持って質問などをされた際に、本の探し方やおすすめの本を教えてあげる。(押し付けられる感じがして本を読もうと思う子は少ない気がするため。)
20代	大人が本を読んでいる姿を子どもに見せる(背中で語る)。
20代	まんがコーナーを充実。
20代	本を読む事はよいことだと思いますが、子どもだからといって騒いでも良いのではないと思います。うるさいので注意してほしいです。
20代	ビブリオバトルというイベントを開催すること。
20代	本人が困る経験をたくさんすることだと思います。あらゆることに関心を持つこと。
30代	読みたくなる本を子どもが自分で探せる陳列。
30代	幼稚園の図書室に気軽に入れたのでよく持って帰りました。
30代	ネットにたよらない調べる知るという行動につなげる取組が必要。(ネットの情報が正しいとはかぎらない)
30代	子どもの前で大人が読む姿を見せる。
30代	学校の図書室が先生の管理のずさんさで昼休みに解放されていない。電子図書はすぐに読める本がなく(予約待ちが多すぎる)利用しづらい。
30代	自分自身も本を読んで、本を読んでいる大人を増やす。
30代	家庭のリビングに本棚を設置して本を手に取りやすい環境を作る、親子で読書を楽しむ。
40代	がんばってください。
40代	学校に図書館司書さんがいなくなって図書館が気軽に行けなくなった。5分休けいでも学校の図書室に行けたらいいのに。あとすわる場所少なすぎる。大人のたまり場で子ども向きの場所ではない。
40代	おすすめ本のPOPの充実。
40代	学校の図書室自由に入出入り。
40代	永和図書館の手作りのしおりを子ども達はいつも楽しみにえらび利用させて頂いております。作って下さっている方、本当にありがとうございます。

	絵がかわいくて私もとても使用するのがうれしいです。これからもよろしく お願いします。
40代	漫画は本じゃないという大人がたまにいるけど、漫画から学ぶこともあるから 大人の意識を変えることも必要。
40代	塾に行かせない。ヒマにする。
40代	子ども・年寄りが利用できる社会インフラを多く建てる。親と子の関係が強 すぎるので(べったり)、地域コミュニティを強化。
40代	電子書籍はよめる本が少ない、オンライン検索が不便すぎる、もどるボタン が無かったりシステムがしょぼい。
40代	子どもでも探しやすいしくみ。
40代	どう興味をもたせるかがむずかしい。
40代	小学校の図書室にマンガをもっと(新しいものわだいのもの)を置く。マンガ ではいつか足りなくなり小説も読む。ゾロリより先のがたりに家でみち びくのが、かなりむずかしかった。(よみきかせ6才までに絵本 3000冊)そ のあたりのよみやすい本やしょうかいなどのコーナー(子供が分かるよう に)がほしかった。いつもありがとうございます。
40代	読書感想文をやめる。もしくは好きな本を推させる。
40代	テレビ、タブレットに接する時間を減らす。テレビがついていると、小さい子 は本ではなくテレビに集中してしまいます。親も一緒に本を読む時間をと る。(別に読みきかせなくてもいいので、自分の本を読む) 子ども同士がおもしろかった本を紹介しあう場があればいいのでは。(学 校。図書館で)
40代	放課後幼稚園のあとなど自由に行ける場所、宿題もできるところが各地に あればいいと思います。学校の学童は月単位でしか申込みできず自由に使 えない、子どもだけで安心してすごせる場所に本があり興味のある本を紹 介してくれる司書さんがいれば子どもはゲームより本のおもしろさに気づく と思う。
40代	各子供たちの興味あるものが、本として図書館にあることを伝え、実際に見 に行ったり、ここにあるよと教えたりを親や学校の先生が丁寧に導いてあげ ること。各子供たちの興味を引き出すことが大切だと思います。
40代	いつもありがとうございます。
40代	スマホ、タブレットの利用制限をすること。
40代	身近な大人が本を読む。
40代	親が本を読む姿を子どもに見えるようにする。大人も本を読むようになる よう、働きかける。

40代	子どもに好きな本を紹介するコーナーを作る。
40代	ペーパーの本をなくさない。本は装丁を含めて「本」装丁、厚さ、紙のさわりがこち、全て含めて長期間の印象に残ると思います。
40代	親や身近な大人が本を読む。(読んでいるところを見せる)
40代	年齢別にお勧めの本を掲載して欲しい。幼児の本は見つけやすいが、小学生や中高生にお勧めの本が探しにくいです。
40代	図書館の椅子を高齢者ばかりが陣取らないようにする。
40代	親もたくさん本を読む。
40代	図書館は改装されて良くなっが、自転車置場が少なく、また子供乗せ自転車がおきにくい。従って、子供を連れて図書館にいきたいでも行きづらい
40代	自転車置き場がいつもいっぱい、子どもを連れていく機会が減りました。小さいお子さん連れのお母さんが、自転車を置くのに苦労されているのたまに見かけます。まずは図書館に足を運びやすい環境にして頂きたいです。
40代	各々の好きなことが、本に詳しく書いてあるという結び付きを示す。(大人や教師からアドバイスする)
50代	面白い本の簡潔な紹介文の作製。
50代	子ども自身が発信できる環境があればよさそうと思います。
50代	絵本はもちろんですが、児童文庫、YA等の充実もお願いします。(外国ほんやくもの、いろいろな地域の)。
50代	家で”本のある暮らし”をとり入れる努力をする。
50代	身近な人に進めてもらうのが一番きょうみをもつようです。
50代	どんな本でもいいから本を読むと勉強になるよと話してあげる
50代	市が主催する読書についての親向けの講座オンラインでも。
50代	自宅に本を常備しておく。
50代	親の本のためのけいもう活動のための企画。
50代	親が本を読んでいる姿を見せれば、本が少しは身近になる。・子どもが受験勉強をしていた横で、本を読んでいた。子どもに伝わったか分かりませんが、親も勉強しているよという雰囲気を出していました。・ショッピングセンターに行った時は必ず本屋に行くので、子どもから「次、本屋に行く？」と聞くようになりました。
50代	年少者との会話から本人の`知りたい、を探知(提案する事)が望まれると思います。

50代	学校や幼稚園で「図書室に行く時間」「本の時間」を授業として入れる。(昔は授業で「図書」という科目がありましたが、今はあるのかな？ 幼稚園でも「図書室の時間」がありました)
50代	親が楽しんで本を読んでいると子供も自然と読むようになると思います。
50代	家の子供の手の届きやすいところに本がたくさんある。
50代	子どもの前で本を読む姿を見せる。
50代	読んだ本の数だけポイントをあげる。
50代	本を身近に感じるよう小さい頃から絵本がすぐ取れるような環境を作る。子どもが自分で絵本を読む手助けをする。気に入った本を何度も何度も読む。
50代	子供になって欲しいと思うなら、大人がお手本になるべきです。大人が、本を読んでいる姿を見せる事は、大切です。
50代	行きたくなるような広くてキレイな図書館に建て替える。
50代	清潔感のある綺麗な図書館にリフォームする。
50代	親自身が、読んでいる姿を見せる。
60代	すぐに手に取れるように表紙をしっかりと見せて置く。
60代	図書館内で子どもと親がゆっくり本を読み聞かせる場所がほしい。
60代	読みたいときにすぐ借りられないと本は読まない。
60代	本に触れる機会(場所や時間)を増やすことが大切かと。
60代	親が本を読む時間を取り、その姿を見せる。
60代	家庭で本を読むことが当たり前の家庭であること、まわりの大人が楽しそうに本を読んでいると子供が読むわけがない！！
60代	良くないと言われている週刊マンガ本も積極的にとり入れる、その傍にその作者に関する書物や図鑑等を置くことで自然と書物を手にとる態度も育つ、読書は主体的自主的にとりくめる環境づくりを！
60代	3階開放。
60代	読み聞かせなどのお知らせの紙を貼り出して下さい。
60代	私は小学生の頃、本を読む競争グラフがあつて担任からほめられてもっと増やそうとがんばりました。
60代	本を読んでもらったことはないが1年に1回、本を買ってもらった思い出があります。
60代	家族・学校以外のちょっと年齢の大きい人との交流。
60代	できれば24時間開館願えれば問題を抱える子供の避難所になる(TV等でやってました)子供達はそこで本を読みました。
70代	子供がゲームをする時間を決める、SNSを制限する。

70代	興味を持たせること。自分で調べるようになる。
70代	(8.「図書館や学校の書籍の充実」への補足として)「科学だったら入門書から関連した本をそろえる。小説では全集などをそろえる。」
70代	孫にも本の楽しみを教えたことがあります、今はスマホに熱中
70代	図書館に行く日を学校にお願いする(年に数回行く)
70代	小さい時の親子かんけいでよみきかせる。
70代	①子供が小さい時本屋で立ち読み②寝る時昔ばなしの本を読み聞かせました。
70代	大型スーパー等と図書コーナーを連携する例えば「おはなし会」などのイベントの開催。
70代	親と一緒に読む
70代	幼稚園・保育所・小学校に出かけて子どもたちに本を読む楽しさを学ばせるように出張授業をしてあげてほしい。
70代	親も本を読む。
70代	12番にユーチューブを加えると、まさに現代人の生活の一部であるので。
80代	親、兄弟が本好きであること。
80代	紙の本、印刷インクの匂い、人生に目覚めるとき。良書を選んで与えてほしいです。

(4)ブックスタート事業対象者

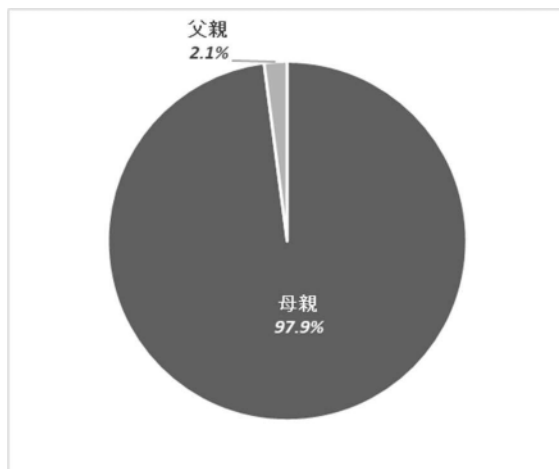
※前回(H29 年度)調査と比較するにあたり、集計方法については今回の集計方法に考え方を合わせています。そのため、前回報告内容とは若干差がある可能性があります。

【問1】あなたとお子さんの関係は。

今回調査で、新たに設けた設問です。

9割以上の回答が母親となっています。3歳6か月児健診の案内通知にアンケート調査の依頼を同封しているため、最も身近で子育てをしている母親の回答が多いと考えられます。

有効回答数:97

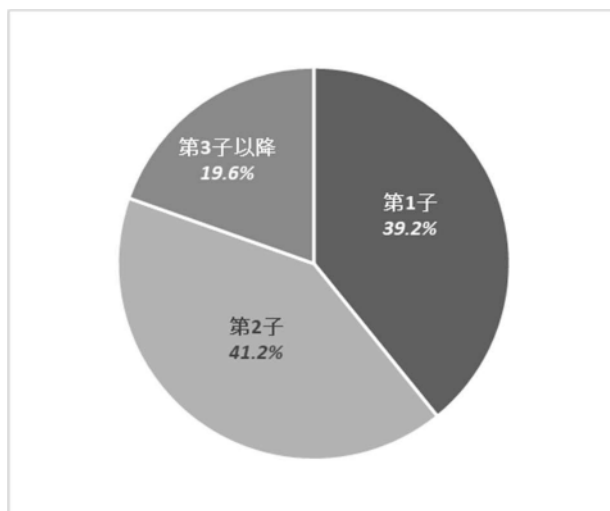


【問2】お子さんは第何子ですか。

今回調査で、新たに設けた設問です。

第1子及び第2子は共に約4割程度で、第3子以降との回答は約2割となっています。

有効回答数:97

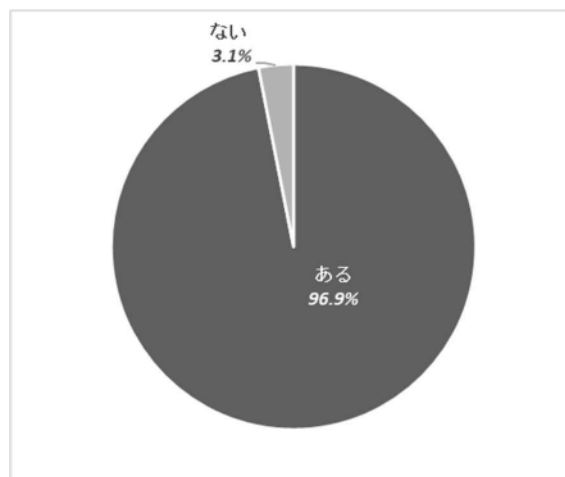


【問3】あなたのご家庭では、そのお子さんと絵本を見たり読んだりすることがありますか。

今回調査で、新たに設けた設問です。

96.9%の保護者が「ある」と回答しており、乳幼児期での読書の必要性は理解されていると考えられます。

有効回答数:97

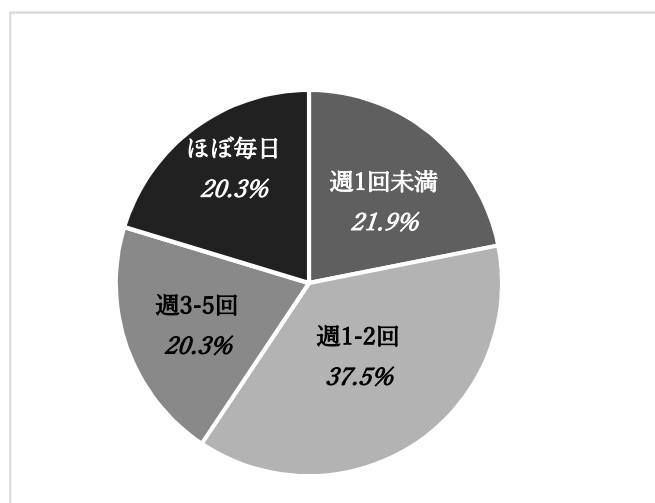


【問4】その頻度はどの程度ですか。

今回調査で、新たに設けた設問です。

「週1~2回」が 37.5%と最も高く、次いで「週1回未満」が 21.9%、「週3~5回」と「ほぼ毎日」がともに 20.3%となっています。「週1~2回」と「週1回未満」を合せた『週2回以下』が 59.4%で、約6割の方が読み聞かせ自体はするものの、日常的な習慣とはなっていないようです。

有効回答数:64

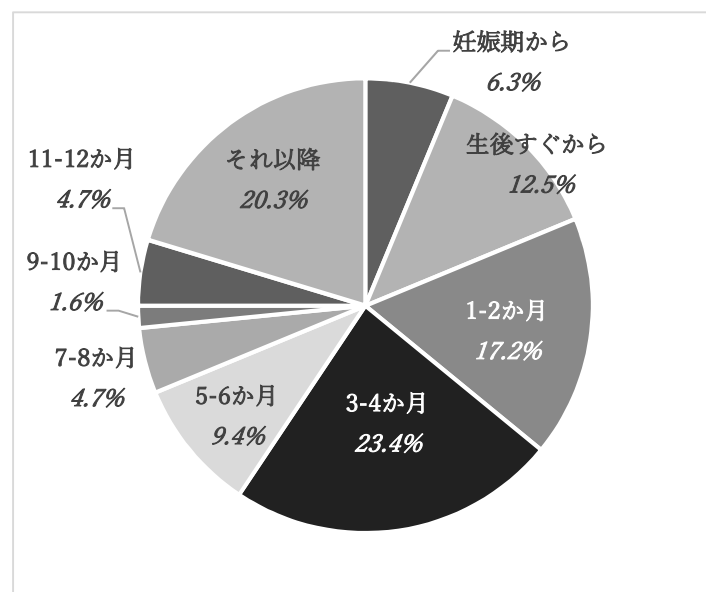


【問5】いつ頃から読み聞かせを始めましたか。

今回調査で、新たに設けた設問です。

「妊娠期から」や「生後すぐから」との回答が約2割となっており、母と子の触れ合いの手段として読み聞かせを行う方がいることがわかります。また、「3～4か月」が 23.4%と最も高く、次いで「それ以降」(=12 か月以降)が 20.3%となっています。このことから時期を固定せず、複数のタイミングで読書の必要性をアピールしていくとより効果が得られる可能性があります。

有効回答数:64

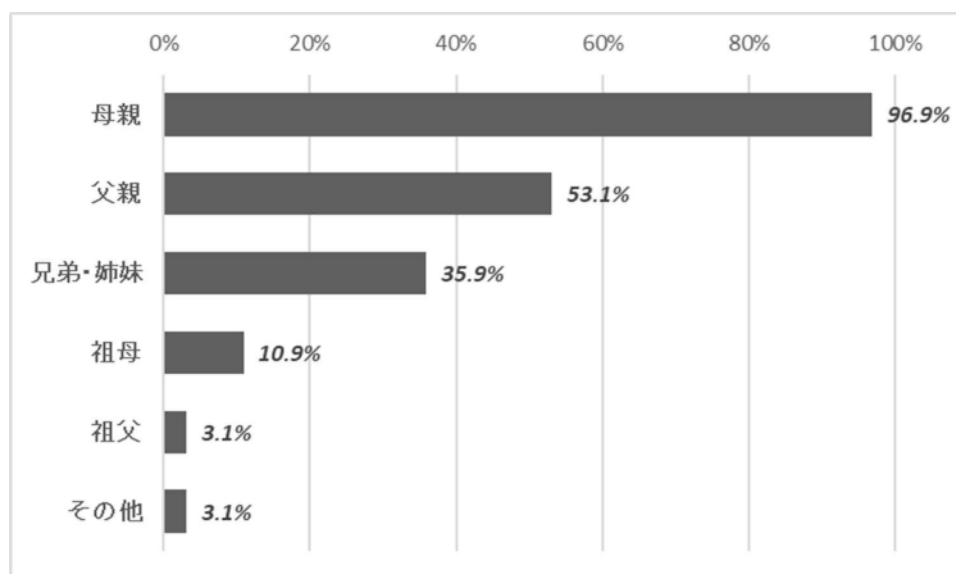


【問6】誰と一緒に読みますか。(複数回答可)

今回調査で、新たに設けた設問です。

「母親」が 96.9%と最も高く、次いで「父親」が 53.1%、「兄弟姉妹」が 35.9%となっています。約5割の「父親」、約3割の「兄弟・姉妹」が読み聞かせを行っており、多様化していることがわかります。

有効回答数:64

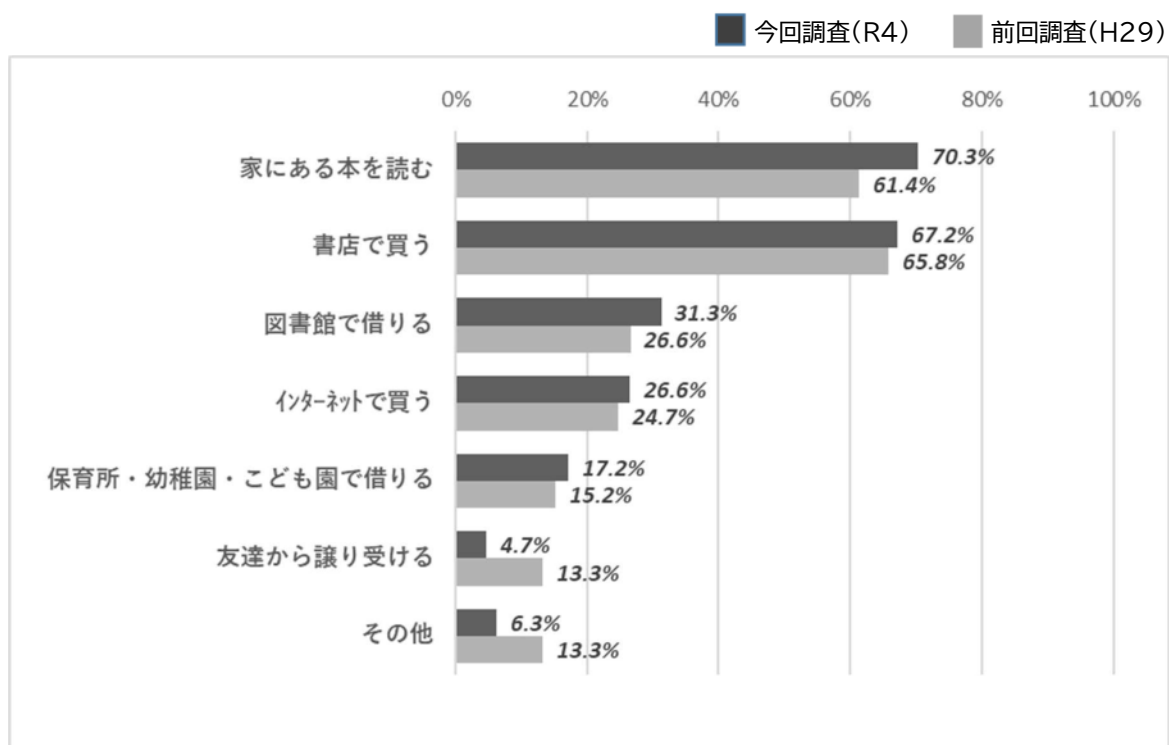


【問7】お子さんに読み聞かせをする絵本はどのように用意していますか。(複数回答可)

「家にある本を読む」が 70.3%と最も高く、次いで「書店で買う」が 67.2%、「図書館で借りる」が 31.3%となっています。

本調査で「第2子」と「第3子以降」と回答した方が、約6割となっており、既に上の子で用意した本が家にあると思われます。また、「図書館で借りる」は約3割に、「保育所・幼稚園・こども園で借りる」は2割弱に留まっており、幼少期での本の準備は購入して用意する方が多いことがわかります。

有効回答数:今回 64、前回 158



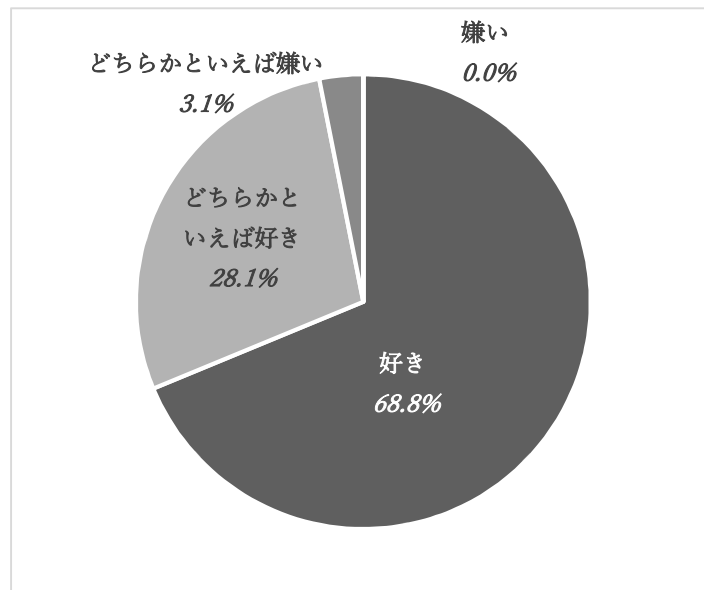
【問8】お子さんは絵本を読んでもらうことは好きですか。

「好き」と「どちらかといえば好き」を合せた『すき』は 96.9%となっています。

回答項目に差異があるため単純な比較はできませんが、前回調査と比べると「好き」は 6.9ポイント増加し、「好き」と「どちらかといえば好き」を合せた『すき』は 3.1ポイントの増加となっています。

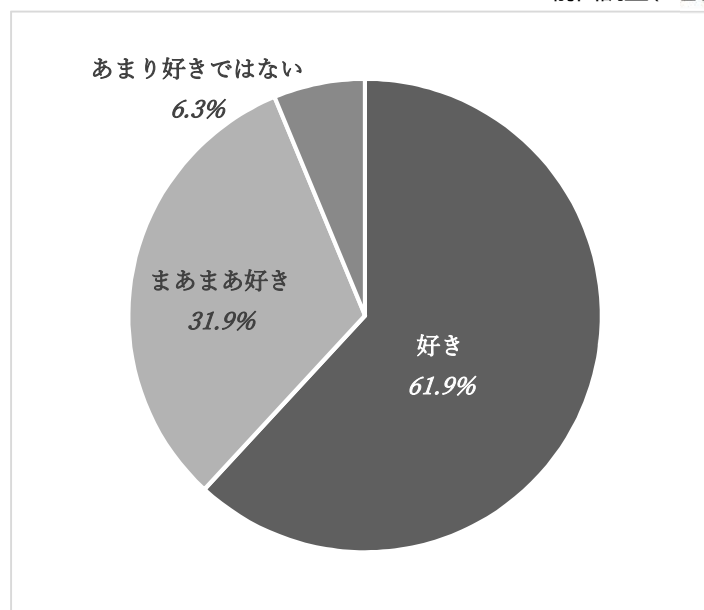
有効回答数:今回64

今回調査(R4)



有効回答数:前回160

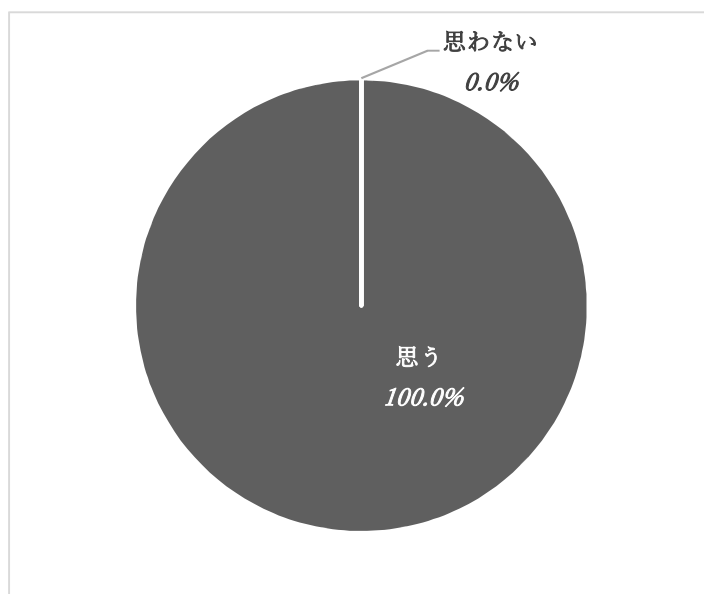
前回調査(H29)



【問9】子どもにとって絵本を読むことは大切だと思いますか。

すべての方が「思う」と回答しており、「子どもの読書活動の大切さ」は理解されていることがわかります。

有効回答数:64

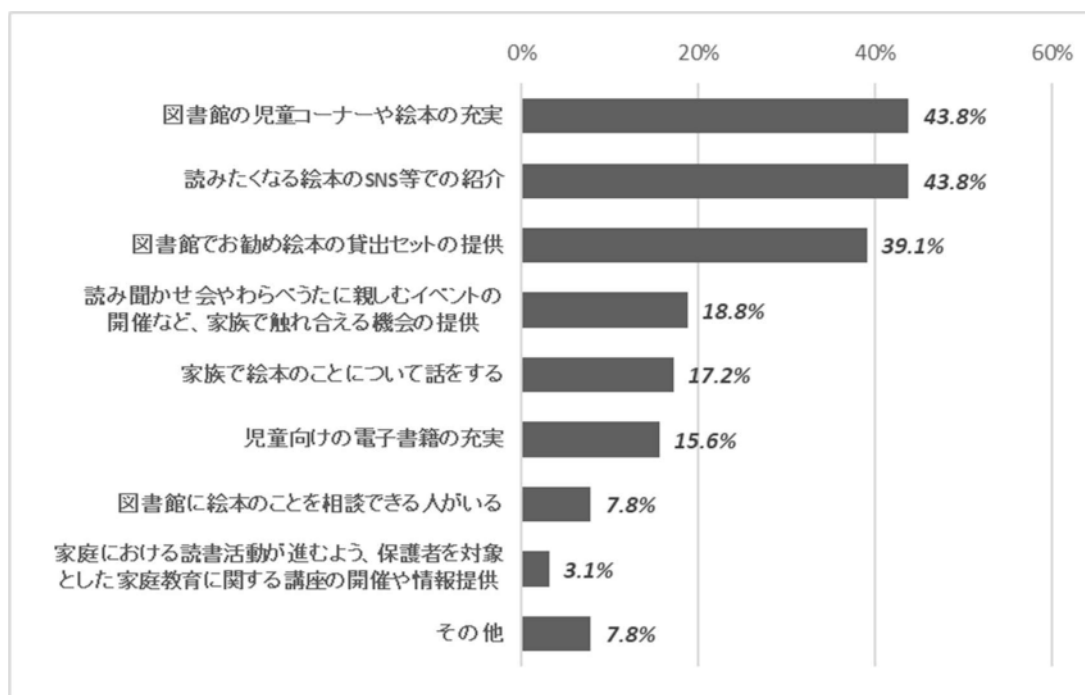


【問10】あなたが、もっとお子さんと絵本を見たり、読んだりするためには、どのような取組が必要ですか。(複数回答可)

今回調査で、新たに設けた設問です。

「図書館の児童コーナーや絵本の充実」、「読みたくなる絵本のSNS等での紹介」が共に43.8%と最も高く、次いで「図書館でお勧め絵本の貸出セットの提供」が39.1%、となっており、図書館での取組の必要性に関する回答が多くなっています。

有効回答数:64

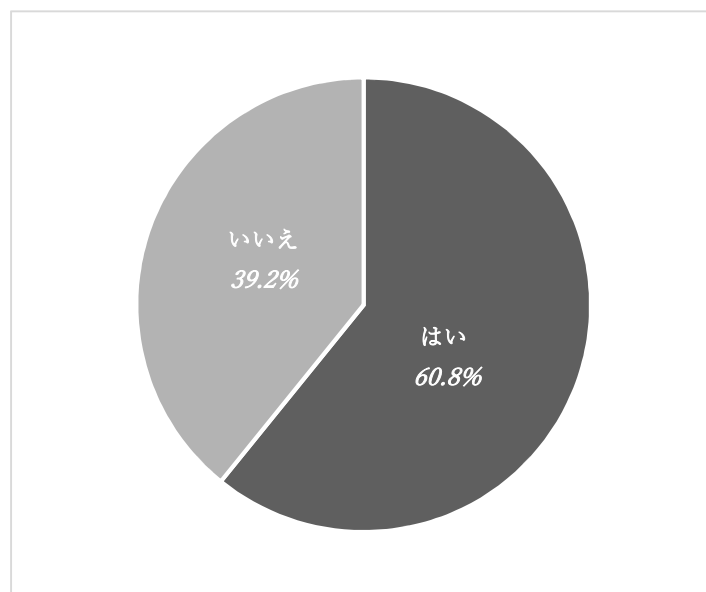


《ブックスタートについて》

【問 11】この事業を受けられましたか。

半数以上が「はい」となっています。「いいえ」と回答した4割については、真に「受けていない」のか実際のところはわかりませんが、4か月児健診の受診率は、9割以上あり、ほとんどの方が健診終了後そのままの流れで絵本の配布や読み聞かせを受けることから、「ブックスタート事業」の名称と結びつかないままサービスを受けている可能性があります。

有効回答数:97



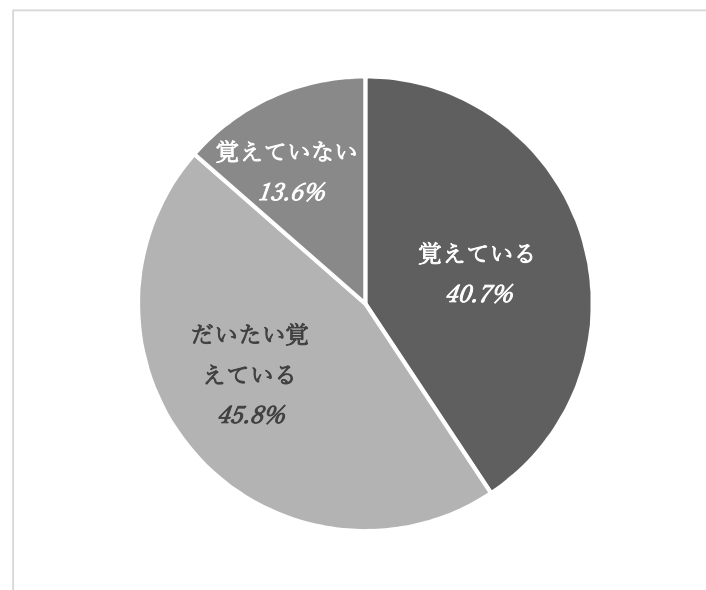
以降の設問は、【問 11】で「ブックスタート事業を受けた」と回答した方のみが回答しています。

【問 12】ブックスタートの趣旨を覚えていますか。

今回調査で、新たに設けた設問です。

「覚えている」と「だいたい覚えている」を合せて『覚えている』は、86.5%となっています。
問 11 で、『ブックスタート事業を受けた』と回答した8割以上が、約3年経過した後も事業の趣旨を覚えており、本事業実施の意味は大きいと考えられます。

有効回答数:59、非該当38



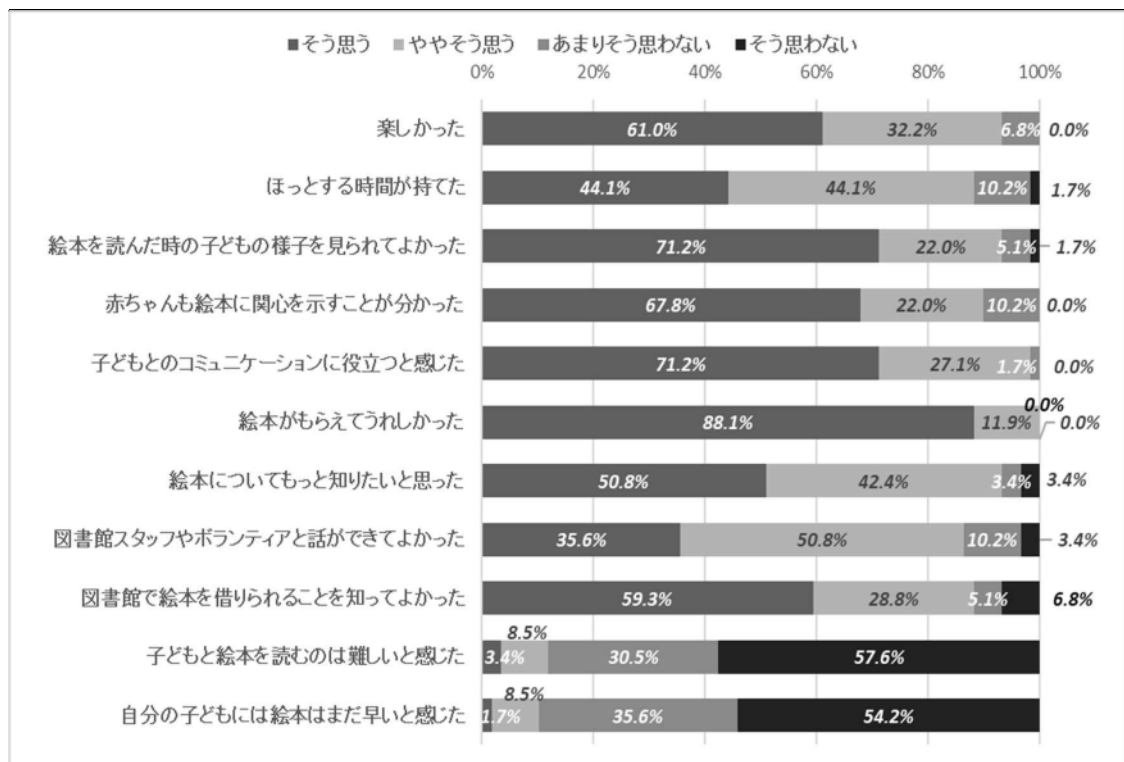
【問13】ブックスタートを受けて、どのように感じましたか。

今回調査で、新たに設けた設問です。

「絵本をもらえてうれしかった」や「子どもとのコミュニケーションに役立つと感じた」など、肯定的な回答項目に対しては、約9割が「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』と回答しています。また、「子どもと絵本を読むのは自分には難しいと感じた」や「自分の子どもには絵本はまだ早いと感じた」など、否定的な回答項目に対しては、約9割が「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『そう思わない』と回答しています。

多くの方がブックスタート事業を受けて、肯定的な意見を回答してしていることから、本事業実施の意味は大きいと考えられます。

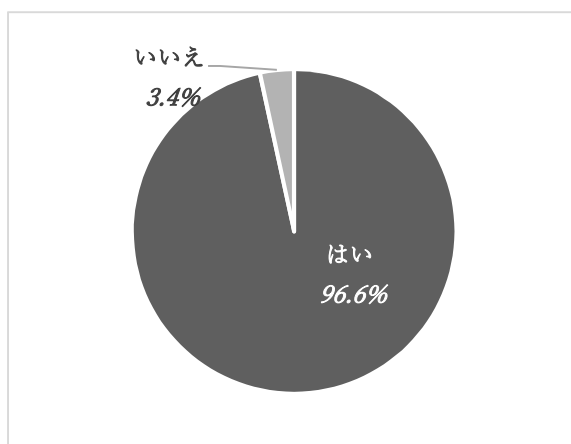
有効回答数:59、非該当38



【問14】ブックスタート時に配布した絵本を現在も持っていますか。

9割以上が「はい」となっています。約3年経過した後も絵本を持っており、ブックスタート事業での絵本の配布が、家庭での読み聞かせを行うことに継続的な効果を与えていると考えられます。

有効回答数:59、非該当38

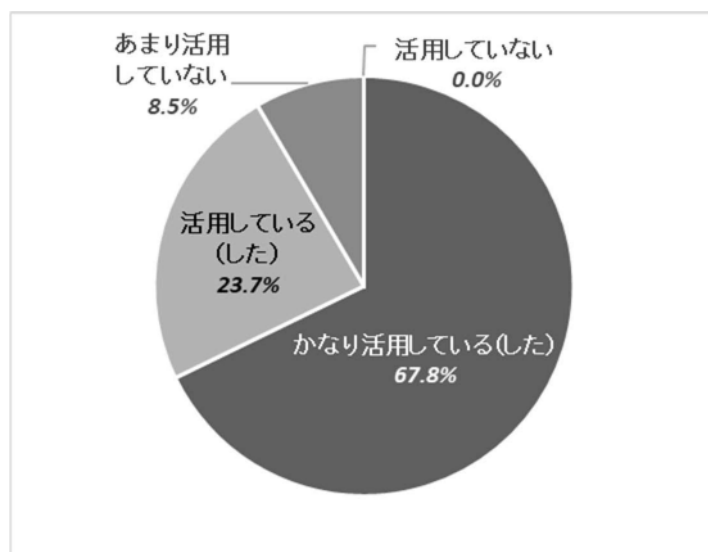


【問15】ブックスタートで受け取った絵本を、活用しています(しました)か。

今回調査で、新たに設けた設問です。

「かなり活用している(した)」と「活用している(した)」を合わせた『活用している(した)』は9割以上となっており、ブックスタート事業で配布した絵本が実際に活用され、子どもの読み聞かせにつながっていることがわかります。

有効回答数:59、非該当38

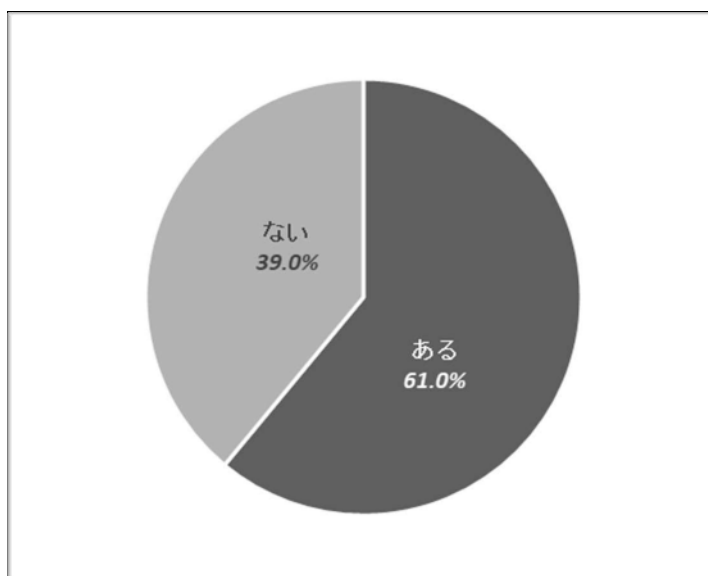


【問16】絵本の読み始めの頃にお勧めの本はありますか。ある場合は「その他」を選んで本のタイトルをご記入ください。

今回調査で、新たに設けた設問です。

半分以上が「ある」と答えており、今後ブックスタート事業で配付する絵本の選書の参考となります。(自由記述回答欄参照)

有効回答数:59、非該当38

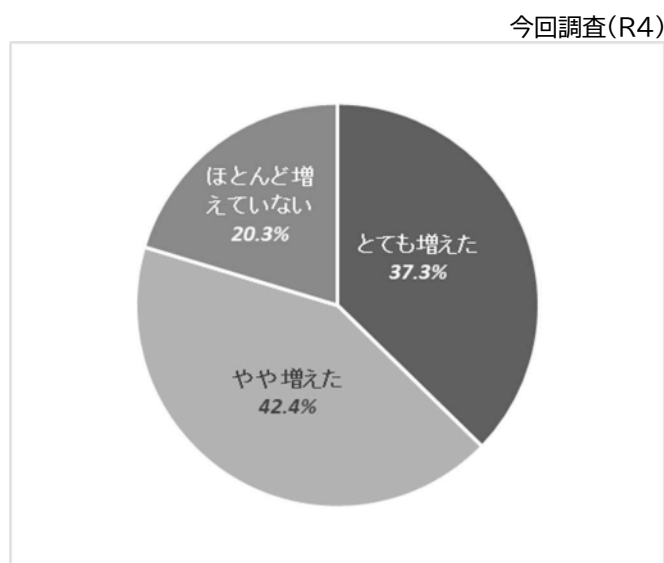


【問17】ブックスタートをきっかけにお子さんと絵本を楽しむ時間が増えましたか。

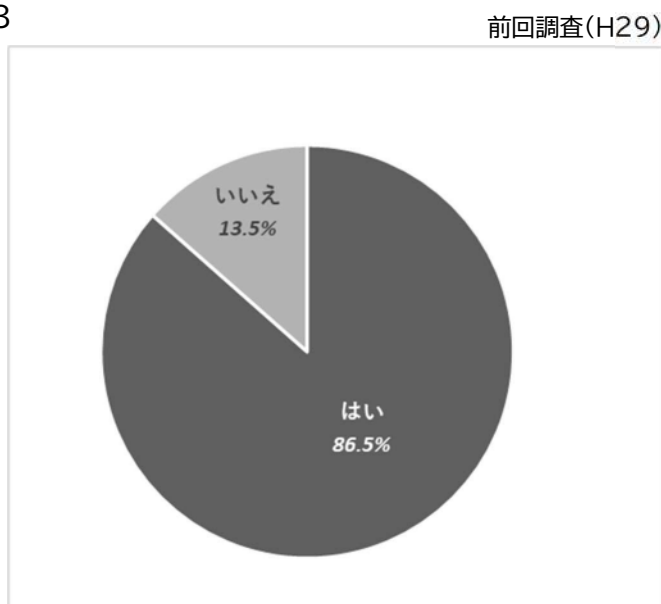
「とても増えた」と「やや増えた」を合せた『増えた』は、79.7%となっています。ブックスタート事業の実施は、読書を通じた子どもとのふれあいや読み聞かせに有効な手段となっていることがわかります。

回答項目に差異があるため単純な比較はできませんが、前回調査と比べると『増えた』との肯定的な回答は 6.8 ポイント減少し、『増えていない』との否定的な回答は、6.8 ポイント増加しました。

有効回答数:今回59、非該当38



有効回答数:前回163

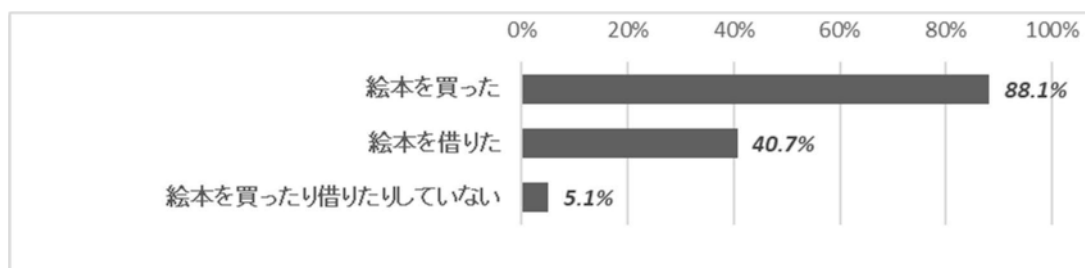


【問18】ブックスタートのあと、絵本を買ったり、借りたりしましたか。(複数回答可)

今回調査で、新たに設けた設問です。

「絵本を買った」が 88.1%と最も高く、次いで「絵本を借りた」が 40.7%となっています。
「絵本を買ったり借りたりしていない」は 5.1%で、ほとんどの人がブックスタートのあと、子どものために、絵本を買う、または借りるなどしていることがわかります。

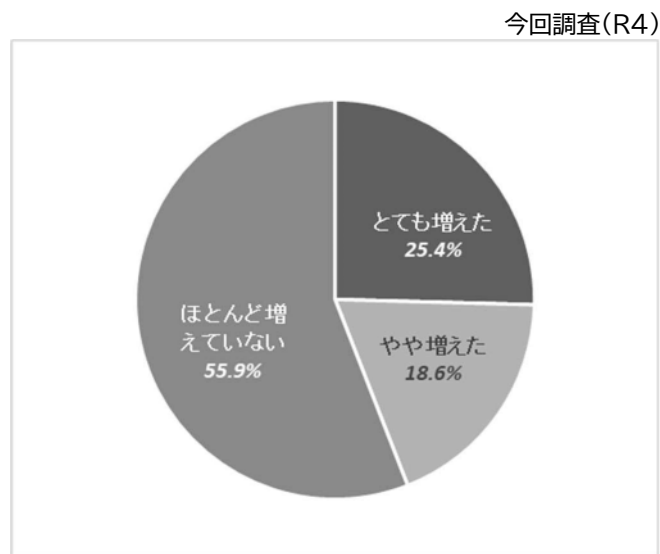
有効回答数:59、非該当38



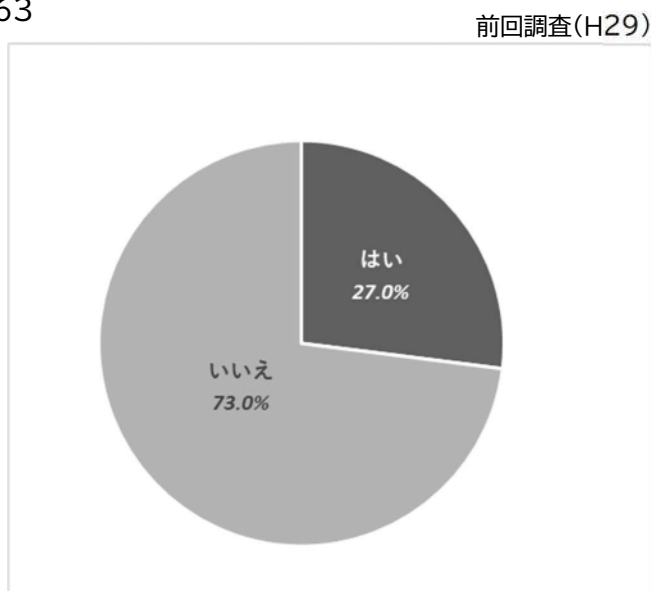
【問19】ブックスタートのあと、図書館を利用する機会は増えましたか。

「ほとんど増えていない」が 55.9%となっています。回答項目に差異があるので単純な比較はできませんが、前回調査と比べると、機会が増えていないと同義の「いいえ」が 72.8%と 17.1ポイント減っています。しかしながらまだ半数以上が利用の機会は増えていないと回答しています。

有効回答数:今回59、非該当38



有効回答数:前回163

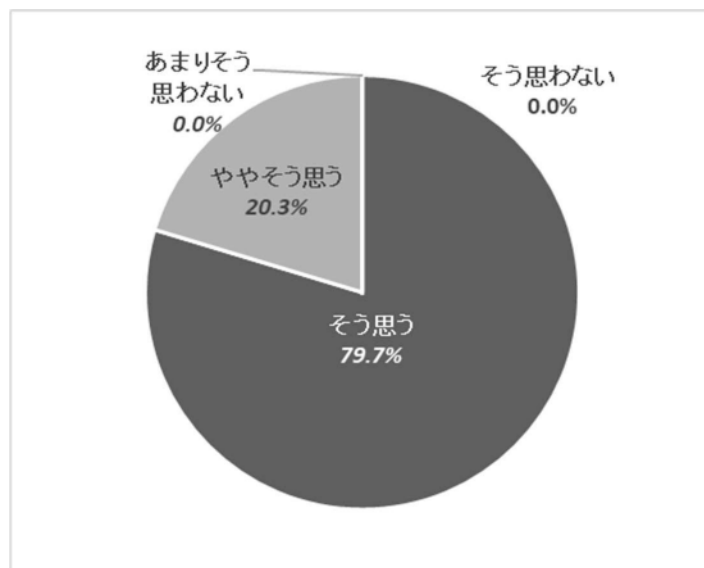


【問20】今後もこの事業を継続してほしいと思いますか。

今回調査で、新たに設けた設問です。

「そう思う」と「ややそう思う」を合せた『そう思う』は、100.0%で、ブックスタート事業を受けた保護者は、本事業の実施は重要だと認識しています。

有効回答数:59、非該当38



【問21】ブックスタートについて、ご意見・ご感想がございましたら、自由にご記入ください。

「ブックスタート事業がなければ、読み聞かせのハードルは高いままだった」や「どのような絵本に興味があるのかわからなかったが、ブックスタートで絵本をもらって、子どもも興味を示してくれたので、より読み聞かせの大切さを感じた」等、ブックスタート事業が読み聞かせのきっかけになったとの意見がありました。

また、絵本を読み聞かせる時期について、「1歳ころから絵本を読むのが楽しくなった。その頃に読み聞かせなどがあれば絵本を読むお母さんが増えるのでは」との意見があり、幼児期の子どもと保護者に対しての読み聞かせの機会を提供するなど、継続的に支援することでより効果的な結果が得られると考えられます。(自由記述回答参照)

自由記述回答

《問6：誰と一緒に読みますか》

先生
おば

《問7：読み聞かせをする絵本はどのように用意していますか》

iPad
保育園でもらう。
幼稚園から毎月もらう。
保育園で毎月買う。

《問10：あなたが、もっとお子さんと絵本を見たり読んだりするためには、どのような取り組みが必要ですか》

親自身時間を作ってあげることが大事かと。
私が小さい頃は幼稚園の図書室でよく絵本を借りていました。幼稚園の先生もよく読み聞かせをしてくれていました。
読み聞かせ出来る時間の確保。
十分に読めていると思う。

《問16：絵本の読み初めの頃にお勧めの本はありますか》

だるまさんシリーズ	11人
いないいないばあ	4人
しましまぐるぐる	4人
きんぎょがにげた	3人
じゃあじゃあびりびり	3人
あっぷっぷ	2人

Sassyのあかちゃんえほん	1人
いっせーのばあ	1人
いろいろぱっ	1人
かおかおどんなかお	1人
くつくつあるけ	1人
くまのプーさん にこにこえーん	1人
だっだあー	1人
はらぺこあおむし	1人
むにゃむにゃきゃっきゃっ	1人
もいもい	1人
もこもこ	1人
ももちゃんシリーズ	1人
進研ゼミで届いた絵本は何度も読みました。フェルトが使われていたり(破れ防止)キラキラ光る素材を使って興味を引いたり、子供が喜んでくれる絵本です。1歳をすぎると、絵本で読んだ言葉が発せられるので、嬉しくなって図書館に通うようになりました。ぎったんこぼったんこ、りんごがドスン、くつくつく、くまさんはい、など。おやさいとんとんは小さい頃何回も借りさせられました。いたいいたいは飛んでいけはリズムがよくて今でも覚えています。	1人
赤ちゃんとわらべうたであそびましょ	1人

《問 21:ブックスタートについての意見・感想》

絵本を読んだ時の子どもの反応を知って絵本を買うきっかけになりました。
コロナで図書館の利用はあまりないですが絵本に関心が出たのでよかったです。
絵本の読み聞かせを続けることで言葉の発達が早かったように思います。言葉の発達で悩んでいるお母さんも多いので手助けになると思います。すごくいい事業だと思っています。
とてもいい事業ですね。きっかけになるので素晴らしいと思います。
家に絵本がたくさんあり、時期によっては、持っている本しかなく、2冊目を貰ったこともあった。その際は、その時選べる6冊外も選べるようにしてほしかった。
結婚前まで乳児クラスが主の保育士をしていました。絵本の重要性は理解していたので、この活動により絵本を読む機会が増えたということはないのですが、この活動は、親になるまで絵本に触れる機会があまりなかった方に向けては必要だと思うので、是非続けていただきたいと思います。
ブックスタートでいただいた本、3才半の今でもお気に入りの一冊です。これからも赤ちゃん達にオススメの絵本を届ける活動続けていただけるといいなあと思います。

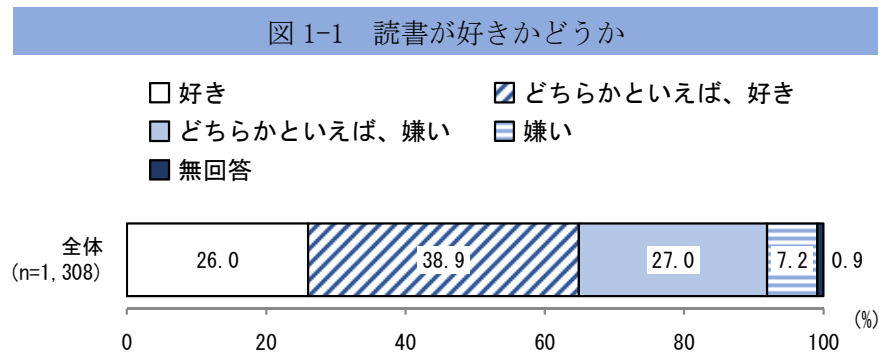
<p>ブックスタートで頂いた絵本は、姉妹みんなで代々読んでいたのでとても大活躍しています！！ありがとうございました(o^o)。</p>
<p>4ヶ月の頃の子供が、どのような絵本に興味があるのか分からなかったけれど、ブックスタートで絵本をいただき、その本にとっても興味を示してくれたので、こんな小さい赤ちゃんでも好きな絵本があるんだと、より絵本の読み聞かせの大切さを感じました。</p>
<p>1歳頃から絵本を読むのが楽しくなりました。そのころにも読み聞かせなどがあれば、絵本を読むお母さんが増えたりするのかなと思います。聞いてくれなくて嫌になった時もありましたが、そういう時は無理せずに、聞きたくなるような楽しい絵本に出会えるように、これからも図書館に通いたいと思います。</p>
<p>ブックスタートで、図書館への案内は助かりましたが、コロナもあり一度も利用していませんが、娘の希望したタイミングで寝る前に読み聞かせをしていました。2歳になりプレスクールに入会後、幼稚園からの本の貸し出しや、幼稚園経由の本の購入を通じてさらに本好きになり今では毎日3冊から5冊読むようになりました。事業に関しては、情報として色々知りたいので絵本に限らず教えてもらえるのは助かります。</p>
<p>絵本が大好きで、図書館や本屋さんへ行くことに喜びを感じている我が子を見ると、嬉しく感じます。ブックスタートが無ければ、私の読み聞かせのハードルは高いままでした。とても良い事業だと思いますので、是非続けてください。絵本を読む子が増えたら、世界が平和になると心から信じています？</p>
<p>ブックスタート事業をしてくれるの自体は有り難く有意義だと思うが、絵本の好みも不明な状態で一冊を選び持ち帰るのは難しかった。複数冊配布してもらえると家庭で赤ちゃんの好みの絵本ゆっくり知ることができるし(借りる時のように返却期限がない)、絵本は高価なので助かる家庭は多いと思う。</p>

(5) 市政世論調査

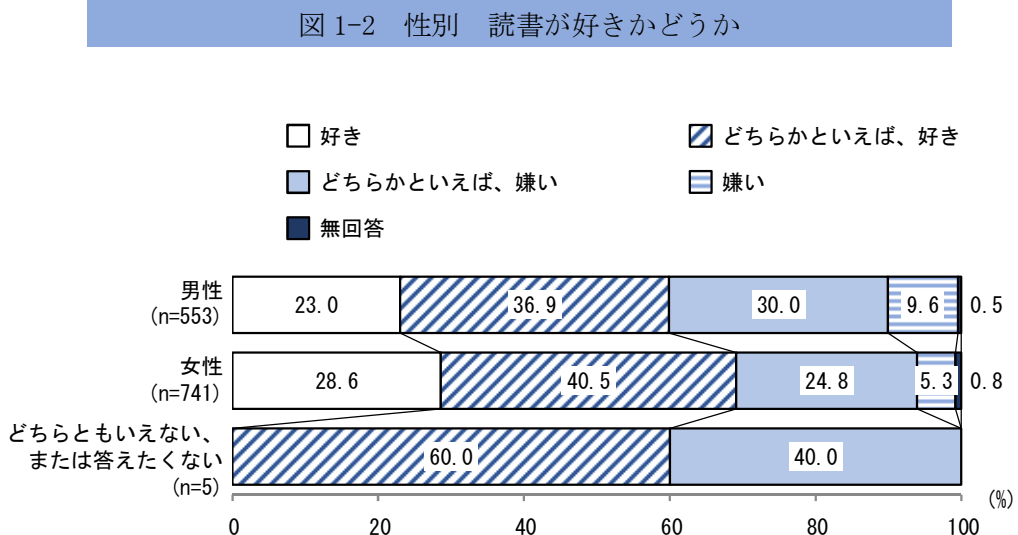
※市政世論調査は、別途他の所管課にて実施しているため、その報告書より「読書活動について」の項目を抜粋しています。

1. 読書活動について

問7 読書は好きですか。(〇はひとつ)

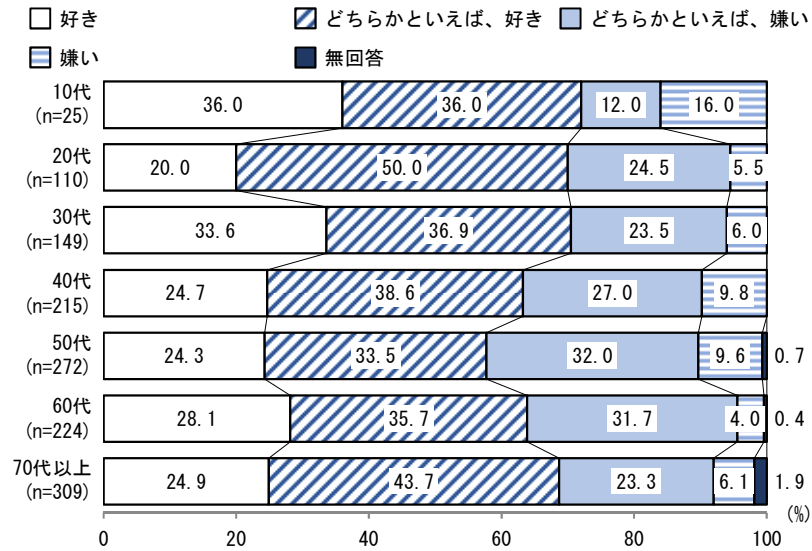


読書が好きかどうかをたずねた。「どちらかといえば、好き」が 38.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば、嫌い」が 27.0%、「好き」が 26.0%となっている。(図 1-1)



性別にみると、「好き」と「どちらかといえば、好き」を合わせた『好き』は女性が 69.1%で、男性の 59.9%を 9.2 ポイント上回っている。「どちらかといえば、嫌い」と「嫌い」を合わせた『嫌い』は男性が 39.6%で、女性の 30.1%を 9.5 ポイント上回っている。(図 1-2)

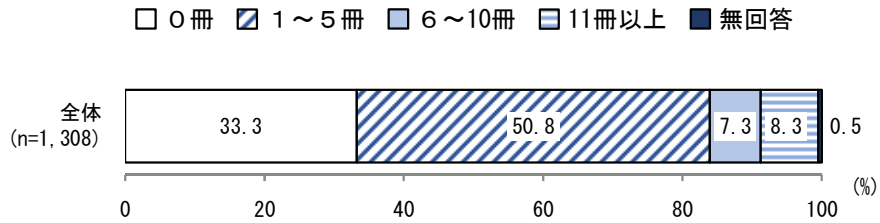
図 1-3 年代別 読書が好きかどうか



年代別にみると、「好き」と「どちらかといえば、好き」を合わせた『好き』は10代で72.0%と最も高くなっている。次いで、30代が70.5%、20代が70.0%となっている。「どちらかといえば、嫌い」と「嫌い」を合わせた『嫌い』は50代で41.6%と最も高く、次いで40代が36.8%、60代が35.7%となっている。(図 1-3)

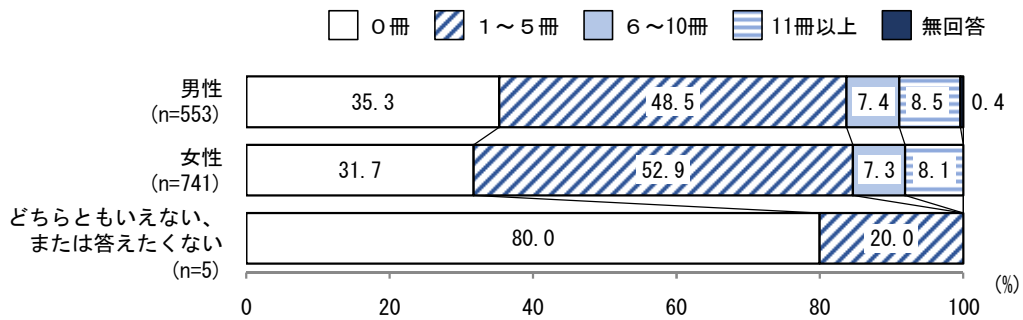
問8 過去1か月間に何冊の本（雑誌・漫画を含む）を読みましたか。（〇はひとつ）

図1-4 過去1か月間で読んだ本の数



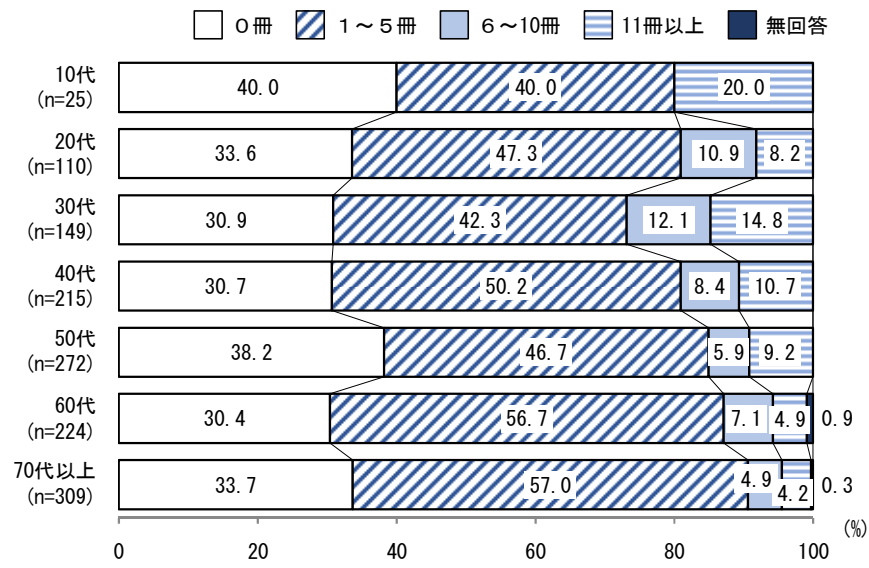
過去1か月間で読んだ本数をたずねた。「1～5冊」が50.8%と最も高く、半数を超えている。次いで「0冊」が33.3%、「11冊以上」が8.3%となっている。（図1-4）

図1-5 性別 過去1か月間で読んだ本の数



性別にみると、男女ともに「1～5冊」が最も高く、女性は52.9%と男性の48.5%を4.4ポイント上回っている。また、「0冊」は女性より男性の方が3.6ポイント高い。（図1-5）

図 1-6 年代別 過去 1 か月間で読んだ本の数

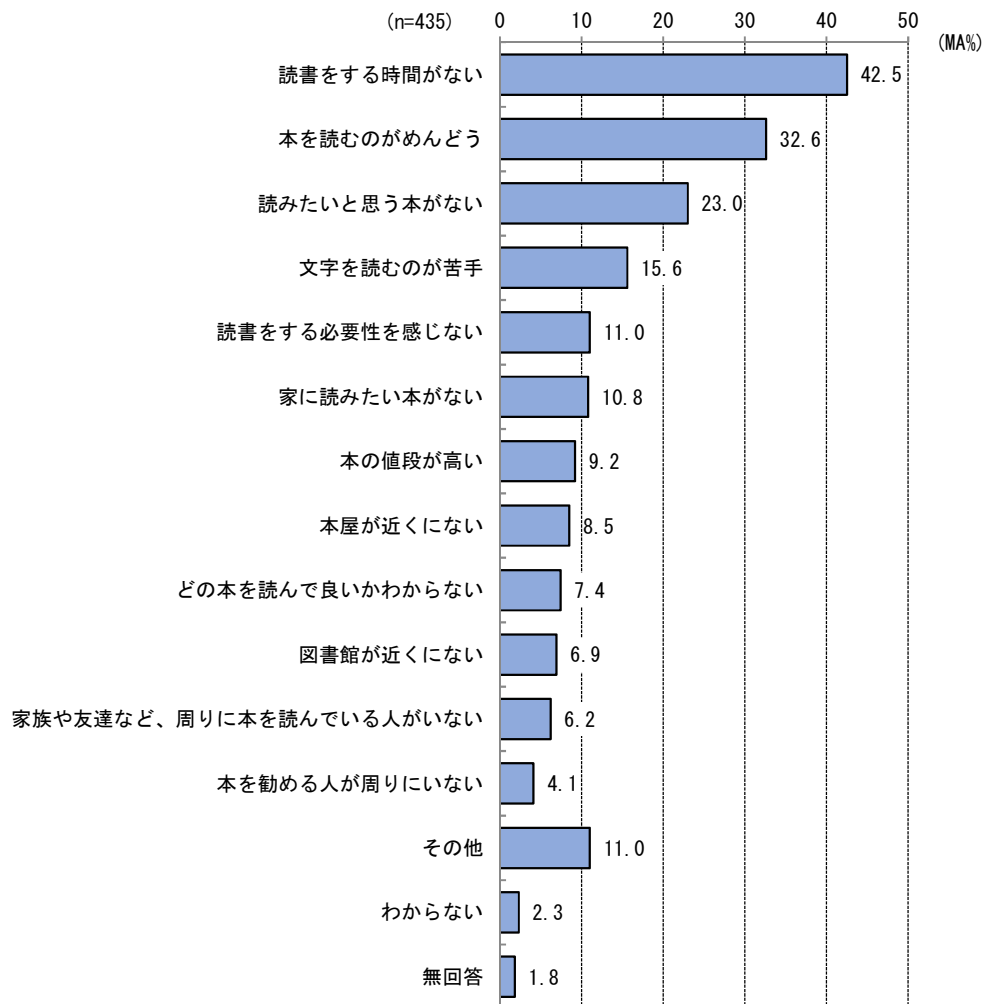


年代別にみると、「0冊」は10代で40.0%と最も高くなっている。次いで、50代で38.2%、70代以上で33.7%となっている。(図 1-6)

※問8で「1. 0冊」と回答された方におたずねします。

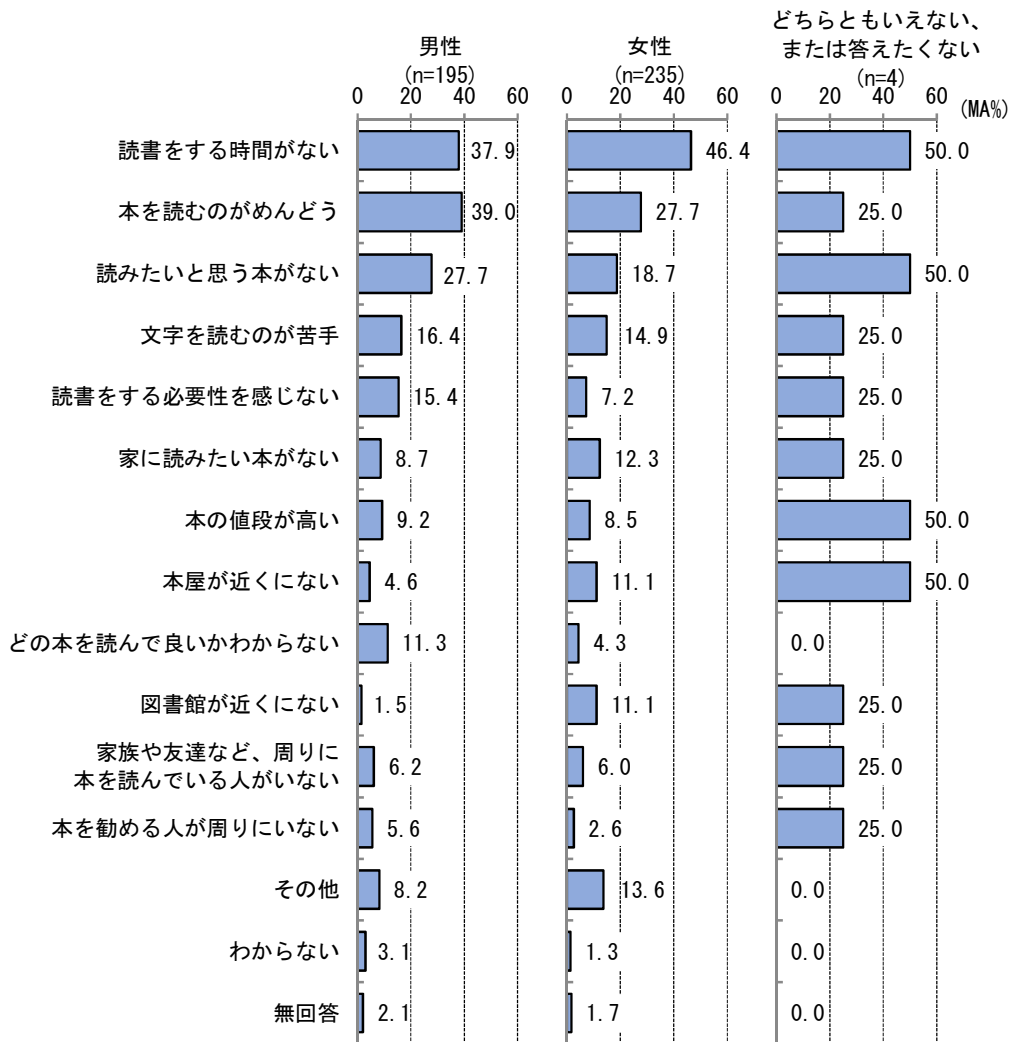
問8-1 読書をしない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

図 1-7 読書をしない理由



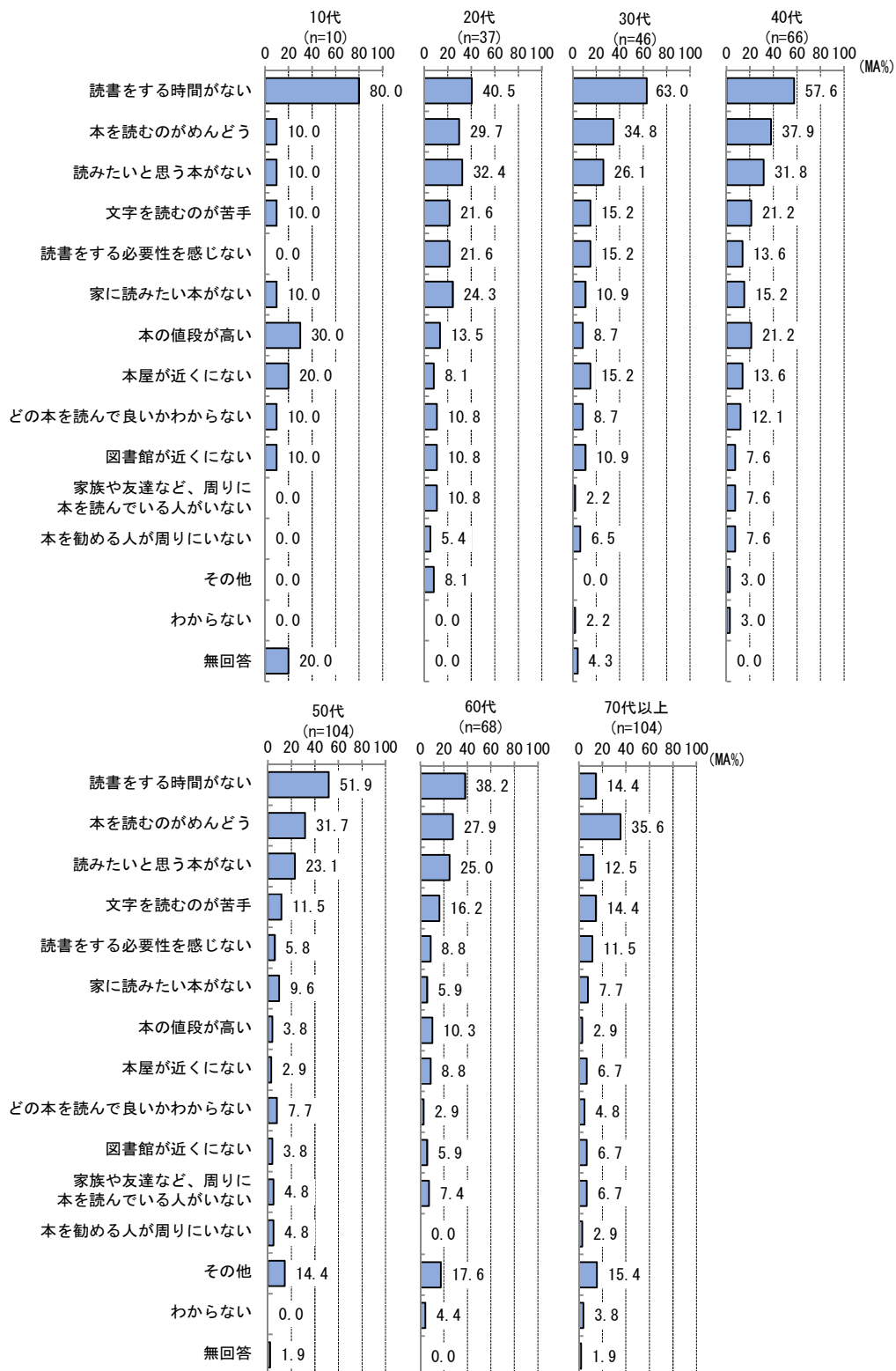
問8で「0冊」と回答した方を対象に、読書をしない理由をたずねた。「読書をする時間がない」が42.5%と最も高く、次いで「本を読むのがめんどろ」が32.6%、「読みたいと思う本がない」が23.0%となっている。(図 1-7)

図 1-8 性別 読書をしない理由



性別にみると、男性は「本を読むのがめんどろ」が39.0%と最も高く、女性は「読書をする時間がない」が46.4%と最も高くなっている。また、「読みたいと思う本がない」は男性が27.7%と、女性の18.7%を9.0ポイント上回っている。(図 1-8)

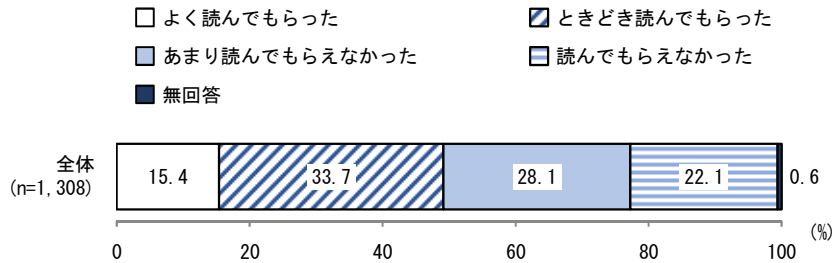
図 1-9 年代別 読書をしない理由



年代別にみると、10～60代は「読書をする時間がない」が最も高く、特に10代は80.0%と高い割合となっている。また、70代以上は「本を読むのがめんどろ」が35.6%と最も高くなっている。(図 1-9)

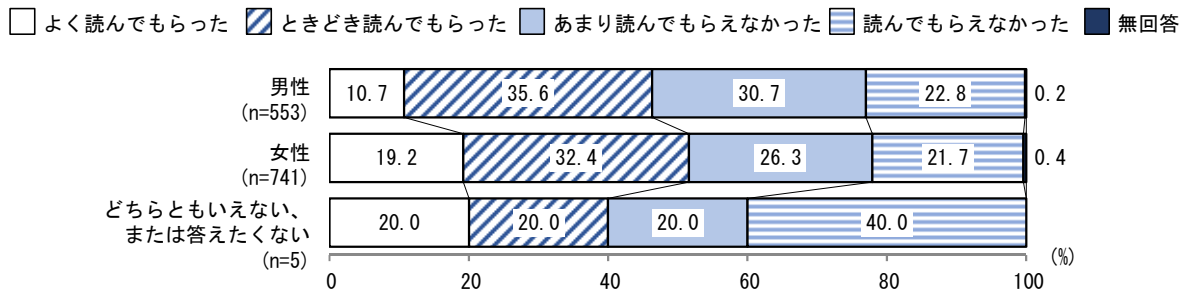
問9 子どものころ、家の人や身近な人から本を読んでもらったことがありますか。(〇はひとつ)

図 1-10 身近な人から本を読んでもらった経験



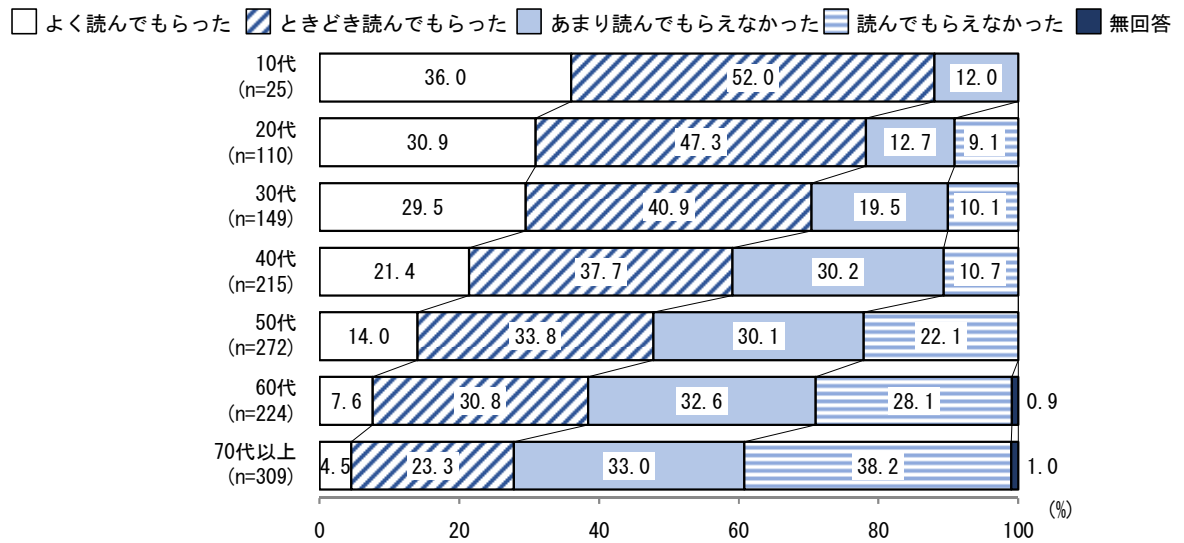
身近な人から本を読んでもらった経験をたずねた。「よく読んでもらった」と「ときどき読んでもらった」を合わせた『読んでもらった』は49.1%である。一方、「あまり読んでもらえなかった」と「読んでもらえなかった」を合わせた『読んでもらえなかった』は50.2%と半数を超えており、『読んでもらった』より1.1ポイント高い。(図1-10)

図 1-11 性別 身近な人から本を読んでもらった経験



性別にみると、「よく読んでもらった」と「ときどき読んでもらった」を合わせた『読んでもらった』は女性が51.6%と、男性の46.3%を5.3ポイント上回っている。「あまり読んでもらえなかった」と「読んでもらえなかった」を合わせた『読んでもらえなかった』は男性が53.5%と半数を超えており、女性の48.0%を5.5ポイント上回っている。(図1-11)

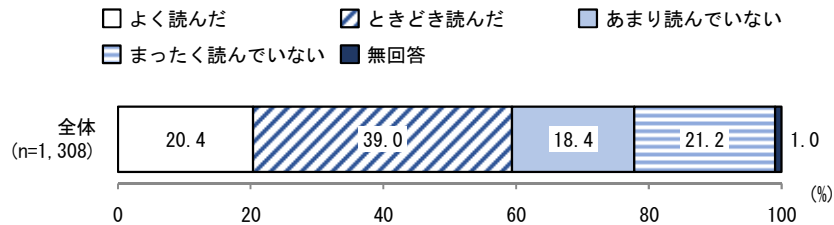
図 1-12 年代別 身近な人から本を読んでもらった経験



年代別にみると、「よく読んでもらった」と「ときどき読んでもらった」を合わせた『読んでもらった』は年代が上がるほど低くなる傾向にあり、「あまり読んでもらえなかった」と「読んでもらえなかった」を合わせた『読んでもらえなかった』も年代が上がるほど高くなっている。(図 1-12)

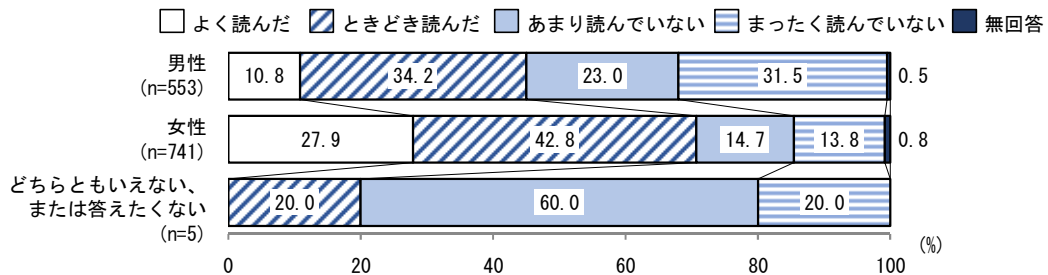
問10 子ども（自分の子以外も含む）に本や絵本を読んだことがありますか。（○はひとつ）

図1-13 子どもに本や絵本を読んだ経験



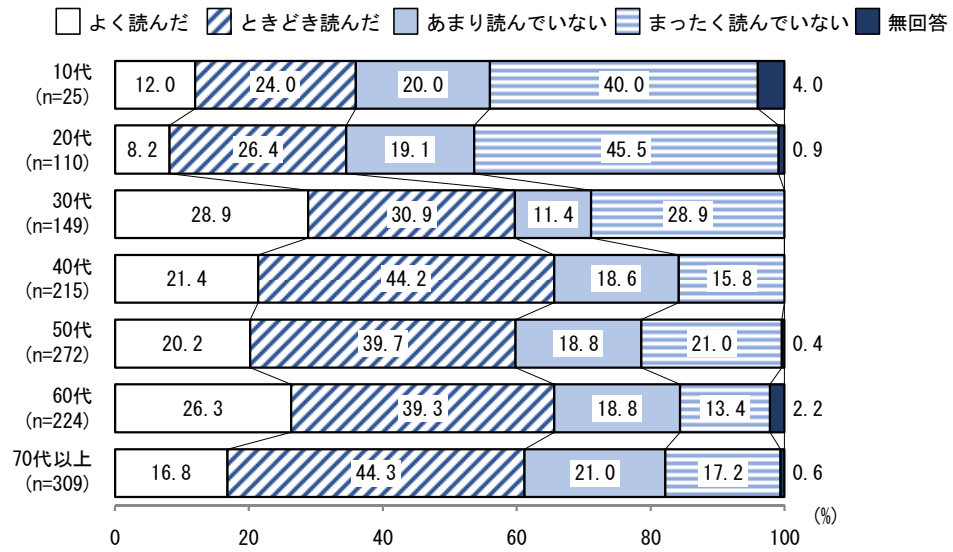
子どもに本や絵本を読んだ経験をたずねた。「よく読んだ」と「ときどき読んだ」を合わせた『読んだ』は59.4%と6割弱となっている。一方、「あまり読んでいない」と「まったく読んでいない」を合わせた『読んでいない』は39.6%である。(図1-13)

図1-14 性別 子どもに本や絵本を読んだ経験



性別にみると、「よく読んだ」と「ときどき読んだ」を合わせた『読んだ』は女性が70.7%と、男性の45.0%を25.7ポイント上回っている。「あまり読んでいない」と「まったく読んでいない」を合わせた『読んでいない』は男性が54.5%と、女性の28.5%を26.0ポイント上回っている。(図1-14)

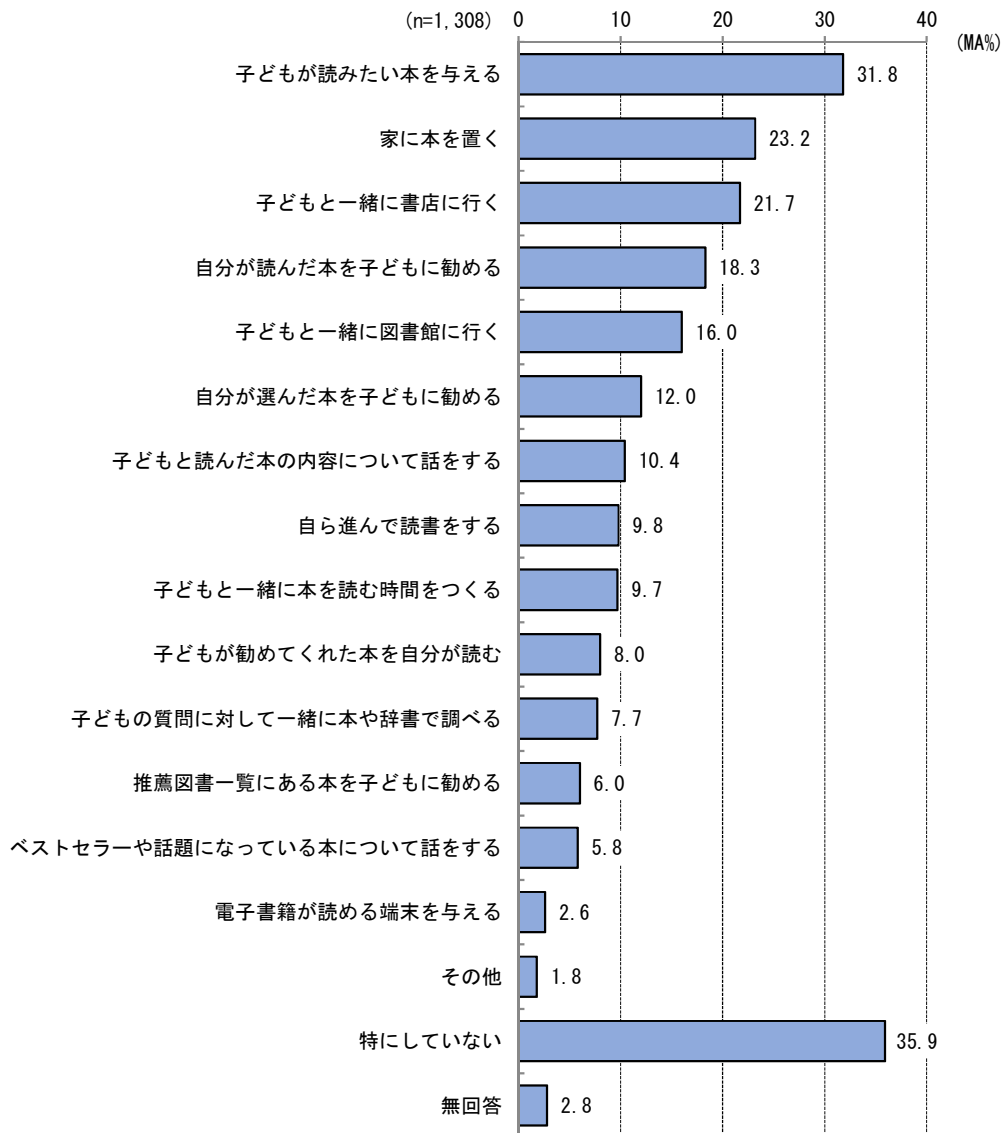
図 1-15 年代別 子どもに本や絵本を読んだ経験



年代別にみると、「よく読んだ」と「ときどき読んだ」を合わせた『読んだ』は10～20代ではそれぞれ36.0%、34.6%となっているが、30～70代以上では6割前後と高い傾向にある。(図 1-15)

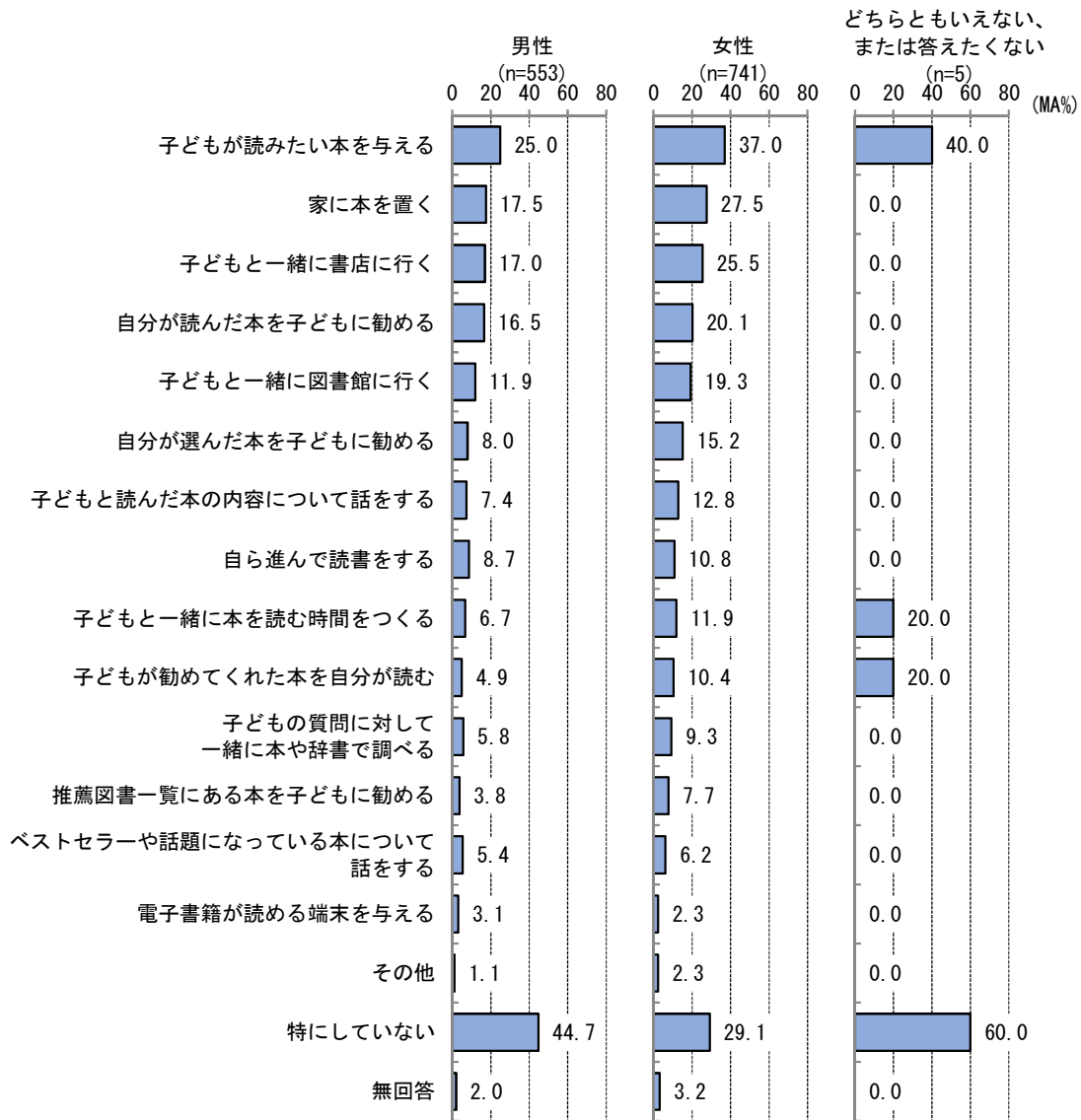
問 11 本や絵本を読む以外で、子ども（自分の子以外も含む）が読書をし
 ようと思うきっかけづくりについてあなたが行っているものはあ
 りますか。（〇はいくつでも）

図 1-16 子どもへの読書のきっかけづくりで行っていること



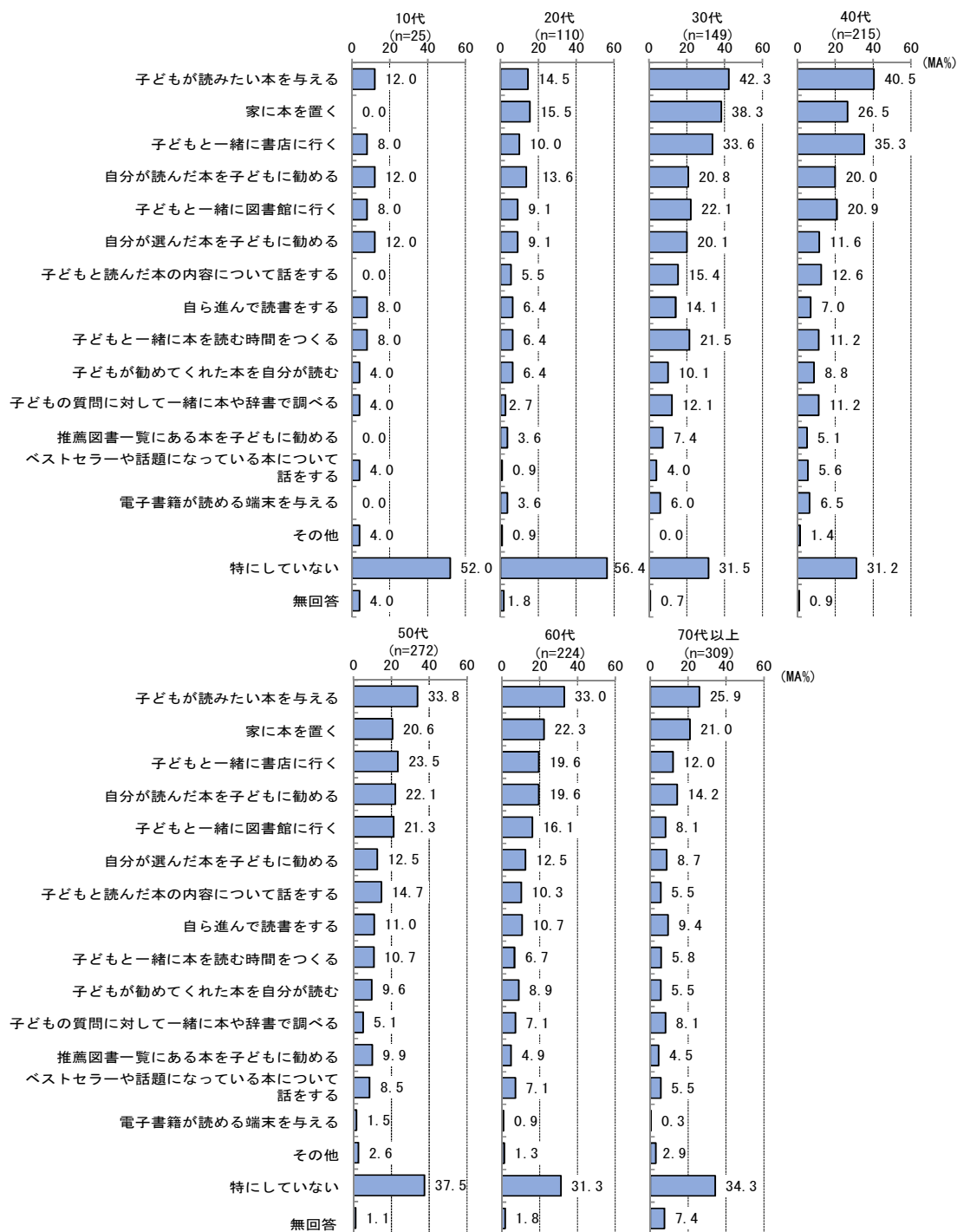
子どもへの読書のきっかけづくりで行っていることをたずねた。「特にしていない」
 が 35.9%と最も高く、次いで「子どもが読みたい本を与える」が 31.8%、「家に本を置
 く」が 23.2%、「子どもと一緒に書店に行く」が 21.7%となっている。（図 1-16）

図 1-17 性別 子どもへの読書のきっかけづくりで行っていること



性別にみると、男性は「特にしていない」が44.7%と最も高く、女性の29.1%を15.6ポイント上回っている。女性は「子どもが読みたい本を与える」が37.0%と最も高く、男性の25.0%を12.0ポイント上回っている。(図 1-17)

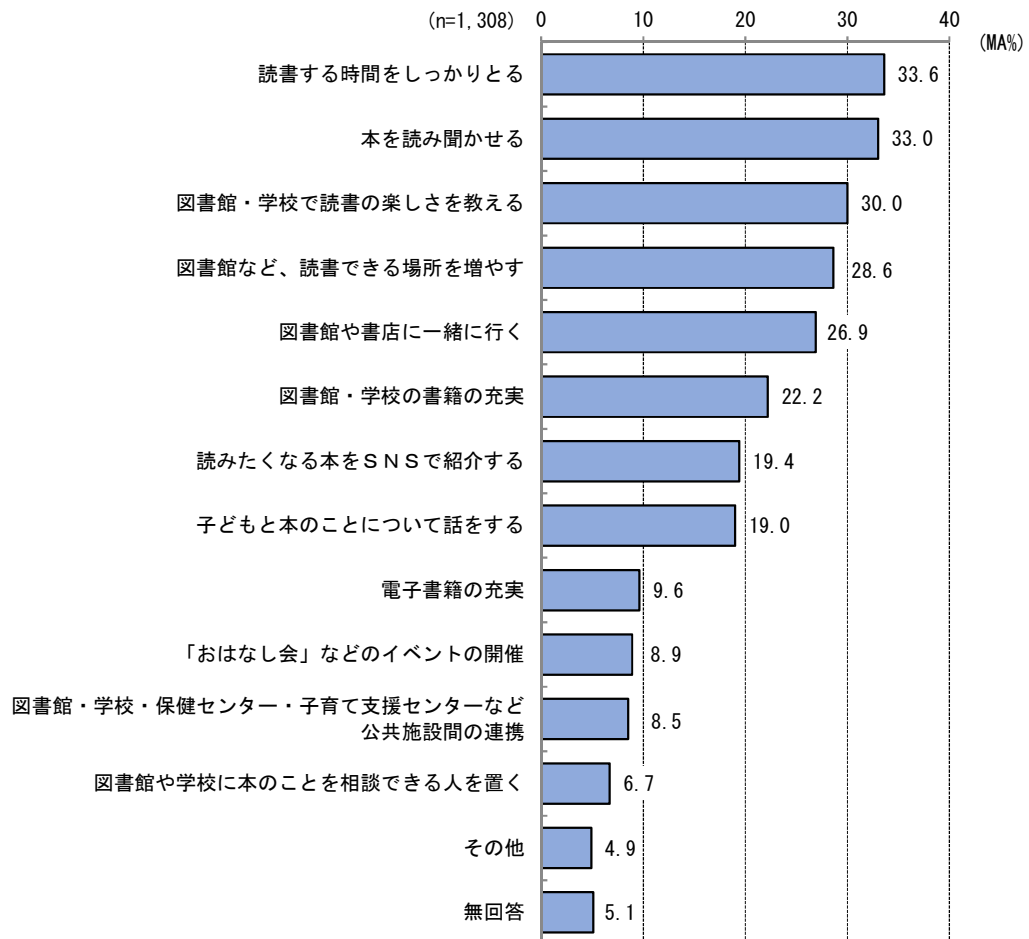
図 1-18 年代別 子どもへの読書のきっかけづくりで行っていること



年代別にみると、10～20代は「特にしていない」が半数を超えており、30～70代以上は「特にしていない」を除くと「子どもが読みたい本を与える」が最も高い。また、30～40代では「子どもと一緒に書店に行く」が3割を超えており、他の年代に比べ高い。(図 1-18)

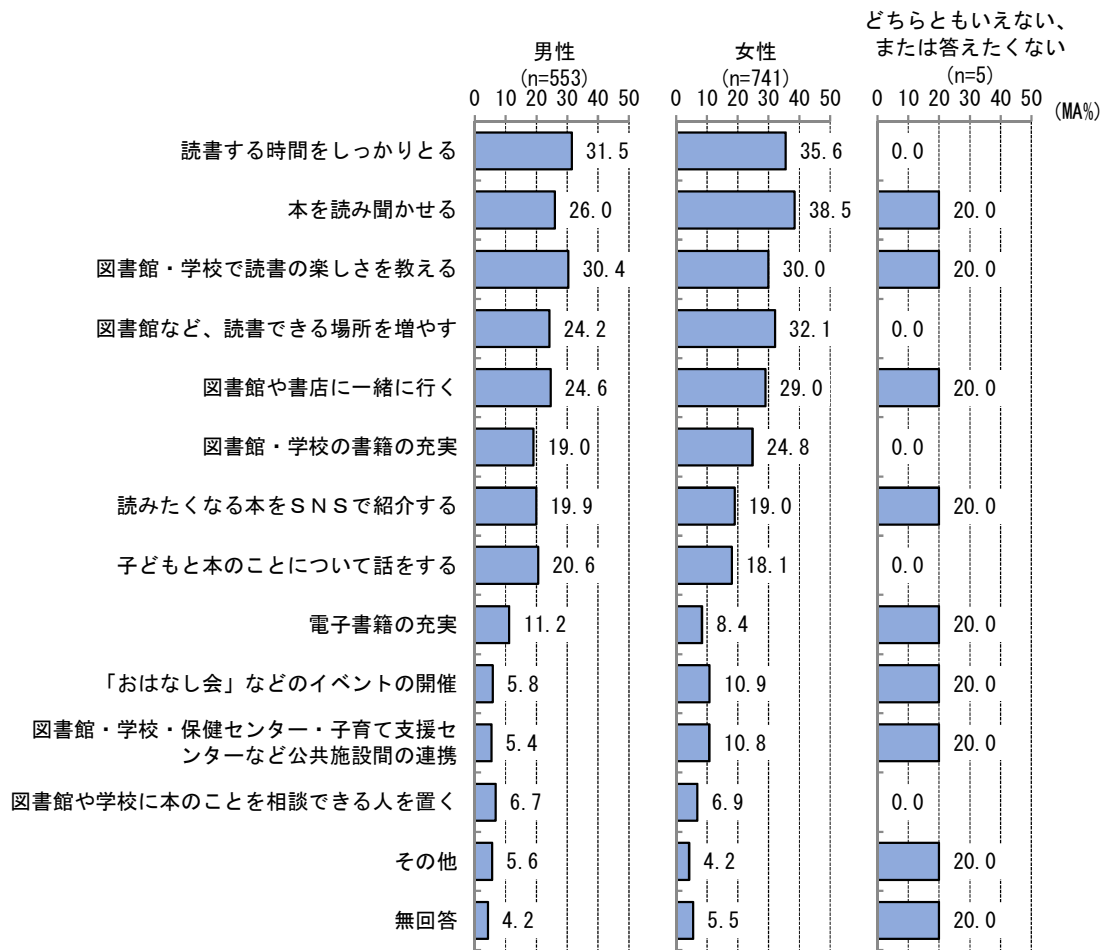
問 12 子ども（自分の子以外も含む）がもっと読書するようになるには、
 どんな取組が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

図 1-19 子どもの読書への必要な取組



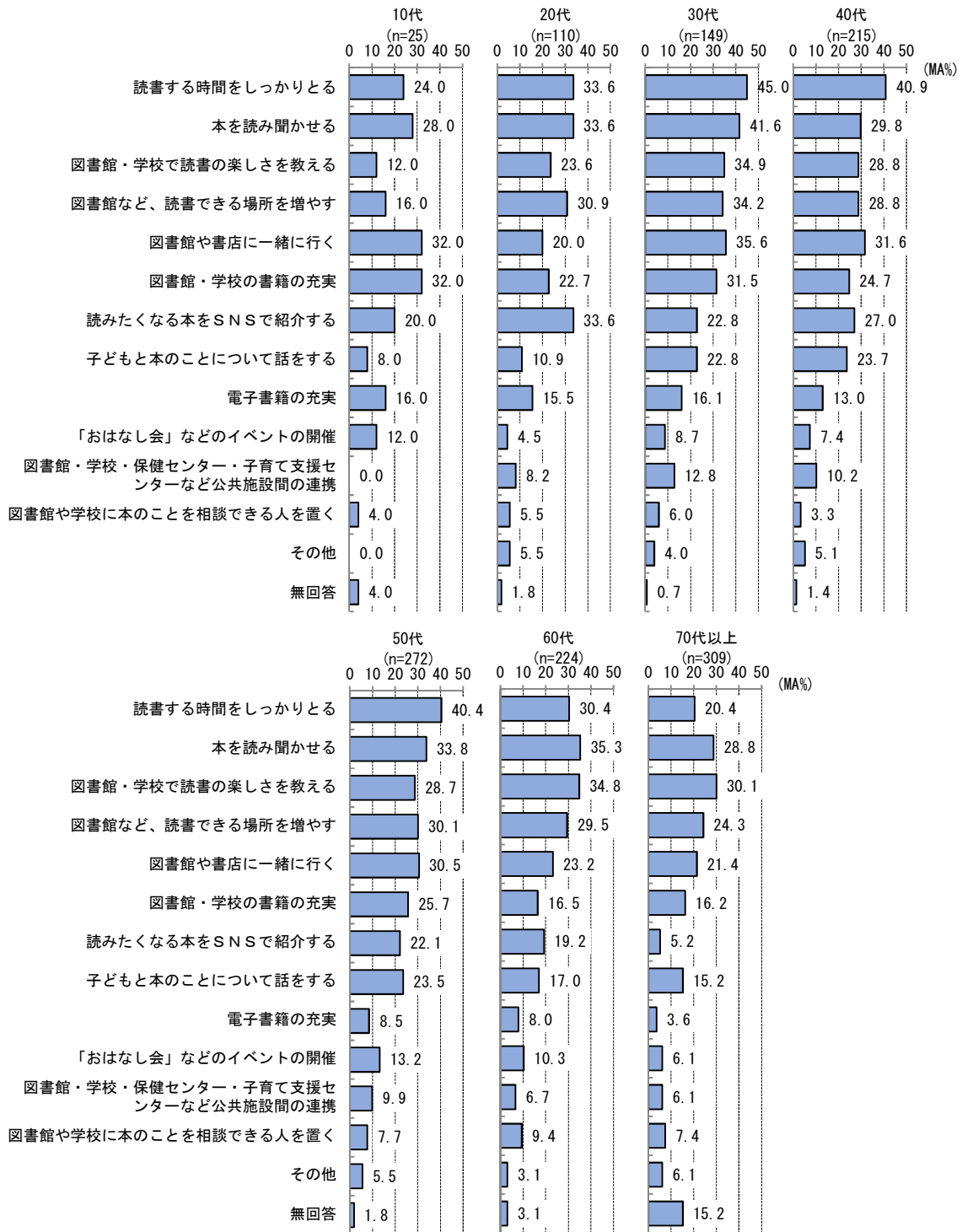
子どもの読書への必要な取組をたずねた。「読書する時間をしっかりとる」が33.6%と最も高く、次いで「本を読み聞かせる」が33.0%、「図書館・学校で読書の楽しさを教える」が30.0%となっている。(図 1-19)

図 1-20 性別 子どもの読書への必要な取組



性別にみると、男性は「読書する時間をしっかりとる」が31.5%と最も高くなっており、次いで「図書館・学校で読書の楽しさを教える」が30.4%、「本を読み聞かせる」が26.0%となっている。一方、女性は「本を読み聞かせる」が38.5%と最も高く、次いで「読書する時間をしっかりとる」が35.6%、「図書館など、読書できる場所を増やす」が32.1%となっている。(図 1-20)

図 1-21 年代別 子どもの読書への必要な取組

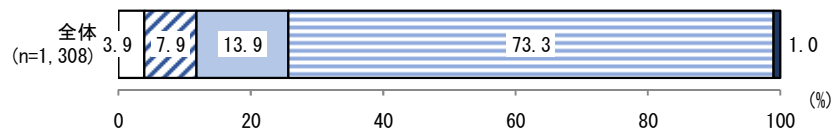


年代別にみると、10代は「図書館や書店と一緒にに行く」「図書館・学校の書籍の充実」が同率で最も高く、20代は「読書する時間をしっかりとる」「本を読み聞かせる」「読みたくなる本をSNSで紹介する」が同率で最も高くなっている。30～50代は「読書する時間をしっかりとる」が最も高く、60～70代以上では「本を読み聞かせる」「図書館・学校で読書の楽しさを教える」が高い傾向にある。(図 1-21)

問 13 スマートフォンやパソコンなどの端末でいつでもどこでも 24 時間本を借りたり読んだりできる「ひがしおおさか電子図書館」を知っていますか。(〇はひとつ)

図 1-22 「ひがしおおさか電子図書館」の認知度

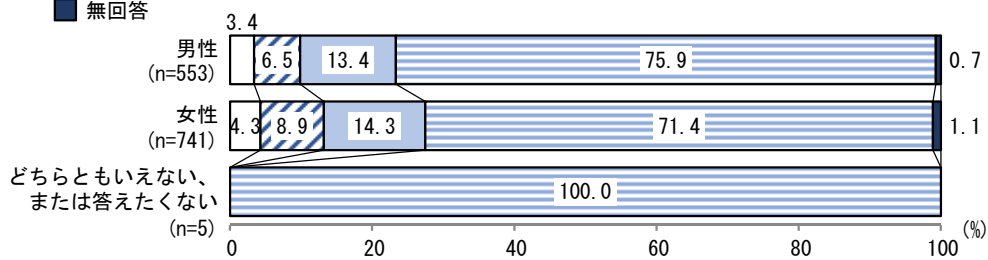
- 知っているし、利用したことがある
- 内容も含めて知っているが、利用したことはない
- 聞いたことがある程度
- まったく知らない
- 無回答



「ひがしおおさか電子図書館」の認知度をたずねた。「まったく知らない」が73.3%と最も高く、次いで「聞いたことがある程度」が13.9%、「内容も含めて知っているが、利用したことはない」が7.9%となっている。(図 1-22)

図 1-23 性別 「ひがしおおさか電子図書館」の認知度

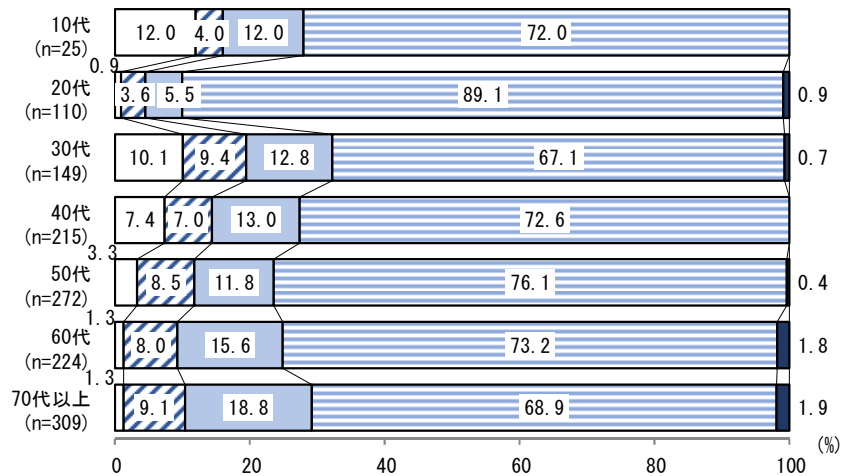
- 知っているし、利用したことがある
- 内容も含めて知っているが、利用したことはない
- 聞いたことがある程度
- まったく知らない
- 無回答



性別にみると、「知っているし、利用したことがある」と「内容も含めて知っているが、利用したことはない」を合わせた『知っている』は女性が13.2%で、男性の9.9%を3.3ポイント上回っている。(図 1-23)

図 1-24 年代別 「ひがしおおさか電子図書館」の認知度

- 知っているし、利用したことがある
- ▨ 内容も含めて知っているが、利用したことはない
- ▤ 聞いたことがある程度
- ▥ まったく知らない
- 無回答



年代別にみると、「知っているし、利用したことがある」と「内容も含めて知っているが、利用したことはない」を合わせた『知っている』は30代で19.5%と最も高く、次いで10代で16.0%、40代で14.4%となっている。「まったく知らない」は20代で89.1%と最も高くなっている。(図 1-24)

自由意見とりまとめ

問8-1 読書をしない理由を教えてください。(その他)	件数
老眼、目が悪い	18
目が疲れる、首や肩が凝る	11
スマホ、ネットで読んでいる	8
新聞や雑誌は読んでいる	7
YouTubeなど動画を見ることの方が多い	4
眠くなる	2
その他	3

問11 本や絵本を読む以外で、子ども(自分の子以外も含む)が読書をしようと思いきっかけづくりについてあなたが行っているものはありますか。(その他)	件数
子どもが身近にいない	15
移動図書館を利用する	1
推薦図書一覧から一緒に選ぶ	1
その他	5

問12 子ども(自分の子以外も含む)がもっと読書するようになるには、どんな取組が必要だと思いますか。(その他)	件数
特になし	7
わからない	4
スマホやゲーム、ネットを使わせない	4
親や周りの人が本を読んでいる姿を見せる	4
本人の興味のある本から与える	3
本が身近にある環境を整える	3
カフェ併設や、海外のものを参考に図書館をおしゃれにリニューアルする	2
本を安くして金銭的ハードルを下げる	2
その他	25

Ⅲ 結果のまとめ

調査結果の概要と課題

(1)未就学児保護者

・アンケート回答者の 99%の保護者が子どもにとって本を読むことが大切だと認識をしていますが、実際は、自身の子どもが本を読むことや読み聞かせが好きではないと考える保護者が一定数いることから、子どもが喜ぶ読み聞かせのコツやお勧めの絵本などの情報を伝えるなど、乳幼児を持つ保護者へのサポートが必要です。

・家庭において、父親が育児に関わる割合が増えてきていることに伴って、子どもと一緒に本を読む父親も増えています。読み聞かせのイベントでは、父親や祖父母などに対しての情報発信と、参加しやすいようなイベントも提供していく必要があります。

・共働きや核家族による日常的な忙しさが、読み聞かせの頻度に少なからず影響していると考えられることから、家庭内での読書時間に加え、それ以外でも子どもが絵本とふれあい、読み聞かせができるような時間の確保が必要です。

・自身の子どもが本を読んだり、保護者が読み聞かせを行ったりする頻度について、「ほとんど読まない」と回答した方にその理由を問うと、「本を読む時間がない」に次ぐ理由が「本を読むのがめんどろ」「文字を読むのが苦手」となっています。これらから、「読み聞かせのハードルが高い」と考える保護者が一定数いることが推測されるため、読み聞かせの仕方などを広く伝えることで、誰でも簡単に行えるということを理解してもらうことも必要です。

・家庭での読み聞かせは、保護者自身が子どものために試行錯誤を重ね、経験を積むことが大切です。一人でも多くの保護者が、絵本を通して親子のふれあいを感じられるようにサポートしていく必要があります。

・乳児期など子どもが赤ちゃんのころは、本を破いてしまったり衛生面を気にしたりして、家にある本や購入して本を用意することが多いため、出産やお誕生日に最適な本のブックリストの配付なども効果を生む可能性があります。また、幼児期になると本の扱いも理解できる年頃になり「本を借りる」という選択肢も出てくることから、前回調査時(H29)と比べて減少幅が大きい「保育所・幼稚園・こども園」での本の充実やコロナ禍でも安心して本を借りることができる対策を図っていく必要があります。

・「ひがしおおさか電子図書館」は、図書館や本屋に出向くことなく手軽に利用できることから、未就学児保護者にとっては一定のニーズがあると予想されます。アンケート調査の結果から、周知不足が顕著に表れているため、あらゆる場所、あらゆる機会を捉えて広報する必要があります。

・子どもがもっと本を読むようになるための取組として、物理的な時間を要する取組が上位を占めているため、各関係機関・施設が連携を図り、そこをどう補っていくかが『カギ』となってきます。限られた保育時間・家庭での時間の中で、しっかりと「本とふれあえる時間」を確保するにはどう取り組む必要があるのか、その一つの解決策として図書館に出向く必要のない電子書籍の充実、とりわけ児童書の充実を図っていくことも重要です。

(2)小中学生(小学3年、5年、中学2年)

・図書館利用カードを所持している小中学生は、前回調査時(H29)に比べて全体的に減少しており半数以上が持っていない状況にあります。カードを持っていないからといってまったく図書館利用がないとは言えませんが、カードを作成してもらうことで図書の貸出しや読書活動につなげることができれば、効果は大きいと考えられます。小学校入学時や中学校進級時などに図書館利用カードを作成する機会を作るなどの工夫が必要です。

・本を読むことが「どちらかといえば、きらい」、「きらい」と答えた小中学生は前回調査時(H29)に比べて微増しており、読書離れが進んでいると言えます。

・子どもたちが読む本を選ぶとき、他から勧められるよりも自身の興味(趣味・嗜好)により選ぶ傾向にあり、特に小学生は学校図書室や図書館で気になった本を手にとって選んでいます。学校図書室や図書館は、本と出会うきっかけの場として重要な役割を果たしており、子どもの興味や好奇心を刺激するような選書、イベントや展示の工夫で、さらに子どもたちの読書につなげていく必要があります。また、中学生では、情報通信機器からの情報も本を選ぶ手段となっているため、SNSなどを上手く利用した本の情報提供などを充実していく必要があります。

・小学生は、家以外に学校の教室や図書室、図書館で本を読むことが多い傾向にあることから、学校と連携した取組も有効であり、学校図書館や市立図書館の役割は大きいと言えます。

・子どもたちの読書時間は、「まったく読まない」と答えた小学生は、前回調査時(H29)と比べて4.5ポイント、中学生は、5.1ポイント増えており、読書離れが進んでいると言えます。

・「ひがしおおさか電子図書館」の利用については、学年が上がるにつれ利用しなくなっています。また、「知らない」との回答も一定数ありました。これまで以上に関係部局がしっかりと連携を図り、学校に対して活用の協力依頼を強化するとともに、現場の教職員に対してのバックアップや働きかけを行うことで、より現場に電子図書館を浸透させていく必要があります。また、教育現場でも利用のしやすいコンテンツを増やすなど、電子図書館利用のためのさらなる取組が必要です。

・本を読まない理由について、「読みたいと思う本がない」、「本を読む時間がない」が上位となっていますが、この中には、そもそも本に興味や関心のない子どもたちと、興味や関心があっても自身の嗜好とマッチする本の情報を手に入れることができていない場合、本を読むことに時間を割くのが難しい場合があると考えられるため、それぞれの理由に沿ったアプローチが必要です。

・わからないことが出てきた場合の調べ方について、小学校の高学年や中学生は、手軽に実行できるツール(インターネット)の利用が多く、7割を超えています。本や辞書を利用するとの回答は、小学校低学年で3割強、高学年で3割弱、中学生で2割弱となっており、あまり利用されていない状況です。インターネットの利用は、大人も同様に多いですが、子どもの頃に本や辞書を利用した調べ方を経験しており、本とインターネットの特性や違いを理解した上で利用しています。子どもたちに対しても、図書館で行っている「出前講座」などを利用し、本とインターネットの情報の質の違いを説明した上で、本や辞書を利用した「調べ方」を丁寧に伝え、本を使って調べることの楽しさを定着していく必要があります。

・いずれの学年も“本を読む時間をしっかりとる”ことが本を読む一番の方法と考えています。

学校や家庭での読書時間の確保が必要なことから、学校へは読みたくなる本や情報の提供など学校連携の取組、家庭へは子ども読書の必要性を伝える等の働きかけが重要です。

(3)図書館利用者

・子どもと一緒に図書館へ訪れる利用者は、子育て世代である 30～40 代が7割強と多くなっていますが、50～60 代でも一定数の方が子どもを連れて図書館を訪れており、孫と一緒に利用されていることが伺えます。子育て世代に対して子ども読書の必要性を訴えることも重要ですが、祖父母に読書が大切である意味を伝えたり、祖父母と孫と一緒に楽しんだりできるようなイベントを実施するなど、世代に応じた施策も重要です。

・児童コーナーの雰囲気や児童書の種類については、利用の多くを占める子育て世代で一定の評価を得ています。

・「ひがしおおさか電子図書館」について、情報通信機器をよく利用する 20 代に認知されていないため、将来自身が親となっていくであろう大学生に対してもっとPRする必要があります。

・子どもがもっと本を読むようになるための取組として 10 代の子どもたちは“本を読む時間をしっかりとる”ことが、10 代以降の年代は“本を読み聞かせる”ことが必要だと答えており、読書の時間を確保することが有効な手段だと考えているようです。また、全世代を通して平均すると4割以上の方が、“図書館や学校で本の楽しさを教える”ことと回答しており、本の楽しさが感じられる選書やイベントのなど、「図書館や学校での取組の充実」が必要であると言えます。また、“図書館など、本を読める場所を増やす”との回答も上位に挙げられており、時間・場所を選ばず利用できる「電子図書館サービス」の周知等にも力を入れる必要があります。さらに 10 代では、「電子書籍の充実」との回答が他の年代より多く、これはGIGAスクール構想の一環として、日常的に電子図書館サービスを利用していることに起因するものと考えられるため、小中学生対象に特化した電子書籍の充実を図っていくことも有効な手段と考えられます。

(4)ブックスタート事業対象者

・乳幼児期に子どもと一緒に絵本を見たり読み聞かせをしたりする保護者は、9割以上となっており、この時期の絵本を通じたコミュニケーションの大切さを理解している方が多いと考えられます。読み聞かせの時期として最も多かったのは、「3～4か月」ですが、妊娠期や生後すぐから読み聞かせをする方も2割程度いることから、関係部局と連携して妊娠期の早い段階から「子ども読書」の重要性を周知するなど、PRの開始時期や対象者についても検討していくことが求められます。

・家庭で子どもと一緒に絵本を見たり読み聞かせをしたりする保護者は多いものの、その頻度は少なく、習慣化されているとは言えません。例えば就寝前の読み聞かせを推進することも習慣化につながる取組といえます。

・読み聞かせをする側も多様化しています。対象を限ることなくさまざまな機会・場所・時間で子ども読書の重要性を周知することで、読み聞かせも広がっていく可能性があります。

・絵本とのふれあいが大切といった読み聞かせや読書の必要性は、理解されている状況ですが、実際の読み聞かせや子どもの読書につながっていないのが現状です。子ども読書の必要

性を伝えたその後、どのように実際の行動につなげていくかが課題となっています。

・子どもともっと絵本を見たり読んだりするための取組として、「図書館の児童コーナーや絵本の充実」、「読みたくなる絵本のSNS等での紹介」、「図書館でお勧めの絵本の貸出セットの提供」が上位を占めており、図書館での取組の重要性と情報発信が望まれていることがわかる結果となっています。今後も引き続き情報発信を含めた図書館サービスの充実を図り、魅力ある図書館にしていくことが重要です。

(ブックスタート事業について)

・4か月児健診時に受けたブックスタート事業の認識について、「ブックスタート事業」が本の読み聞かせや絵本の配布だと結びつかないままの方が見受けられます。一方で、ブックスタート事業を体験したと認識されている方は、その趣旨も理解している傾向にあります。ブックスタート事業は、絵本を通した子どもと保護者とのふれあいが大切であるとの趣旨で行っており、そのきっかけづくりが目的ではあるものの、その趣旨を正しく理解していただくことで、さらに事業の有効性が図られるため、単に読み聞かせや絵本の配布にとどまることなく、しっかりと事業の意義を認識していただくことが大事です。

・実際にブックスタートを受けて、「絵本をもらえてうれしかった」や「子どもとのコミュニケーションに役立つと感じた」といった肯定的な意見が多く、「絵本を読んだ時の子どもの様子を見られてよかった」や「赤ちゃんも絵本に関心を示すことがわかった」など、きっかけから次へとつながるような項目に対しても多くの方が「そう思う」と答えていることから、本事業実施の意義は大きいと考えられます。

・配布した絵本を現在も持っており、多くが活用しています。どのように読み聞かせをしたらいいかわからなかった方やどんな本から始めたらいいかわからなかった方に、絵本の配布と読み聞かせをセットで実施することは、継続して読み聞かせを行う環境を整える一つの手法として有効であると考えられます。一方で、ブックスタート事業をきっかけに子どもと絵本を楽しむ時間が増えたかという設問に対し、ほとんど増えていないとの回答も2割あり、この2割をどう減らしていくかということも課題として考えられます。まずは“子どもと一緒に絵本を見る”ことから始めていただくだけでいいのだということを伝え、保護者自身のハードルを下げていく必要があります。

・ブックスタート事業のあと図書館を利用する機会が増えた方は4割程度にとどまっています。半数以上の方には、ブックスタート事業が図書館利用につながっておらず、図書館でのサービスやイベントの周知を積極的に行うことで、利用につなげていく必要があります。

・今後もこの事業を継続して欲しいと思っている方が100%であり、本事業の重要性がよくわかる結果となっています。

(5)市政世論調査

・過去1か月間に全く読書をしなかったと回答した方にその理由を聞くと、「読書する時間がない」との物理的な理由が最も多く、潜在的に時間さえあれば本を読む人がいるということがわかります。また、回答上位に「本を読むのがめんどろ」や「読みたいと思う本がない」という理由が挙げられており、このような方は、魅力的な本、興味や関心を引く本があれば、読書につな

がることが考えられるため、さまざまなジャンルの本の情報を提供することが大切です。

・日常に追われ、時間のない中で日々を過ごす方に対して、図書館に出向くことなく利用登録ができる「電子申請」や、インターネットで本を検索したり、予約したりできる「図書館システム」、また、24時間いつでもどこでも電子書籍を読むことができる「電子図書館サービス」などを周知することで、少ない時間を有効に活用し、もっと気軽に図書館を利用したり、書籍を借りたりできる方法を知っていただくことが大切です。併せて、図書館までの距離が遠く利用しづらい方に対して、移動図書館や出張図書館などをPRし、利用者を増やしていくことも重要です。忙しい方へのPR手法としては、隙間時間で取得できるSNSなどを利用した情報発信が有効です。

・子どもがもっと本を読むようになるための取組として、読書や読み聞かせの時間を確保することの次に、図書館や学校での取組に関する回答が続いていることから、幅広い年代、幅広い層から、図書館や学校でのさまざまな取組が重要視されており、市としても積極的に取組んでいく必要があると考えられます。

子どもの読書についておたずねします

東大阪市では、「子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの自主的な読書活動を推進してきました。地域、保育所、幼稚園、こども園、学校、図書館等でのこれまでのさまざまな取組と成果・課題をふまえ、今後「第3次東大阪市子ども読書活動推進計画」を策定する予定です。今回のアンケートは、推進計画策定の参考資料とするもので、ご協力よろしくお願いいたします。

東大阪市教育委員会 社会教育課

※あてはまるものを選んでください。

※「本」とは、紙の本、電子の本のことをいいます。本には、雑誌や漫画も入ります。

問 1 子どもにとって本を読むことは大切だと思いますか。(ひとつだけ選べます。)

- | | |
|-------|---------|
| 1. 思う | 2. 思わない |
|-------|---------|

問 2 お子さんは本を読むことや読み聞かせは好きですか。(ひとつだけ選べます)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 好き | 2. どちらかといえば、好き |
| 3. どちらかといえば、嫌い | 4. 嫌い |

問 3 誰と一緒に読みますか。(いくつでも選べます)

- | | | | |
|----------|-----------|-------|-------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖母 | 4. 祖父 |
| 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他() | | |

問 4 お子さんが本を読んだり、読み聞かせをする頻度はどの程度ですか。
(ひとつだけ選べます)

- | | | |
|----------|-------------|----------|
| 1. 週1回未満 | 2. 週1~2回 | 3. 週3~5回 |
| 4. ほぼ毎日 | 5. ほとんど読まない | |

問 5 問4で「ほとんど読まない」と答えた方に伺います。(他の方は問6へ)その理由は何ですか。(いくつでも選べます)

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 本を読む時間がない | 2. 読みたいと思う本がない |
| 3. どの本を読んで良いかわからない | 4. 本を読む必要性を感じない |
| 5. 本を読むのがめんどろ | 6. 本の値段が高い |
| 7. 本をすすめる人が周りにいない | 8. 本屋が近くにない |
| 9. 図書館が近くにない | 10. 文字を読むのが苦手 |
| 11. 家に読みたい本がない | 12. 家族や友達など、周りに本を読んでいる人がいない |
| 13. わからない | 14. その他() |

問 6 子どもの本は、どのようにして用意しますか。(いくつでも選べます)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 本屋で買う | 2. インターネットで買う |
| 3. 保育所・幼稚園・こども園で借りる | 4. 友達から譲り受ける |
| 5. 図書館で借りる | 6. 家にある本を読む |
| 7. その他() | |

問 7 スマートフォンやパソコンなどの端末でいつでもどこでも24時間本を借りたり読んだりできる「ひがしおおさか電子図書館」を知っていますか。(ひとつだけ選べます)

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 知っているし、利用したことがある | 2. 内容も含めて知っているが、利用したことはない |
| 3. 聞いたことがある程度 | 4. まったく知らない |

※電子図書館のウェブサイトは表示の二次元コードまたはこちら(<https://web.d-library.jp/higashiosa/>)からご覧いただけます。



問 8 子ども(自分の子以外も含む)がもっと本を読むようになるには、どんな取組が必要だと思いますか。(いくつでも選べます)

- | |
|---|
| 1. 本を読む時間をしっかりとる |
| 2. 図書館など、本を読める場所を増やす |
| 3. 本を読み聞かせる |
| 4. 子どもと本のことについて話をする |
| 5. 「おはなし会」などのイベントの開催 |
| 6. 図書館や本屋と一緒にいく |
| 7. 図書館や保育所などで本を読む楽しさを教える |
| 8. 図書館や保育所などの書籍の充実 |
| 9. 電子書籍の充実 |
| 10. 図書館や保育所などに本のことを相談できる人を置く |
| 11. 図書館・保育所や幼稚園・保健センター・子育て支援センターなど公共施設間の連携 |
| 12. 読みたい本をツイッター、フェイスブック、ラインなどの SNS(エスエヌエス)で紹介する |
| 13. その他() |

ご協力ありがとうございました。

あなたの読書習慣についておたずねします。

東大阪市では、どうしたらみなさんにもっと本をすきになってもらえるか、どうしたら学校の図書室や地域の図書館を利用してもらえるかを知るために、アンケート調査をしています。

みなさんからいただいた答えは、新しくつくる「子どもの読書に関する計画(正式な名前:子ども読書活動推進計画)」の参考にしますので、みなさんの考えをぜひ聞かせてください。

東大阪市教育委員会 社会教育課

【共通】

・あてはまるものをえらんでください。(小学生・中学生を選択)

【小学生の場合】

- ・あなたは何年生ですか。(ひとつだけえらべます)
- ・あなたの通う小学校の中学校区を教えてください。(ひとつだけえらべます)
- ・あなたの通う小学校を教えてください。(ひとつだけえらべます)

【中学生の場合】

・あなたの通う中学校を教えてください。(ひとつだけえらべます)

※「本」とは、紙の本、電子の本のことをいいます。本には、雑誌(ざっし)やまんがも入ります。

問 1 東大阪市立図書館の利用カードを持っていますか。(ひとつだけえらべます)

1. もっている 2. もっていない



問 2 本を読むことはすきですか。(ひとつだけえらべます)

1. すき 2. どちらかといえば、すき 3. どちらかといえば、きらい 4. きらい

問 3 本は、どのようにして用意しますか。(いくつでもえらべます)

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 1. 紙の本を買う(買ってもらう) | 2. 紙の本を図書館からかりる |
| 3. 学校図書室からかりる | 4. 教室にある本からかりる |
| 5. 紙の本を友だちからかりる | 6. スマートフォン・タブレット・パソコンを利用して |
| 7. その他 | 電子の本を買う(買ってもらう)またはかりる |

問 4 読む本を、どのようにえらびますか。(いくつでもえらべます)

- | |
|---|
| 1. 友だちや家族にすすめられた本(友だちや家族が読んでいた本) |
| 2. その他の人(学校の先生など)にすすめられた本 |
| 3. 学校図書室で気になった本 |
| 4. 図書館で気になった本 |
| 5. 家にある本 |
| 6. 家族や友だちなど、まわりで話題になっている本 |
| 7. アニメやまんが、ドラマや映画の本 |
| 8. すいせん図書(おすすめ本)一覧にある本 |
| 9. 自分の好きなジャンル(種類)や作家の本 |
| 10. ツイッター、フェイスブック、ラインなどの SNS(エスエヌエス)やインターネットで紹介されている本 |

問 5 どこで本を読みますか。(いくつでもえらべます)

- | | | |
|-----------|-----------------|--------|
| 1. 家 | 2. 図書館 | 3. 教室 |
| 4. 学校の図書室 | 5. 市民プラザの図書コーナー | 6. その他 |

問 6 学校での読書活動(朝読)・家・図書館などで、平均すると1日あたりどれくらいの時間、本を読みますか。(ひとつだけえらべます)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 2 時間以上 | 2. 1 時間～2 時間 | 3. 30 分～1 時間 |
| 4. 10 分～30 分 | 5. 10 分以下 | 6. まったく読まない |

問 7 「ひがしおおさか電子図書館」をどこで(いつ)利用しますか。(いくつでもえらべます)

- | | | |
|-----------|------------|----------------------|
| 1. 朝の読書活動 | 2. 学校の休み時間 | 3. 学校の授業や図書の時間 |
| 4. 家 | 5. 利用しない | 6. ひがしおおさか電子図書館を知らない |

問 8 ふだん、紙の本と電子の本のどちらをよく読みますか。(ひとつだけえらべます)

1. 紙の本をよく読む 2. 電子の本をよく読む 3. 紙の本、電子の本ともによく読む

問 9 なぜあまり本を読まないのですか。理由を教えてください(いくつでもえらべます)

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| 1. 本を読む時間がない | 2. 読みたいと思う本がない |
| 3. どの本を読んで良いかわからない | 4. 本を読む必要があると思わない |
| 5. 本を読むのがめんどろ | 6. 本の値段が高い |
| 7. 本をすすめる人がまわりにいない | 8. 本屋が近くにない |
| 9. 図書館が近くにない | 10. 文字を読むのが苦手 |
| 11. 家に読みたい本がない | 12. 家族や友だちなど、まわりに本を読んでいる人がいない |
| 13. その他 | 14. わからない |

問 10 わからないことがあった時、どのように調べますか。(いくつでもえらべます)

1. 本やじしょなどを利用する 2. インターネットを利用する 3. 友だちに聞く
4. 先生に聞く 5. 家族に聞く 6. 調べない 7. その他

問 11 どうすれば、あなたやまわりの友だちが、もっと本を読むと思いますか。
(いくつでもえらべます)

- | | |
|---|---------------------|
| 1. 本を読む時間をしっかりとる | 2. 図書館など本を読める場所を増やす |
| 3. 家族と本の話をする | 4. 本を読みたくなるイベントを行う |
| 5. 友だちと本の話をする | 6. 本の値段を安くする |
| 7. 電子で読める本をもっと増やす | |
| 8. 図書館や学校図書室の本をもっと増やす | |
| 9. 図書館や学校図書室に本のことを相談できる人を置く | |
| 10. 読みたくなる本をツイッター、フェイスブック、ラインなどの SNS(エスエヌエス)で紹介する | |

※問 6 で、「1~4」と答えた人は、問 7→問 8→問 10→問 11

※問 6 で、「5」と答えた人は、問 7 以降全て

※問 6 で、「6」と答えた人は、問 9→問 10→問 11

と しょ かん り よう しゃ
図書館利用者のみなさまへ

こ どく しょ かつ どう すい しん けい かく
子どもの読書活動推進計画のため
アンケートにご協力ください。

ひがし おお さか し
東大阪市では、「子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの自主的な読書活動を
すす 進 して きました。ち い き ほ い く し ょ よ う ち え ん
地域、保育所、幼稚園、こども園、学校、図書館等でのこれまでのさ
ま ざ ま な と り く み せ い か か だ い
まざまな取組と成果・課題をふまえ、今後「第3次東大阪市子ども読書活動推進計画」
を策定する予定です。こ ん ごと だ い じ
今回のアンケートは、推進計画策定の参考資料とするものです
で、ご協力よろしくお願 ね が
い します。

ひがし おお さか し き ょ う い く い い ん かい し ゃ かい き ょ う い く か
東大阪市教育委員会 社会教育課

※あてはまるものを選んでください。

※「本」とは、紙の本、電子の本のことをいいます。

本には、雑誌や漫画も入ります。



←アンケートはこちらの
コードからウェブでも
かい とう
回答していただけます。

●もっともよく利用されている図書館はどこですか。(ひとつだけ選べます)

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. 永和図書館 | 2. 大蓮分室 | 3. 花園図書館 |
| 4. 四条図書館 | 5. 石切分室 | 6. 移動図書館 |

問 1 あなたの年齢を教えてください。(ひとつだけ選べます)

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳以上 |

問 2 子どものころ、家の人や身近な人から本を読んでもらったことがありますか。
(ひとつだけ選べます)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. よく読んでもらった | 2. ときどき読んでもらった |
| 3. あまり読んでもらえなかった | 4. 読んでもらえなかった |

問 3 子どもを連れて図書館へ行きますか。(ひとつだけ選べます)

- | | | | |
|---------|----------|-------------|---------|
| 1. よく行く | 2. たまに行く | 3. ほとんど行かない | 4. 行かない |
|---------|----------|-------------|---------|

り め ん
裏面につづく

問 4 図書館の児童コーナーの雰囲気はどうか。(ひとつだけ選べます)

- | | | |
|-------|----------|---------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 |
| 4. 不満 | 5. わからない | |

問 5 図書館の児童書の種類はどうか。(ひとつだけ選べます)

- | | | |
|-------|----------|---------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 |
| 4. 不満 | 5. わからない | |

問 6 スマートフォンやパソコンなどの端末でいつでもどこでも24時間本を借りたり読んだりできる「ひがしおおさか電子図書館」を知っていますか。(ひとつだけ選べます)

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 知っているし、利用したことがある | 2. 内容も含めて知っているが、利用したことはない |
| 3. 聞いたことがある程度 | 4. まったく知らない |

※電子図書館のウェブサイトは表示の二次元コードまたはURLからご覧いただけます。(<https://web.d-library.jp/higashiosa/>)



問 7 子ども(自分の子以外も含む)がもっと本を読むようになるには、どんな取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも選べます)

- | |
|--|
| 1. 本を読む時間をしっかりとる |
| 2. 図書館など、本を読める場所を増やす |
| 3. 本を読み聞かせる |
| 4. 子どもと本のことについて話をする |
| 5. 「おはなし会」などのイベントの開催 |
| 6. 図書館・学校・保健センター・子育て支援センターなど公共施設間の連携 |
| 7. 図書館や学校で本を読む楽しさを教える |
| 8. 図書館や学校の書籍の充実 |
| 9. 図書館や学校に本のことを相談できる人を置く |
| 10. 図書館や本屋に一緒に行く |
| 11. 電子書籍の充実 |
| 12. 読みたくなる本をツイッター、フェイスブック、ラインなどのSNSで紹介する |
| 13. その他() |

ご協力ありがとうございました。



ブックスタート事業に関するアンケート

ブックスタートとは、1992年にイギリスのバーミンガム市から始まり、世界各地に広まった運動で、赤ちゃんと保護者とが、絵本を介して心ふれあう、あたたかいひとときを、地域に生まれた「すべての赤ちゃん」に届けるための活動です。

東大阪市では、2013年から4か月児健康診査を受診する赤ちゃんとその保護者を対象に、図書館と保健センターが連携して絵本、図書館案内等の配布や読み聞かせを行う「ブックスタート事業」を実施しています。

*2020年度からは、新型コロナウイルス感染症対策のため、サービス内容を縮小し、絵本と図書館案内等の配布となっております。赤ちゃんと保護者の安全と健康を守るため、ご了承ください。

ブックスタート事業の更なる充実のために下記リンクよりブックスタート事業に関する3分程度の簡単なアンケートにご協力お願いいたします。



<https://forms.office.com/r/v5uutexkMm>

東大阪市立図書館

HIGASHI-Osaka LIBRARY

東大阪市マスコットキャラクタートライくん



東大阪市マスコットキャラクタートライくん

東大阪市ブックスタート事業 に関するアンケート

東大阪市では絵本を通じて子どもと保護者が心ふれあうひとときを共有することで、子どもの健やかな成長に繋げていけるよう、4か月児健康診査（以下「4か月児健診」という。）の対象者に絵本、図書館案内等の配布や読み聞かせを行う「ブックスタート事業（以下「ブックスタート」という。）」を実施しています。今後の事業充実のため、3分程度の簡単なアンケートにご協力ください。

また、いただいた内容は、「第3次子ども読書活動推進計画」の策定においても活用させていただきます。

東大阪市教育委員会 社会教育課

* 必須

今回、健診の対象となるお子さんやご自身についておたずねします

1. あなたはお子さんの *

母親

父親

祖母

祖父

その他

2. お子さんは *

第1子

第2子

第3子以降

3. あなたのご家庭では、そのお子さんと絵本を見たり読んだりすることがありますか？ *

ある

ない

4. その頻度はどの程度ですか？ *

週1回未満

週1～2回

週3～5回

ほぼ毎日

5. いつ頃から読み聞かせを始めましたか？ *

妊娠期から

生後すぐから

1～2か月

3～4か月

5～6か月

7～8か月

9～10か月

11～12か月

それ以降

6. 誰と一緒に読みますか？（複数回答可） *

- 母親
- 父親
- 祖母
- 祖父
- 兄弟・姉妹

その他

7. お子さんに読み聞かせをする絵本はどのように用意していますか？（複数回答可）

*

- 書店で買う
- インターネットで買う
- 保育所（園）・幼稚園・子ども園で借りる
- 友達から譲り受ける
- 図書館で借りる
- 家にある絵本を読む

その他

8. お子さんは絵本を読んでもらうことは好きですか？ *

- 好き
- どちらかといえば好き
- どちらかといえば嫌い
- 嫌い

9.子どもにとって絵本を読むことは大切だと思いますか？ *

- 思う
- 思わない

10.あなたが、もっとお子さんと絵本を見たり、読んだりするためには、どのような取組が必要ですか？（複数回答可） *

- 読み聞かせ会やわらべうたに親しむイベントの開催など、家族で触れ合える機会の提供
- 図書館の児童コーナーや絵本の充実
- 家族で絵本のことについて話をする
- 児童向けの電子書籍の充実
- 読みたくなる絵本のSNS等での紹介
- 家庭における読書活動が進むよう、保護者を対象とした家庭教育に関する講座の開催や情報提供
- 図書館でお勧め絵本の貸出セットの提供
- 図書館に絵本のことを相談できる人がいる
-

その他

4か月児健診で実施した「ブックスタート」についておたずねします

東大阪市では4か月児健診の際に、赤ちゃんのまわりで絵本を介した楽しくあたたかいひとときが持たれることを願い、絵本、図書館案内等の配布や読み聞かせを行う「ブックスタート」を実施しています。

11. この事業を受けられましたか？ *

- はい
- いいえ

12. ブックスタートの趣旨を覚えていますか？ *

- 覚えている
- だいたい覚えている
- 覚えていない

13.ブックスタートを受けて、どのように感じましたか？ *

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
楽しかった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ほっとする時間がもてた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
絵本を読んだ時の子ども様子を見られてよかった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
赤ちゃんも絵本に関心を示すことが分かった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子どもとのコミュニケーションに役立つと感じた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子どもと絵本を読むのは自分には難しいと感じた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の子どもには絵本はまだ早いと感じた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
絵本がもらえてうれしかった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
絵本についてもっと知りたいと思った	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
図書館スタッフやボランティアと話ができてよかった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
図書館で絵本が借りられることを知ってよかった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

14.ブックスタート時に配布した絵本を現在も持っていますか？ *

- はい
- いいえ

15.ブックスタートで受け取った絵本を、活用しています（しました）か？ *

- かなり活用している（した）
- 活用している（した）
- あまり活用していない
- 活用していない

16.絵本の読み始めの頃にお勧めの本はありますか？

ある場合は「その他」を選んで本のタイトルをご記入ください。 *

ない

その他

17.ブックスタートをきっかけにお子さんと絵本を楽しむ時間が増えましたか？ *

- とても増えた
- やや増えた
- ほとんど増えていない

18.ブックスタートのあと、絵本を買ったり、借りたりしましたか？（複数回答可） *

- 絵本を買った
- 絵本を借りた
- 買ったり借りたりしていない

19.ブックスタートのあと、図書館を利用する機会は増えましたか？ *

- とても増えた
- やや増えた
- ほとんど増えていない

20.今後もこの事業を継続してほしいと思いますか？ *

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

21.ブックスタートについて、ご意見・ご感想がございましたら自由にご記入ください

13・15・17・18・19・20でそうお答えになった理由や、ブックスタートで受け取った絵本をどのように活用されているか等

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms

ひがし おおさか し せい よ ろん ちょう さ 東 大 阪 市 政 世 論 調 査

ちょう さ ねが 【 調 査 について の お 願 い 】

し みん みな ひ ごろ し せい は っ て ん り かい きょうりよく
市民の皆さまには、日頃から市政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます
ございます。

ひがし おおさか し し みん みな い けん は ば ひ ろ き し せい は ん え い
東大阪市では、市民の皆さまのご意見を幅広くお聴きし、市政に反映させていくことが
たいせつ かんが こ と し ひがし おおさか し せい よ ろん ちょう さ じ っ し
大切であると考え、今年も「東大阪市世論調査」を実施します。

この世論調査は、ほんし にお す ま い の ま ん 18 さい い じ ょ う か た や く に ん む さ く い え ら
この世論調査は、本市にお住まいの満18歳以上の方、約2,700人を無作為に選ばせて
いただき、ご意見やご要望をお伺いするものです。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を
ねが
をお願いいたします。

な お、ご かい どう いた だ き ま し た ない よ う と う け い て き し ょ り こ じ ん ひ み つ た に ん も
なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、個人の秘密が他人に漏れたり、
めい わ く
ご迷惑をおかけすることはございません。

ど う ぞ、あ な た の お かん が そ っ ち ゃ く かい どう か さ ねが
どうぞ、あなたのお考えを率直にご回答くださいますようお願いいたします。

れい わ ねん が つ
令和4年8月

ひがし おおさか し ちょう の だ よしかず
東 大 阪 市 長 野 田 義 和

き に ゅ う ねが ご 記 入 について の お 願 い

1. あて な ほんにん かい どう
宛名にあるご本人がご回答ください。
2. き に ゅ う こ えんぴつ くろ ねが
ご記入は、濃い鉛筆または黒ボールペンでお願いします。
3. かい どう かい どう こ う も く ばんごう じ る し か こ
ご回答は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
4. た じ る し つ か た ない かい どう ぐ たい て き き に ゅ う
「その他」に○印を付けられた方は、()内に回答を具体的にご記入ください。
5. し つ も ん ねが
質問によって、お答えいただく数が異なっている場合があります。
6. き に ゅ う かい どう ち ょ う さ ひ ょ う ど う ふう へん し ん よ う ふう と う き っ て ふ よ う い
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて
れい わ ねん が つ に ち げ つ ゆうびん どうかん
令和4年8月22日(月)までに郵便ポストに投函してください。
7. ち ょ う さ ひ ょ う へん し ん よ う ふう と う じ ゅ う し ょ し め い き に ゅ う ひ つ よ う
調査票や返信用封筒には、住所や氏名を記入していただく必要はありません。
8. ち ょ う さ し つ も ん ねが
調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【問 合 せ 先】 ひがし おおさか し し ち ょ う こ う し つ
東 大 阪 市 市 長 公 室
こ う ほう こ う ち ょ う し つ し せい じ ょ う ほう そ う だ ん か
広 報 広 聴 室 市 政 情 報 相 談 課
で ん わ ち ょ う け つ
電 話 06-4309-3104(直 通)
ふ あ く す
F A X 06-4309-3801

I. 回答者ご自身のことについておたずねします。

問 1 あなたの性別に○印をつけてください。(○はひとつ)

1. 男性 2. 女性 3. どちらともいえない、または答えたくない

問 2 あなたの年齢はおいくつですか。(○はひとつ)

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

問 3 あなたの職業は、次のどれにあたりますか。(○はひとつ)

1. 自営業主またはその家族従事者(商工・サービス業・建設業・農業など)
2. 自由業者(医師・弁護士・芸術家など)
3. 民間の会社・団体の勤め人(庶務・経理・事務などに従事)
4. 民間の会社・団体の勤め人(作業・運転などに従事)
5. 公務員・教員
6. その他の有業者(パート・アルバイトなど)
7. 学生
8. 家事従事者
9. 無職(学生・家事従事者以外の無職)

問 4 あなたの家族の構成は、次のどれにあたりますか。(○はひとつ)

1. 単身世帯(一人暮らし) 2. 夫婦のみ
3. 二世帯家族(親と子どもなど) 4. 三世帯家族(祖父母と親と子どもなど)
5. その他()

問 5 あなたのお住まいの状況は、次のどれにあたりますか。(○はひとつ)

1. 一戸建てで持ち家 2. 一戸建てで借家 3. 共同住宅で持ち家(マンションなど)
4. 共同住宅で借家(アパートなど) 5. その他()

問 6 あなたは、東大阪市内に通算して何年ぐらいお住まいですか。(○はひとつ)

1. 1年未満 2. 1年～5年未満 3. 5年～10年未満
4. 10年～20年未満 5. 20年～30年未満 6. 30年以上

Ⅱ. 読書活動についておたずねします。

本市では、平成31年3月に「東大阪市子ども読書活動推進計画」を策定し、すべての子どもたちが自主的に読書活動ができるよう取組を進めてきました。

令和6年度から5年間の新たな子ども読書活動推進計画を策定するにあたり、子どもや保護者の読書活動に関する意識や状況を把握し、今後の方針の参考にさせていただきます。

問 7 読書は好きですか。(〇はひとつ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 好き | 2. どちらかといえば、好き |
| 3. どちらかといえば、嫌い | 4. 嫌い |

問 8 過去1か月間に何冊の本(雑誌・漫画を含む)を読みましたか。(〇はひとつ)

- | | | | |
|-------|---------|----------|----------|
| 1. 0冊 | 2. 1~5冊 | 3. 6~10冊 | 4. 11冊以上 |
|-------|---------|----------|----------|

※問8で「1. 0冊」と回答された方におたずねします。

問 8-1 読書をしない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 読書をする時間がない | 2. 読みたいと思う本がない |
| 3. どの本を読んで良いかわからない | 4. 読書をする必要性を感じない |
| 5. 本を読むのがめんどろ | 6. 本の値段が高い |
| 7. 本を勧める人が周りにいない | 8. 本屋が近くにない |
| 9. 図書館が近くにない | 10. 文字を読むのが苦手 |
| 11. 家に読みたい本がない | 12. 家族や友達など、周りに本を読んでいる人がいない |
| 13. その他() | 14. わからない |

問 9 子どものころ、家の人や身近な人から本を読んでもらったことがありますか。(〇はひとつ)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. よく読んでもらった | 2. ときどき読んでもらった |
| 3. あまり読んでもらえなかった | 4. 読んでもらえなかった |

問 10 子ども(自分の子以外も含む)に本や絵本を読んだことがありますか。(〇はひとつ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. よく読んだ | 2. ときどき読んだ |
| 3. あまり読んでいない | 4. まったく読んでいない |

問 11 本や絵本を読む以外で、子ども(自分の子以外も含む)が読書をしようと思うきっかけづくりについてあなたがやっているものはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 自分が読んだ本を子どもに勧める | 2. 自分が選んだ本を子どもに勧める |
| 3. 推薦図書一覧にある本を子どもに勧める | 4. 子どもが読みたい本を与える |
| 5. 電子書籍が読める端末を与える | 6. 子どもと一緒に本を読む時間をつくる |
| 7. 子どもが勧めてくれた本を自分が読む | 8. 自ら進んで読書をする |
| 9. 子どもと読んだ本の内容について話をする | 10. ベストセラーや話題になっている本について話をする |
| 11. 子どもと一緒に書店に行く | 12. 子どもと一緒に図書館に行く |
| 13. 子どもの質問に対して一緒に本や辞書で調べる | 14. 家に本を置く |
| 15. その他() | 16. 特にしていない |

問 12 子ども(自分の子以外も含む)がもっと読書するようになるには、どんな取組が必要だと思えますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 読書する時間をしっかりとる |
| 2. 図書館など、読書できる場所を増やす |
| 3. 本を読み聞かせる |
| 4. 子どもと本のことについて話をする |
| 5. 「おはなし会」などのイベントの開催 |
| 6. 図書館・学校・保健センター・子育て支援センターなど公共施設間の連携 |
| 7. 図書館・学校で読書の楽しさを教える |
| 8. 図書館・学校の書籍の充実 |
| 9. 図書館や学校に本のことを相談できる人を置く |
| 10. 図書館や書店と一緒にいく |
| 11. 電子書籍の充実 |
| 12. 読みたくなる本をSNS (Twitter、Facebook、LINEなど)で紹介する |
| 13. その他() |

問 13 スマートフォンやパソコンなどの端末でいつでもどこでも24時間本を借りたり読んだりできる「ひがしおおさか電子図書館」を知っていますか。(〇はひとつ)

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 知っているし、利用したことがある | 2. 内容も含めて知っているが、利用したことはない |
| 3. 聞いたことがある程度 | 4. まったく知らない |

※電子図書館のウェブサイトは、インターネットから検索していただくと、ご覧いただけます。

